

関西電力株式会社
高浜発電所第1号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1610071号99

成績書管理番号：1-10

令和2年9月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-10

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第1号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年5月13日
至 令和2年9月25日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第299号(平成28年10月7日) 関原発第434号(平成30年3月20日) 関原発第46号(平成30年4月20日) 関原発第202号(平成30年7月4日) 関原発第259号(平成30年8月20日) 関原発第415号(平成30年12月5日) 関原発第504号(平成31年2月1日) 関原発第512号(平成31年2月6日) 関原発第582号(平成31年3月18日) 関原発第3号(平成31年4月4日) 関原発第68号(2019年5月16日) 関原発第115号(2019年6月24日) 関原発第204号(2019年8月23日) 関原発第478号(2020年1月23日) 関原発第510号(2020年1月31日) 関原発第542号(2020年2月26日) 関原発第609号(2020年3月24日) 関原発第20号(2020年4月7日) 関原発第236号(2020年8月21日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-10

検査年月日	検査結果	原子力施設検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 5月13日	良	原子力検査官 増本 豊 	ボイラー-タービン 主任技術者 	なし

w

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-10

検査年月日：令和2年 5月 13日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	Ⓔ・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	Ⓔ・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	Ⓔ・—	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：1-10

検査年月日：令和2年 5月 13日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会 記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：1-10

検査年月日：令和2年 5月 13日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象			
原子炉格納施設 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 主配管 別添1の太線枠内の範囲			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
耐圧検査、漏えい検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T1-1-0107 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録
 (一号検査)
 (立会検査)

成績書管理番号：1-10

検査年月日：令和2年 5月 13日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
原子炉格納施設 放射性物質濃度制御設備及び 可燃性ガス濃度制御設備並び に格納容器再循環設備 主配管 (別添1参照)	耐圧検査、 漏えい検査	別添3参照	良*	目視
備考 ※：別添2の範囲について確認				

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録
 検査用計器一覧表

成績書管理番号：1-10

検査年月日：令和2年 5月13日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
耐圧検査、 漏えい検査	圧力計				2019.12.9 2020.6.8	正
耐圧検査、 漏えい検査	圧力計				2019.12.9 2020.6.8	副
以下全白						

6

変更前					変更後					
名称	最高使用		外径	径厚	材料	名称	最高使用		径厚	材料
	圧力	温度					圧力	温度		
	(MPa)	(℃)	(mm)	(mm)		(MPa)	(℃)	(mm)	(mm)	
可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備			508	2.3	SS41					変更なし
	アニュラス		500							変更なし
	出口取合点	0.015	115	×	2.3	SS41				変更なし
	～		500							変更なし
	排気筒取合点			×	4.5		0.035	125		変更なし
			500	／	SS41					変更なし
			508	／						変更なし

3
4
5

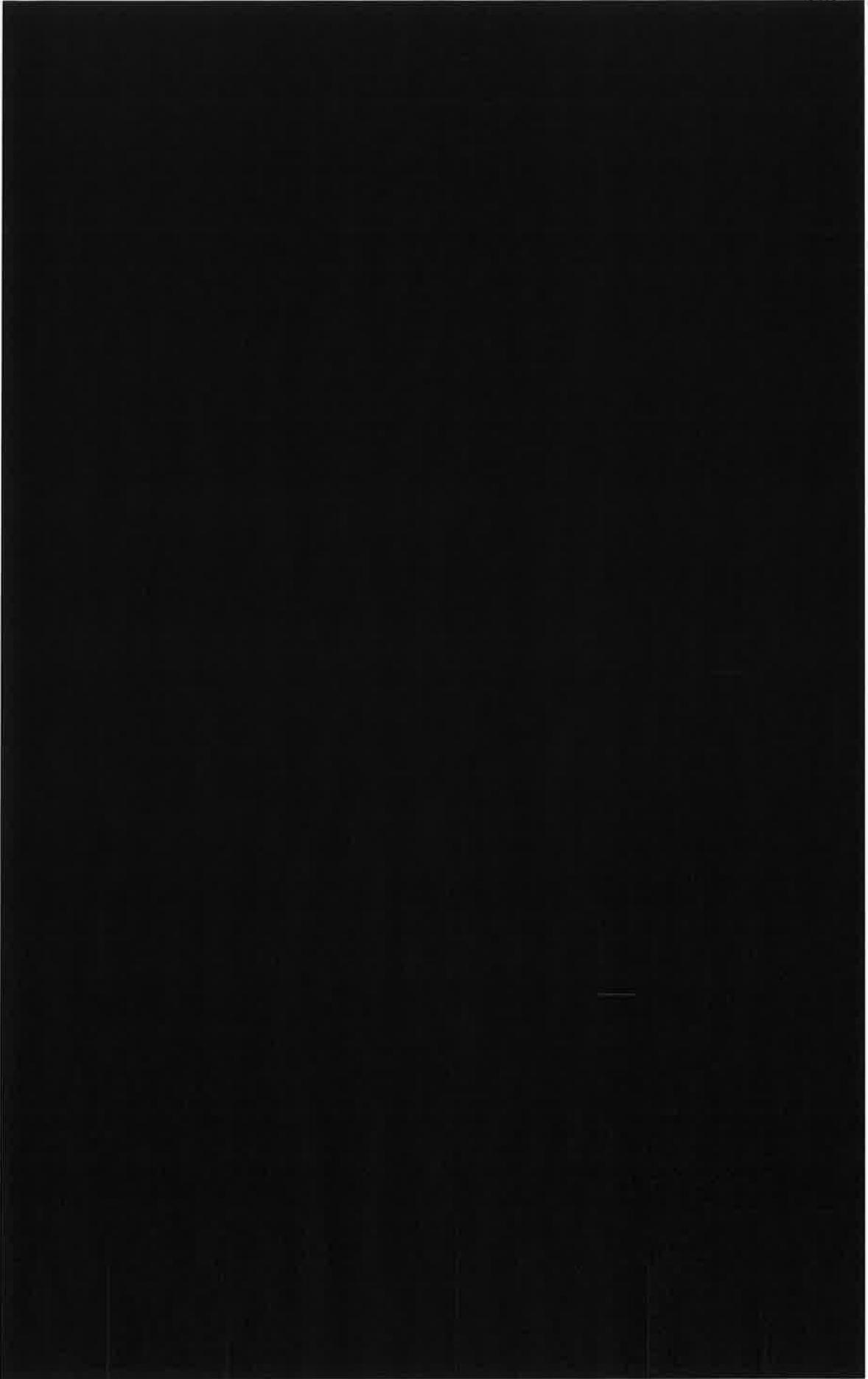
(注1) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

(注2) 公称値

(注3) 入口と出口の口径が異なる管である。

(注4) 重大事故等時における使用時の値

(注5) 本設備は既存の設備である。



検査対象	最高使用圧力 MPa	耐圧検査圧力 MPa ^{*2}	保持時間 分	漏えい検査圧力 MPa	水圧、気圧 区分
アニュラス出口取合点～ 排気筒取合点 ^{*3}	0.035 ^{*1}	0.0360	11	0.0360	気圧
備考 ※1：重大事故等時における使用時の値 ※2：最高使用圧力 ^{*1} ×1.0 (0.035MPa×1.0=0.035Mpa) 以上 ※3：別添2のC部 (別添1：要目表 3) の範囲について確認					

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-10

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 9月25日	良	雑賀康正 	ボイラー-タービン 主任技術者 	なし

2

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-10

検査年月日：令和2年 9 月 25 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：1-10

検査年月日：令和2年 9月 25日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ ◎記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：1-10

検査年月日：令和2年 9月 25日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象			
・原子炉格納施設 原子炉格納容器本体 機器搬出入口 エアロック 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部 圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備） 別添1参照			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
耐圧検査 漏えい検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T1-1-1005 T1-1-0316 T1-1-0317 ・目視で確認した範囲は添付資料3-3参照			

原子炉格納施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るものにあつては、次の事項

1 原子炉格納容器に係る次の事項

(1) 原子炉格納容器本体の名称、種類、最高使用圧力、最高使用温度、設計漏えい率、主要寸法、材料及び個数

		変更前	変更後	
名称		原子炉格納容器		
種類	—	上部半球、下部さら形鏡円筒形	変更なし	
最高使用圧力	MPa	0.261 (注1)	変更なし 0.305 (注2)	
最高使用温度	℃	122	変更なし 138 (注2)	
設計漏えい率	(注3) %/d		変更なし	
主要寸法	胴内径			mm
	上部鏡板内半径			mm
	下部鏡板中央部内半径 (注5)			mm
	下部鏡板隅の丸み半径 (注6)			mm
	胴板厚さ			mm
	上部鏡板厚さ			mm
	下部鏡板厚さ			mm
高さ (注8)	mm			
材料	—			
個数	—	1 (注10)		

(注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内圧 0.261 外圧 —」と記載

(注2) 重大事故等時における使用時の値

(注3) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「%/day」と記載

(注4) 公称値

(注5) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「下部鏡中央部内半径」と記載

(注6) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「下部鏡すみの丸みの内半径」と記載

(注7) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和45年4月21日付け45令第2736号にて認可された工事計画の資料2-1「原子炉格納容器板厚および補強板等の計算書」による。

(注8) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高」と記載

(注9) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ASTM A516 Gr.70 A300 (JIS SB49相当材)」
と記載

(注10) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

(2) 機器搬出入口の名称、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料及び個数

		変更前	変更後
名称		機器搬入口 ^(注1)	変更なし
最高使用圧力	MPa	0.261 ^(注2)	変更なし 0.305 ^(注3)
最高使用温度	℃	122 ^(注2)	変更なし 138 ^(注3)
主要寸法	内径 ^(注4)	[REDACTED]	変更なし
	胴長さ		
	ふた内半径		
	胴板厚さ ^(注8)		
	ふた板厚さ ^(注10)		
材料	—		
個数	—	1	

(注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書の「種類」の記載を削除

(注2) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は既工事計画書「原子炉格納容器」の記載による。

(注3) 重大事故等時における使用時の値

(注4) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴内径」と記載

(注5) 公称値

(注6) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「[REDACTED]」(単位:m)と記載

(注7) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和45年4月21日付け45公第2736号にて認可された工事計画の資料2-3「エアロツクおよび機器搬入口応力解析書」による。

(注8) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴板厚」と記載

(注9) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「[REDACTED]」と記載。なお、昭和45年4月21日付け45公第2736号にて認可された工事計画の資料2-3「エアロツクおよび機器搬入口応力解析書」にて、最小板厚[REDACTED]の部材を解析条件に考慮していないため、既工事計画書の「[REDACTED]」の記載を削除

(注10) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「盲板板厚」と記載

(3) エアロックの名称、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料及び個数

		変更前	変更後
名 称		通常用及び非常用エアロック (注1)	変更なし
最 高 使 用 圧 力	MPa	0.261 (注2)	変更なし 0.305 (注3)
最 高 使 用 温 度	℃	122 (注2)	変更なし 138 (注3)
主 要 寸 法	内 径 (注4)	mm	変更なし
	胴 長 さ	mm	
	胴 板 厚 さ (注8)	mm	
	と び ら 厚 さ (注10)	mm	
材 料	—		
個 数	—	通常用 1、非常用 1 (注11)	

(注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書の「種類」の記載を削除

(注2) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は既工事計画書「原子炉格納容器」の記載による。

(注3) 重大事故等時における使用時の値

(注4) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴内径」と記載

(注5) 公称値

(注6) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「 」(単位:m)と記載

(注7) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「 」(単位:m)と記載

(注8) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴板厚」と記載

(注9) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和45年4月21日付け45公第2736号にて認可された工事計画の資料2-3「エアロックおよび機器搬入口応力解析書」による。

(注10) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「扉板厚」と記載

(注11) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「各1」と記載

原子炉格納施設

(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部の名称又は貫通部番号、種類、個数、最高使用圧力、最高使用温度、構成、主要寸法及び材料

a 燃料移送管貫通部

変更前										変更後									
貫通部番号	種類	個数	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	構成	主要寸法 (mm)			材料	貫通部番号	種類	個数	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	構成	主要寸法 (mm)			材料
						外径	長さ	厚さ								外径	長さ	厚さ	
200	20B 貫通部	1	0.261 ^(注2)	122 ^(注3)	スリーブ ^(注4)	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	変更なし	変更なし	1	変更なし	変更なし	変更なし	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
			0.24 ^(注5)	122 ^(注5)	貫通配管							0.305 ^(注6)	138 ^(注7)						
												変更なし	変更なし						

(注1) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。

(注2) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書に記載の原子炉格納容器の最高使用圧力の値

(注3) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書に記載の原子炉格納容器の最高使用温度の値

(注4) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「[REDACTED]」と記載

(注5) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

(注6) 公称値

(注7) 重大事故等時における使用時の値

(注8) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SUS27HP」と記載

b 固定式配管員通部

変更前										変更後									
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ	
387 388 402	6B 貫通部	3	0.261	122	スリーブ	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし	変更なし	3	変更なし ^(H1)	変更なし ^(H2)	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	
					端 板								0.305	138					
					貫通配管								変更なし	変更なし					
325	8B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし	変更なし	1	変更なし ^(H1)	変更なし ^(H2)	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	
					端 板								0.305	138					
					貫通配管								変更なし	変更なし					
527 530	8B 貫通部	2	0.261	122	スリーブ	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし	変更なし	2	変更なし ^(H1)	変更なし ^(H2)	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	
					端 板								0.305	138					
					貫通配管								変更なし	変更なし					

変更前								変更後											
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ	
224	10B 貫通部	1	0.261 ^(注5)	122 ^(注6)	スリーブ ^(注7)	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	224 ^(注9)	変更なし	0.305 ^(注8)	変更なし ^(注10)	138 ^(注11)	変更なし	変更なし	変更なし	[REDACTED]	
				200 ^(注2)	端 板								変更なし	変更なし					
			17.2 ^(注2,13)	200 ^(注2)	貫通配管								変更なし	変更なし					
227	12B 貫通部	1	0.261 ^(注5)	122 ^(注8)	スリーブ ^(注7)	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	227 ^(注12)	変更なし	0.305 ^(注8)	変更なし ^(注10)	138 ^(注11)	変更なし	変更なし	変更なし	[REDACTED]	
				200 ^(注2)	端 板								変更なし	変更なし					
			4.1 ^(注2,13)	200 ^(注2)	貫通配管								変更なし	変更なし					

変更前								変更後											
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構成	主要寸法 (mm)			材 料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構成	主要寸法 (mm)			材 料
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ	
228	4B 貫通部	1	0.261 ^(注5)	122 ^(注6)	スリーブ ^(注7)	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし ^(注5)	変更なし ^(注6)	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	
			0.98 ^(注4, 1)	40 ^(注2)	貫通配管								0.305 ^(注5)	138 ^(注3)					
229	3B 貫通部	1	0.261 ^(注5)	122 ^(注6)	スリーブ ^(注7)	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	229 ^(注1)	変更なし	[Redacted]	変更なし ^(注5)	変更なし ^(注6)	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	
			150 ^(注2)	端 板	0.305 ^(注5)								変更なし ^(注3)						
			17.2 ^(注4, 1)	150 ^(注2)	貫通配管								変更なし ^(注5)	変更なし ^(注6)					

23

変更前										変更後									
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ	
230	2B 貫通部	1	0.261 ⁽¹⁾⁵⁾	122 ⁽¹⁾⁴⁾	スリーブ ⁽¹⁾⁷⁾	[REDACTED]	0.305 ⁽¹⁾³⁾	変更なし ⁽¹⁾⁸⁾	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]						
				291 ⁽¹⁾²⁾	端 板									変更なし					
			7.48 ^(1)2, 11)	291 ⁽¹⁾²⁾	貫通配管									変更なし					
231	3/4B 貫通部	1	0.261 ⁽¹⁾⁵⁾	122 ⁽¹⁾⁶⁾	スリーブ ⁽¹⁾⁷⁾	[REDACTED]	0.305 ⁽¹⁾³⁾	変更なし ⁽¹⁾⁸⁾	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]						
				291 ⁽¹⁾²⁾	端 板									変更なし					
			7.48 ^(1)2, 11)	291 ⁽¹⁾²⁾	貫通配管									変更なし					
232	3/4B 貫通部	1	0.261 ⁽¹⁾⁵⁾	122 ⁽¹⁾⁶⁾	スリーブ ⁽¹⁾⁷⁾	[REDACTED]	0.305 ⁽¹⁾³⁾	変更なし ⁽¹⁾⁸⁾	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]						
				291 ⁽¹⁾²⁾	端 板									変更なし					
			7.48 ^(1)2, 11)	291 ⁽¹⁾²⁾	貫通配管									変更なし					

変更前							変更後										
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	構成	主要寸法 (mm)			貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	構成	主要寸法 (mm)		
						外径	長さ	厚さ							材料	外径	長さ
233	2B 貫通部	1	0.261 ^(P.5)	122 ^(E.8)	スリーブ ^(E.7)				変更なし			変更なし ^(E.8)	138 ^(E.3)	変更なし			
				291 ^(E.2)	端板							0.305 ^(E.8)	変更なし				
			7.48 ^(P.2.11)	291 ^(P.2)	貫通配管							変更なし	変更なし	変更なし	変更なし		
234	1B 貫通部	1	0.261 ^(E.5)	122 ^(E.8)	スリーブ ^(E.7)				変更なし			変更なし ^(E.8)	138 ^(E.3)	変更なし			
				150 ^(E.2)	端板							0.305 ^(E.8)	変更なし				
			4.9 ^(P.2.11)	150 ^(E.2)	貫通配管							変更なし	変更なし	変更なし	変更なし		
254	3/4B 貫通部	1	0.261 ^(E.5)	122 ^(E.8)	スリーブ ^(E.7)				変更なし			変更なし ^(E.8)	138 ^(E.3)	変更なし			
				150 ^(E.2)	端板							0.305 ^(E.8)	変更なし				
			17.2 ^(P.2.11)	150 ^(E.2)	貫通配管							変更なし	変更なし	変更なし	変更なし		

変更前										変更後									
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	構成	主要寸法 (mm)			材 料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ	
255	1B 貫通部	1	0.261 ^(14.5)	122 ⁽¹⁴⁾	スリーブ ^(14.7)	[Redacted]	変更なし ^(14.3)	変更なし ^(14.3)	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]							
			4.9 ^(14.11)	50 ^(14.2)	貫通配管								0.305	138					変更なし
													変更なし	変更なし					
256	12B 貫通部	1	0.261 ^(14.5)	122 ^(14.6)	スリーブ ^(14.7)	[Redacted]	変更なし ^(14.3)	変更なし ^(14.3)	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]							
			0.98 ^(14.11)	95 ^(14.2)	貫通配管								0.305	138					変更なし
													1.2 ^(14.3)	138 ^(14.3)					
257	12B 貫通部	1	0.261 ^(14.5)	122 ^(14.6)	スリーブ ^(14.7)	[Redacted]	変更なし ^(14.3)	変更なし ^(14.3)	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]							
			0.98 ^(14.11)	95 ^(14.2)	貫通配管								0.305	161					変更なし
													1.2 ^(14.3)	161 ^(14.3)					

27

変更前										変更後										
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	構成	主要寸法 (mm)			材料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	構成	主要寸法 (mm)			材料	
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ		
258	10B 貫通部	1	0.261 ^(註3)	122 ^(註6)	スリーブ ^(註7)	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	変更なし	変更なし	0.305 ^(註3)	変更なし ^(註3)	138 ^(註3)	変更なし	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	
				200 ^(註2)	端 板								変更なし	変更なし						
				17.2 ^(註2, 1)	200 ^(註2)								貫通配管	変更なし						変更なし
259	2B 貫通部	1	0.261 ^(註5)	122 ^(註6)	スリーブ ^(註7)	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	変更なし	変更なし	0.305 ^(註3)	変更なし ^(註3)	138 ^(註3)	変更なし	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	
				170 ^(註2)	端 板								変更なし	変更なし						
				0.7 ^(註2, 1)	170 ^(註2)								貫通配管	変更なし						変更なし
260	2B 貫通部	1	0.261 ^(註5)	122 ^(註6)	スリーブ ^(註7)	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	変更なし	変更なし	0.305 ^(註3)	変更なし ^(註3)	138 ^(註3)	変更なし	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	
				端 板	変更なし								変更なし							
			18.8 ^(註2, 1)	95 ^(註2)	貫通配管															

28

変更前								変更後											
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構成	主要寸法 (mm)			材 料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ	
261	3B 貫通部	1 ^(1E-1)	0.261 ^(1E-5)	122 ^(1E-6)	スリーブ ^(1E-7)	[Redacted]	0.305 ^(1E-3)	138 ^(1E-3)	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]							
				150 ^(1E-2)	端 板									変更なし					変更なし
				17.2 ^(1E-2, 1E-1)	貫通配管 ^(1E-2)									変更なし					変更なし
262	3B 貫通部	1 ^(1E-1)	0.261 ^(1E-5)	122 ^(1E-6)	スリーブ ^(1E-7)	[Redacted]	0.305 ^(1E-3)	138 ^(1E-3)	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]							
				150 ^(1E-2)	端 板									変更なし					変更なし
				17.2 ^(1E-2, 1E-1)	貫通配管 ^(1E-2)									変更なし					変更なし
263	10B 貫通部	1 ^(1E-1)	0.261 ^(1E-5)	122 ^(1E-6)	スリーブ ^(1E-7)	[Redacted]	0.305 ^(1E-3)	138 ^(1E-3)	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]							
				200 ^(1E-2)	端 板									変更なし					変更なし
				17.2 ^(1E-2, 1E-1)	貫通配管 ^(1E-2)									変更なし					変更なし

29

変更前										変更後																			
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構成	主要寸法 (mm)			材 料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構成	主要寸法 (mm)			材 料										
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ											
275	2B 貫通部	1	0.261 ^(1E3)	122 ^(1E4)	スリーブ ^(1E7)	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	変更なし ^(1E3)	変更なし ^(1E3)	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]											
			18.8 ^(1E2, 11)	95 ^(1E2)	貫通配管								0.305 ^(1E3)	138 ^(1E3)					変更なし										
276	3B 貫通部	1	0.261 ^(1E5)	122 ^(1E4)	スリーブ ^(1E7)								[REDACTED]	[REDACTED]					[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	変更なし ^(1E3)	変更なし ^(1E3)	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
				150 ^(1E2)	端 板																			0.305 ^(1E3)	138 ^(1E3)				
			17.2 ^(1E2, 11)	150 ^(1E2)	貫通配管																			変更なし	変更なし				
277	12B 貫通部	1	0.261 ^(1E5)	122 ^(1E4)	スリーブ ^(1E7)																			[REDACTED]	[REDACTED]				
				200 ^(1E2)	端 板	0.305 ^(1E3)	138 ^(1E3)	変更なし																					
			4.1 ^(1E2, 11)	200 ^(1E2)	貫通配管	変更なし	変更なし																						

別添1 (14/43)
(令和2年9月25日)

変更前										変更後									
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ	
278	3/4B 貫通部	1	0.261 ^(FE.5)	122 ^(CE.6)	スリーブ ^(SE.7)	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	変更なし	1	変更なし ^(FE.5)	変更なし ^(CE.6)	端 板	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	
			0.24 ^(FE.4.11)	122 ^(CE.2)	貫通配管							0.305 ^(FE.3)	138 ^(CE.3)						変更なし
279	2B 貫通部	1	0.261 ^(FE.5)	122 ^(CE.6)	スリーブ ^(SE.7)	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	変更なし	1	変更なし ^(FE.5)	変更なし ^(CE.6)	端 板	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	
			7.48 ^(FE.1.11)	291 ^(CE.2)	貫通配管							0.305 ^(FE.4)	138 ^(CE.3)						変更なし
			0.261 ^(FE.5)	291 ^(CE.2)	貫通配管							変更なし	変更なし						変更なし
280	3B 貫通部	1	0.261 ^(FE.5)	122 ^(CE.6)	スリーブ ^(SE.7)	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	変更なし	1	変更なし ^(FE.5)	変更なし ^(CE.6)	端 板	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	
			0.98 ^(FE.2.11)	95 ^(CE.2)	貫通配管							0.305 ^(FE.3)	138 ^(CE.3)						変更なし

31

変更前										変更後																									
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構成	主要寸法 (mm)			材 料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構成	主要寸法 (mm)			材 料																
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ																	
281	1B 貫通部	1	0.261 ^(F.5)	122 ^(H.6)	スリーブ ^(LE7)	[REDACTED]			変更なし	0.305 ^(L.4)	138 ^(L.4)	変更なし																							
			0.7 ^(F.2.1)	95 ^(F.2)	貫通配管													変更なし	変更なし																
282	3/4B 貫通部	1	0.261 ^(F.5)	122 ^(E.6)	スリーブ ^(LE7)					[REDACTED]								変更なし	0.305 ^(L.2)	138 ^(L.3)	変更なし														
			0.18 ^(G.1)	95 ^(G.1)	貫通配管																						変更なし	変更なし							
283	2B 貫通部	1	0.261 ^(E.5)	122 ^(E.4)	スリーブ ^(LE7)														[REDACTED]								変更なし	0.305 ^(F.2)	138 ^(F.3)	変更なし					
			18.8 ^(F.2.1)	95 ^(L.2)	貫通配管																														

変更前									変更後										
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構成	主要寸法 (mm)			材 料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構成	主要寸法 (mm)			材 料
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ	
284	3/4B 貫通部	1	0.261 ^(注b)	122 ^(注6)	スリーブ ^(注7)	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし	変更なし	0.305 ^(注c)	変更なし ^(注3)	138 ^(注3)	変更なし	変更なし	変更なし	[Redacted]	
				291 ^(注2)	端 板								変更なし	変更なし					
			7.48 ^(注2, 11)	291 ^(注2)	貫通配管								変更なし	変更なし					
285	3B 貫通部	1	0.261 ^(注5)	122 ^(注6)	スリーブ ^(注7)	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし	変更なし	0.305 ^(注5)	変更なし ^(注3)	138 ^(注3)	変更なし	変更なし	[Redacted]		
				95 ^(注2)	端 板								変更なし	変更なし					
	貫通配管	0.98 ^(注2, 11)	95 ^(注2)	貫通配管	変更なし	変更なし													
			286	2B 貫通部	1	0.261 ^(注6)	122 ^(注6)	スリーブ ^(注7)	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし	変更なし	0.305 ^(注2)	変更なし ^(注3)	138 ^(注3)	変更なし	変更なし	[Redacted]
200 ^(注2)	端 板	変更なし					変更なし												
4.1 ^(注2, 11)	200 ^(注2)	貫通配管				変更なし	変更なし												

変更前										変更後									
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	構成	主要寸法 (mm)			材 料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	構成	主要寸法 (mm)			材 料
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ	
287	3B 貫通部	1	0.261 ^(13.3)	122 ⁽²⁵⁾	スリーブ ⁽¹⁷⁾	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	288	変更なし	1	0.305 ^(14.2)	138 ^(27.6)	スリーブ ⁽¹⁷⁾	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
			0.98 ^(22.1)	95 ^(23.7)	貫通配管								変更なし	変更なし					
288	3B 貫通部	1	0.261 ^(13.5)	122 ⁽²⁵⁾	スリーブ ⁽¹⁷⁾	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	288	変更なし	1	0.305 ^(14.2)	138 ^(27.6)	スリーブ ⁽¹⁷⁾	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
			18.8 ^(22.1)	95 ^(23.7)	貫通配管								変更なし	変更なし	138 ^(27.6)				
289	3B 貫通部	1	0.261 ^(12.5)	122 ⁽²⁵⁾	スリーブ ⁽¹⁷⁾	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	288	変更なし	1	0.305 ^(14.2)	138 ^(27.6)	スリーブ ⁽¹⁷⁾	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
			0.98 ^(22.1)	65 ^(23.2)	貫通配管								変更なし	変更なし	138 ^(27.6)				

33

34

変更前							変更後											
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構成	主要寸法 (mm)			貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構成	主要寸法 (mm)			材料
						外 径	長 さ	厚 さ							外 径	長 さ	厚 さ	
290	3/4B 貫通部	1	0.261 ^(注5)	122 ^(注4)	スリーブ ^(注7)	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	変更なし	変更なし	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	
			0.98 ^(注2, 11)	50 ^(注2)	貫通配管							0.305 ^(注3)	138 ^(注3)					変更なし
291	3/4B 貫通部	1	0.261 ^(注5)	122 ^(注6)	スリーブ ^(注7)	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	変更なし	変更なし	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	
			0.7 ^(注2, 11)	170 ^(注2)	端 板							0.305 ^(注3)	138 ^(注3)					変更なし
301	3B 貫通部	1	0.261 ^(注5)	122 ^(注6)	スリーブ ^(注7)	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	変更なし	変更なし	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	
			0.98 ^(注2, 11)	95 ^(注2)	貫通配管							0.305 ^(注3)	138 ^(注4)					変更なし

変更前									変更後														
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料				
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ					
326	8B 貫通部	1	0.261 ^(17.4)	122 ^(17.6)	スリーブ ^(注1)	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし	変更なし	1	変更なし ^(17.2)	138 ^(17.3)	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし						
			0.98 ^(17.2:17)	95 ^(17.2)	貫通配管							変更なし	変更なし										
328	2B 貫通部	1	0.261 ^(17.5)	122 ^(17.6)	スリーブ ^(注1)				[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし	変更なし	1	変更なし ^(17.2)	138 ^(17.3)	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし			
			0.83 ^(17.2:17)	50 ^(17.2)	貫通配管										変更なし ^(17.2)	138 ^(17.3)							
329	6B 貫通部	1	0.261 ^(17.5)	122 ^(17.6)	スリーブ ^(注1)							[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし	変更なし	1	変更なし ^(17.2)	138 ^(17.3)	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
			0.98 ^(17.2:17)	95 ^(17.2)	貫通配管													変更なし	変更なし				

35

36

変更前										変更後									
買通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	構 成	主要寸法 (mm)				買通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	構 成	主要寸法 (mm)			
						外 径	長 さ	厚 さ	材 料							外 径	長 さ	厚 さ	材 料
331	3/4B 貫通部	1	0.261 ^(E5)	122 ^(E6)	スリーブ ^(E7)	[REDACTED]	0.305 ^(F)	変更なし ^(F3)	138 ^(F3)	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]						
				343 ^(F1)	端 板									変更なし	変更なし				
				17.2 ^(E2, L1)	343 ^(E2)									貫通配管	変更なし				
332	2B 貫通部	1	0.261 ^(F5)	122 ^(F6)	スリーブ ^(E7)	[REDACTED]	0.305 ^(G)	変更なし ^(G3)	138 ^(G3)	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]						
				端 板	変更なし									変更なし					
				0.83 ^(E2, F1)	50 ^(E2)									貫通配管	変更なし ^(G3)				
353	4B 貫通部	1	0.261 ^(F5)	122 ^(F6)	スリーブ ^(E7)	[REDACTED]	0.305 ^(H)	変更なし ^(H3)	138 ^(H3)	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]						
				343 ^(E2)	端 板									変更なし	変更なし				
				17.2 ^(E2, F1)	343 ^(E2)									貫通配管	変更なし				

変更前										変更後									
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ	
354	3/4B 貫通部	1	0.261 ^(注4)	122 ^(注6)	スリーブ ^(注1)	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし	変更なし	0.305 ^(注7)	変更なし	138 ^(注5)	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	
				150 ^(注2)	端板								変更なし	変更なし					
			4.9 ^(注2, 1)	150 ^(注2)	貫通配管								変更なし	変更なし					
355	3/4B ×2 貫通部	1	0.261 ^(注5)	122 ^(注6)	スリーブ ^(注1)	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし	変更なし	0.305 ^(注7)	変更なし	138 ^(注5)	変更なし	変更なし	変更なし		
				0.24 ^(注2, 1)	122 ^(注2)								端板	変更なし				変更なし	

37

38

変更前										変更後														
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構成	主要寸法 (mm)			材料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構成	主要寸法 (mm)			材料					
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ						
377	1R 貫通部	1 ^(注4)	0.261 ^(注3)	122 ^(注6)	スリーブ ^(注7)	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし	1	変更なし ^(注3)	138 ^(注4)	変更なし	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]						
			0.98 ^(注2,注1)	65 ^(注2)	貫通配管							変更なし	変更なし						変更なし					
380	2B 貫通部	1 ^(注5)	0.261 ^(注5)	122 ^(注6)	スリーブ ^(注7)					[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし	1	変更なし ^(注3)	138 ^(注4)	変更なし	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]			
			0.7 ^(注2,注1)	120 ^(注2)	貫通配管										変更なし	変更なし						変更なし		
381	1/8B 貫通部	1 ^(注4)	0.261 ^(注5)	122 ^(注6)	スリーブ ^(注7)								[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし	1	変更なし ^(注3)	138 ^(注4)	変更なし	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
			17.2 ^(注2,注1)	360 ^(注2)	貫通配管													変更なし	変更なし					

39

変更前										変更後											
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構 成	主要寸法 (mm)				材料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構 成	主要寸法 (mm)				材料
						外 径	長 さ	厚 さ									外 径	長 さ	厚 さ		
382	3/4B 貫通部	1	0.261 ⁽¹⁾⁽³⁾	122 ⁽¹⁾⁽⁶⁾	スリーブ ⁽¹⁾⁽⁷⁾	[Redacted]	0.305 ⁽¹⁾⁽²⁾	138 ⁽¹⁾⁽⁷⁾	変更なし	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]						
				360 ⁽¹⁾⁽⁶⁾	端 板									変更なし							
383	3B 貫通部	1	0.261 ⁽¹⁾⁽³⁾	17.2 ⁽¹⁾⁽²⁾⁽¹⁾	貫通配管 ⁽¹⁾⁽²⁾	[Redacted]	0.305 ⁽¹⁾⁽²⁾	138 ⁽¹⁾⁽⁷⁾	変更なし	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]						
				122 ⁽¹⁾⁽⁶⁾	スリーブ ⁽¹⁾⁽⁷⁾									変更なし							
455	1 1/4B ×2 貫通部	1	0.261 ⁽¹⁾⁽³⁾	95 ⁽¹⁾⁽²⁾⁽¹⁾	貫通配管 ⁽¹⁾⁽²⁾	[Redacted]	0.305 ⁽¹⁾⁽²⁾	138 ⁽¹⁾⁽⁷⁾	変更なし	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]						
				122 ⁽¹⁾⁽⁶⁾	スリーブ ⁽¹⁾⁽⁷⁾									変更なし							
			0.24 ⁽¹⁾⁽²⁾⁽¹⁾	122 ⁽¹⁾⁽⁶⁾	貫通配管 ⁽¹⁾⁽²⁾								0.305 ⁽¹⁾⁽²⁾	138 ⁽¹⁾⁽⁷⁾	変更なし						

別添1 (24/43)
(令和2年9月25日)

変更前									変更後										
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	構成	主要寸法 (mm)			材料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	構成	主要寸法 (mm)			材料
						外径	長さ	厚さ								外径	長さ	厚さ	
384	3B 貫通部	1	0.261 ⁽¹⁾⁽⁵⁾	122 ⁽¹⁾⁽⁶⁾	スリーブ ⁽¹⁾⁽⁷⁾	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし	変更なし	0.305 ⁽¹⁾⁽⁵⁾	138 ⁽¹⁾⁽⁶⁾	スリーブ ⁽¹⁾⁽⁷⁾	端板 ⁽¹⁾⁽⁸⁾	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし
			0.98 ⁽¹⁾⁽⁹⁾	95 ⁽¹⁾⁽¹⁰⁾	貫通配管 ⁽¹⁾⁽¹¹⁾														
385	3/4B 貫通部	1	0.261 ⁽¹⁾⁽⁵⁾	122 ⁽¹⁾⁽⁶⁾	スリーブ ⁽¹⁾⁽⁷⁾	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし	変更なし	0.305 ⁽¹⁾⁽⁵⁾	138 ⁽¹⁾⁽⁶⁾	スリーブ ⁽¹⁾⁽⁷⁾	端板 ⁽¹⁾⁽⁸⁾	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし
			17.2 ⁽¹⁾⁽⁹⁾	360 ⁽¹⁾⁽¹⁰⁾	貫通配管 ⁽¹⁾⁽¹¹⁾														
386	3/4B 貫通部	1	0.261 ⁽¹⁾⁽⁵⁾	122 ⁽¹⁾⁽⁶⁾	スリーブ ⁽¹⁾⁽⁷⁾	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし	変更なし	0.305 ⁽¹⁾⁽⁵⁾	138 ⁽¹⁾⁽⁶⁾	スリーブ ⁽¹⁾⁽⁷⁾	端板 ⁽¹⁾⁽⁸⁾	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし
			0.24 ⁽¹⁾⁽⁹⁾	122 ⁽¹⁾⁽¹⁰⁾	貫通配管 ⁽¹⁾⁽¹¹⁾														

変更前										変更後									
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ	
401	6B 貫通部	1	0.261 ^(F15)	122 ^(F16)	スリーブ ^(E1)	[Redacted]	0.305 ^(F15)	138 ^(F16)	端 板	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]						
			0.86 ^(F14)	51 ^(F12)	貫通配管								変更なし ^(G1)	変更なし ^(G2)					
404	3/4B 貫通部	1	0.261 ^(E5)	122 ^(E6)	スリーブ ^(F1)	[Redacted]	0.305 ^(G1)	138 ^(G2)	端 板	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]						
			0.24 ^(A1,11)	122 ^(E2)	貫通配管								変更なし ^(G1)	変更なし ^(G2)					
450	6B 貫通部	1	0.261 ^(E5)	122 ^(E6)	スリーブ ^(F1)	[Redacted]	0.305 ^(G1)	138 ^(G2)	端 板	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]						
			2.1 ^(A1,11)	150 ^(E2)	貫通配管								変更なし ^(G1)	変更なし ^(G2)					

42

変更前										変更後									
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	構 成	、主要寸法 (mm)			材 料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ	
451	6B 貫通部	1	0.261 ^(E3)	122 ^(E1)	スリーブ ^(E7)	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	451 ^(E14)	変更なし	1	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	
				150 ^(E2)	端 板								0.305 ^(E2)	138 ^(E3)					
			2.1 ^(E2.1)	150 ^(E2)	貫通配管								変更なし	変更なし					
452	3/4B ×3 貫通部	1	0.261 ^(E5)	122 ^(E6)	スリーブ ^(E7)	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	変更なし	1	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし		
				端 板	0.305 ^(E2)							138 ^(E3)							
			0.86 ^(E2.1)	51 ^(E2)	貫通配管							変更なし	変更なし						
453	6B 貫通部	1	0.261 ^(E5)	122 ^(E6)	スリーブ ^(E7)	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	変更なし	1	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし		
				端 板	0.305 ^(E2)							138 ^(E3)							
			0.86 ^(E2.1)	51 ^(E2)	貫通配管							変更なし	変更なし						

別添1 (27/43)
(令和2年9月25日)

43

変更前										変更後									
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	構成	主要寸法 (mm)			材 料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ	
457	8B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	457	変更なし	1	0.305	138	変更なし	変更なし	変更なし	[黒塗り]	
				150	端 板								0.305	138					
			2.1	貫通配管	0.305								138						
477	8B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	477	変更なし	1	0.305	138	変更なし	変更なし	変更なし	[黒塗り]	
				150	端 板								0.305	138					
			2.1	貫通配管	0.305								138						
478	6H 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	478	変更なし	1	0.305	138	変更なし	変更なし	変更なし	[黒塗り]	
				150	端 板								0.305	138					
			2.1	貫通配管	0.305								138						

変更前										変更後									
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ	
479	1B 貫通部	1 ^{(1)(f4)}	0.261 ^{(1)(e5)}	122 ^{(1)(f6)}	スリーブ ^{(1)(e7)}	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	479 ^{(1)(e22)}	変更なし	1	変更なし ^{(1)(e2)}	変更なし ^{(1)(e3)}	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
			0.24 ^{(1)(e2,11)}	122 ^{(1)(e2)}	端 板								0.305 ^{(1)(e2)}	138 ^{(1)(e3)}					
481	6B 貫通部	1 ^{(1)(f4)}	0.261 ^{(1)(e5)}	122 ^{(1)(f6)}	スリーブ ^{(1)(e7)}	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	481 ^{(1)(e19)}	変更なし	1	変更なし ^{(1)(e2)}	変更なし ^{(1)(e3)}	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
			2.1 ^{(1)(e2,11)}	150 ^{(1)(e2)}	端 板								0.305 ^{(1)(e2)}	136 ^{(1)(e3)}					
454 480	48B 貫通部	2 ^{(1)(f4)}	0.261 ^{(1)(e5)}	122 ^{(1)(f6)}	スリーブ ^{(1)(e7)}	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	2	変更なし ^{(1)(e2)}	変更なし ^{(1)(e3)}	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
			0.24 ^{(1)(e2,11)}	122 ^{(1)(e2)}	端 板								0.305 ^{(1)(e2)}	138 ^{(1)(e3)}					
					貫通配管														

45

変更前										変更後																	
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	構成	主要寸法 (mm)			材料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	構成	主要寸法 (mm)			材料								
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ									
458	12B 貫通部	1	(F.5)	0.261	(F.5)	122	スリーブ	変更なし	変更なし	変更なし	1	(F.7)	0.305	(F.7)	138	スリーブ	変更なし	変更なし	変更なし								
			(F.5)	0.261	(F.5)	122						(F.5)	0.261	(F.5)	122					(F.5)	0.261	(F.5)	122	(F.5)	0.261	(F.5)	122
			(F.11)	0.24	(F.11)	122						(F.11)	0.24	(F.11)	122					(F.11)	0.24	(F.11)	122	(F.11)	0.24	(F.11)	122
459	12B 貫通部	1	(G.4)	0.261	(G.4)	122	スリーブ	変更なし	変更なし	変更なし	1	(G.6)	0.305	(G.6)	138	スリーブ	変更なし	変更なし	変更なし								
			(G.4)	0.261	(G.4)	122						(G.4)	0.261	(G.4)	122					(G.4)	0.261	(G.4)	122	(G.4)	0.261	(G.4)	122
			(G.11)	0.24	(G.11)	122						(G.11)	0.24	(G.11)	122					(G.11)	0.24	(G.11)	122	(G.11)	0.24	(G.11)	122
460	12B 貫通部	1	(H.5)	0.261	(H.5)	122	スリーブ	変更なし	変更なし	変更なし	1	(H.7)	0.305	(H.7)	138	スリーブ	変更なし	変更なし	変更なし								
			(H.5)	0.261	(H.5)	122						(H.5)	0.261	(H.5)	122					(H.5)	0.261	(H.5)	122	(H.5)	0.261	(H.5)	122
			(H.11)	0.24	(H.11)	122						(H.11)	0.24	(H.11)	122					(H.11)	0.24	(H.11)	122	(H.11)	0.24	(H.11)	122

別添1 (30/43)
(令和2年9月25日)

46

変更前										変更後																											
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	構成	主要寸法 (mm)			材料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	構成	主要寸法 (mm)			材料																		
						外径	長さ	厚さ								外径	長さ	厚さ																			
475	12B 貫通部	1	0.261 ^(7F8)	122 ^(7F8)	スリーブ ^(4L7)				変更なし	変更なし	1	0.305 ^(4E3)	138 ^(4F3)	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし																				
			0.24 ^(7E2.1)	122 ^(7E2)	貫通配管							0.305 ^(4E3)	138 ^(4E3)																								
476	12B 貫通部	1	0.261 ^(7E5)	122 ^(7E5)	スリーブ ^(4L7)														変更なし	変更なし	1	0.305 ^(4E3)	138 ^(4E3)	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし										
			0.24 ^(7E2.1)	122 ^(7E2)	貫通配管																	0.305 ^(4E3)	138 ^(4E3)														
327	3B 貫通部	1	0.261 ^(7E5)	122 ^(7E5)	スリーブ ^(4L7)																								変更なし	変更なし	1	0.305 ^(4E3)	138 ^(4E3)	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
			0.24 ^(7E2.1)	122 ^(7E2)	貫通配管																											0.305 ^(4E3)	138 ^(4E3)				

47

変更前										変更後										
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構成	主要寸法 (mm)			材料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構成	主要寸法 (mm)			材料	
						外径	長さ	厚さ								外径	長さ	厚さ		
302 330 375 378	予備 貫通部	4	0.261	122	スリーブ 閉止板					変更なし		0.305	138							
356 376 379	予備 貫通部	3	0.261	122	スリーブ 閉止板					変更なし		0.305	138							
456		1	0.261	122	スリーブ 閉止板					変更なし		0.305	138							

- (注1) 公称値
- (注2) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- (注3) 重大事故等時における使用時の値
- (注4) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。
- (注5) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書に記載の原子炉格納容器の最高使用圧力の値
- (注6) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書に記載の原子炉格納容器の最高使用温度の値
- (注7) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「XXXXXXXXXX」と記載
- (注8) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和46年5月6日付け関工発第18号にて軽微変更届出した工事計画書の添付図面第2図「貫通部スリーブおよび補強板寸法図」による。
- (注9) 貫通配管については、原子炉冷却系統施設のうち余熱除去設備及び原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備と兼用
- (注10) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SUS32HP」と記載
- (注11) SI単位に換算したものである。

別添1 (32/43)
令和2年9月25日

(注12) 貫通配管については、原子炉冷却系統施設のうち余熱除去設備と兼用

(注13) JIS G3118 SGV49相当材

(注14) 貫通配管については、原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備及び計測制御系統施設のうちほう酸注入機能を有する設備と兼用

(注15) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SUS27HP」と記載

(注16) 貫通配管については、原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備と兼用

(注17) 貫通配管については、原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）と兼用

(注18) 貫通配管については、計測制御系統施設のうち制御用空気設備と兼用

(注19) 貫通配管については、原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）と兼用

(注20) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ATSM A516 Gr.70 (SGV 49相当)」と記載

(注21) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和47年8月26日付け47公第6032号にて認可された工事計画の参考資料2「格納容器を貫通する管一覧表」による。

(注22) 貫通配管については、計測制御系統施設と兼用

c 伸縮式配管貫通部

変更前										変更後									
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ	
151	14B 貫通部	1	0.261 ⁽¹⁾⁽²⁾	122 ⁽¹⁾⁽³⁾	スリーブ ⁽¹⁾⁽⁴⁾	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	151 ⁽¹⁾⁽¹⁰⁾	変更なし	1	変更なし ⁽¹⁾⁽⁴⁾	変更なし ⁽¹⁾⁽³⁾	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	
					伸縮継手 ⁽¹⁾⁽⁵⁾								端板 (スリーブ 取付)	端板 (配管 取付)					短管
			0.24 ⁽¹⁾⁽⁶⁾	122 ⁽¹⁾⁽⁶⁾	貫通配管								0.305 ⁽¹⁾⁽⁴⁾	138 ⁽¹⁾⁽³⁾					
152	14B 貫通部	1	0.261 ⁽¹⁾⁽²⁾	122 ⁽¹⁾⁽³⁾	スリーブ ⁽¹⁾⁽⁴⁾	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	152 ⁽¹⁾⁽¹⁰⁾	変更なし	1	変更なし ⁽¹⁾⁽⁴⁾	変更なし ⁽¹⁾⁽³⁾	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	
					伸縮継手 ⁽¹⁾⁽⁵⁾								端板 (スリーブ 取付)	端板 (配管 取付)					短管
			0.24 ⁽¹⁾⁽⁶⁾	122 ⁽¹⁾⁽⁶⁾	貫通配管								0.305 ⁽¹⁾⁽⁴⁾	138 ⁽¹⁾⁽³⁾					

49

変更前										変更後									
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	構 成	主要寸法 (mm)			材 料
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ	
153	14B 貫通部	1	0.261 ^(15.2)	122 ^(15.3)	スリーブ ^(15.4)	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし	変更なし	0.305 ^(15.6)	138 ^(15.4)	変更なし	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	
					伸縮継手 ^(15.5)														変更なし
					端板 (スリーブ 取付)														
					端板 (配管 取付)														
					短管														
			0.24 ^(15.6)	122 ^(15.5)	貫通配管							変更なし	変更なし						
175	14B 貫通部	1	0.261 ^(15.2)	122 ^(15.3)	スリーブ ^(15.4)	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	変更なし	変更なし	0.305 ^(15.6)	138 ^(15.4)	変更なし	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	
					伸縮継手 ^(15.5)														変更なし
					端板 (スリーブ 取付)														
					端板 (配管 取付)														
					短管														
			0.24 ^(15.6)	122 ^(15.5)	貫通配管							変更なし	変更なし						
												0.305 ^(15.6)	138 ^(15.4)						

51

変更前										変更後									
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	構成	主要寸法 (mm)			材 料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	構成	主要寸法 (mm)			材 料
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ	
225 251	30B 貫通部	2	0.261	122	スリーブ	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	225 251	変更なし	2	変更なし 0.305	変更なし 138	変更なし 351	変更なし	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]
				291	伸縮継手 端 板 (スリーブ 取付) 端 板 (配管 取付) 短 管									変更なし 8.0					
352	30B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]	352	変更なし	1	変更なし 0.305	変更なし 138	スリーブ	同左	[黒塗り]	[黒塗り]	[黒塗り]
				291	伸縮継手 端 板 (スリーブ 取付) 端 板 (配管 取付) 短 管									変更なし 8.0	変更なし 351				
			7.48	291	貫通配管								8.0	351	貫通配管				

*原規規収第1610071号 2-19 (令和元年9月18日) にて確認

*
別添1 (36/43)
(令和2年9月25日)

52

変更前										変更後												
貫通部番号	種類	個数	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	構成	主要寸法 (mm)			材料	貫通部番号	種類	個数	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	構成	主要寸法 (mm)			材料			
						外径	長さ	厚さ								外径	長さ	厚さ				
226	16B 貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	226	変更なし	1	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし				
				138	スリーブ								同左	同左								
230	伸縮継手	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]					[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	226	変更なし	1	0.305	変更なし	351	伸縮継手	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
端板 (スリーブ 取付)	変更なし															端板 (スリーブ 取付)						
端板 (配管 取付)	変更なし					端板 (配管 取付)																
			7.48	230	貫通配管	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	226	変更なし	1	8.0	変更なし	351	貫通配管	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]			
250 351	16B 貫通部	2	0.261	122	スリーブ	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	250 351	変更なし	2	0.305	変更なし	351	スリーブ	同左	同左				
				138	スリーブ								同左	同左								
230	伸縮継手	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]					[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	250 351	変更なし	2	0.305	変更なし	351	伸縮継手	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
端板 (スリーブ 取付)	変更なし															端板 (スリーブ 取付)						
端板 (配管 取付)	変更なし					端板 (配管 取付)																
			7.48	230	貫通配管	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	250 351	変更なし	2	8.0	変更なし	351	貫通配管	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]			

*原規規収第1610071号 2-19 (令和元年9月18日) にて確認

*

別添1 (37/43)
(令和2年9月25日)

- (注1) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。
- (注2) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書に記載の原子炉格納容器の最高使用圧力の値
- (注3) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書に記載の原子炉格納容器の最高使用温度の値
- (注4) 記載の適正化を行う。既工事計画書には [REDACTED] と記載
- (注5) 公称値
- (注6) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- (注7) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ASTM A516 Gr. 70 A300 及び SUS27HP」と記載
- (注8) 重大事故等時における使用時の値
- (注9) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ペローズ」と記載
- (注10) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和47年8月26日付け47公第6032号にて認可された工事計画書の添付資料2-1「安全注入再循環配管、内部スプレ再循環配管格納容器貫通部強度計算書」による。
- (注11) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SUS27CS」と記載
- (注12) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SUS27HP」と記載
- (注13) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和46年5月6日付け関工発第18号にて経緯変更届出した工事計画書の添付図面第2図「貫通部スリーブおよび補強板寸法図」による。
- (注14) 貫通配管については、原子炉冷却系統施設のうち主蒸気・主給水設備と兼用
- (注15) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和47年8月26日付け47公第6032号にて認可された工事計画書の添付資料2-2「主蒸気格納容器貫通部強度計算書」による。
- (注16) SGV480相当
- (注17) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和47年8月26日付け47公第6032号にて認可された工事計画書の添付資料2-3「主給水管格納容器貫通部強度計算書」による。
- (注18) 貫通配管については、原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備と兼用

原子炉格納施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るものについては、次の事項

1 原子炉格納容器に係る次の事項

(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部の名称又は貫通部番号、種類、個数、最高使用圧力、最高使用温度、構成、主要寸法及び材料

d 電気配線貫通部

変更前										変更後									
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構成	主要寸法 (mm)			材 料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構成	主要寸法 (mm)			材 料
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ	
528 529	電線 貫通部	2	0.261	122	スリーブ 本 体 端 板 溶接 リング					変更なし			0.305	138					

54

変更前							変更後												
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構成	主要寸法 (mm)			材 料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構成	主要寸法 (mm)			材 料
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ	
625、626 627、628 632、650 652、653 654、655 656、658 659、660 552、554 556、560 562、575 576、577 578、579 580	電線 貫通部	25	0.261	122	スリーブ					変更なし			変更なし 0.305	変更なし 138					変更なし

55

56

変更前								変更後											
貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構成	主要寸法 (mm)			材 料	貫通部 番号	種類	個数	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	構成	主要寸法 (mm)			材 料
						外 径	長 さ	厚 さ								外 径	長 さ	厚 さ	
602、603 629、630 631、651 661、662 663、675 676、677 551、558	電線 貫通部	14	0.261	122	スリーブ					変更なし			0.305	138					
550 553 555 557 559 561	電線 貫通部	6	0.261	122	スリーブ					変更なし			0.305	138	スリーブ	同左		同左	ASTM A333 Gr. 6 及び GSTPL
526 600 601	予備 貫通部	3	0.261	122	スリーブ 閉止板					変更なし			0.305	138					

(注1) 公称値

(注2) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

(注3) 重大事故等時における使用時の値

(注4) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成7年7月3日付け7資庁第7575号にて認可された工事計画の添付資料1-2「原子炉格納容器電線貫通部の強度計算書」による。

(注5) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。

*原規規収第1610071号 2-20 (令和元年5月17日、9月19日) にて確認

別添1 (41/43)
(令和2年9月25日)

- (注6) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「25組」と記載
- (注7) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書に記載の原子炉格納容器の最高使用圧力の値
- (注8) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書に記載の原子炉格納容器の最高使用温度の値
- (注9) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「 」と記載
- (注10) GSTPL相当
- (注11) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和47年8月26日付け47公第6032号にて認可された工事計画の資料3「格納容器電線ケーブル貫通部強度強度計算書（通産省告示第501号による計算書）」による。
- (注12) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「 」と記載
- (注13) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「14組」と記載
- (注14) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「6組」と記載
- (注15) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和45年4月21日付け45公第2736号にて認可された工事計画の資料2-1「原子炉格納容器板厚および補強板等の計算書」による。
- (注16) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「 」と記載
- (注17) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和45年7月30日付け関工第85号にて届出された工事計画の添付図面第2図「貫通部スリーブおよび補強板寸法図（分割申請第1次分第3-3図）」による。

(4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部の名称又は貫通部番号、種類、個数、最高使用圧力、最高使用温度、構成、主要寸法及び材料

b. 固定式配管貫通部

変更前									変更後									
貫通部番号	種類	個数	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	構成	主要寸法 (mm)			貫通部番号	種類	個数	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	構成	主要寸法 (mm)			
						外径	長さ	厚さ							外径	長さ	厚さ	材料
290	3/4B貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]						
			0.305	138	端板													
			0.98	50	貫通配管													
291	3/4B貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]						
			0.305	138	端板													
			0.7	170	貫通配管													
301	2E貫通部	1	0.261	122	スリーブ	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]						
			0.305	138	端板													
			0.98	95	貫通配管													

58/E

関西電力株式会社
高浜発電所第1号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1610071号99

成績書管理番号：1-11

令和2年9月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-11

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第1号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自令和2年9月23日
至令和2年9月24日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第299号(平成28年10月7日) 関原発第434号(平成30年3月20日) 関原発第46号(平成30年4月20日) 関原発第202号(平成30年7月4日) 関原発第259号(平成30年8月20日) 関原発第415号(平成30年12月5日) 関原発第504号(平成31年2月1日) 関原発第512号(平成31年2月6日) 関原発第582号(平成31年3月18日) 関原発第3号(平成31年4月4日) 関原発第68号(2019年5月16日) 関原発第115号(2019年6月24日) 関原発第204号(2019年8月23日) 関原発第478号(2020年1月23日) 関原発第510号(2020年1月31日) 関原発第542号(2020年2月26日) 関原発第609号(2020年3月24日) 関原発第20号(2020年4月7日) 関原発第236号(2020年8月21日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-11

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
ω 令和2年 9月 ²³ / ₂₄ 日	良	雑賀康正 	ボラー・ターゼン 主任技術者 	なし

関西電力株式会社高浜発電所第 1 号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：1-11

検査年月日：令和 2 年 9 月 23 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録
(一号検査)

成績書管理番号：1-11

検査年月日：令和2年9月23日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・⊖	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・⊖	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：1-11

検査年月日：令和2年9月23日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象			
<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉冷却系統施設 一次冷却材の循環設備、主蒸気・主給水設備、余熱除去設備、非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備、原子炉補機冷却設備、蒸気タービンの附属設備 ・原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）、放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 ・放射線管理施設 換気設備 主配管の支持構造物 別添1参照 			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 5px;">目視</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; width: 60px; height: 20px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 5px;">記録確認</div>
備考 <ul style="list-style-type: none"> ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T1-1-0219 T1-1-1914 T1-1-1914（その2） T1-1-1915 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照 			

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録
 (一号検査)
 (立会検査)

成績書管理番号：1-11

検査年月日：令和2年9月23日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
原子炉冷却系統施設 一次冷却材の循環設備 余熱除去設備 非常用炉心冷却設備その他 原子炉注水設備 放射線管理施設 換気設備	外観検査 組立て及び据付け 状態を確認する検査	—	良	目視
備考：検査対象設備のうち、目視により確認した支持構造物は以下のとおり P-CF-21B-007、P-CF-21B-008A、MK-RHH-501、 MK-RHH-38、P-AC-28G-010、P-AC-28G-016、 DS1-005				

施設区分	設備区分	サポート番号	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉冷却系統施設	一次冷却材の循環設備	加圧器～弁(1MOV-8000A、B) 入口レギュレーサ(6×3)	MK-RCH-24	6	令和2年 9月24日
			MK-RCH-26	6	
			MK-RCH-57N	6	
			MK-RCH-25	6	
			MK-RCH-58N-1	6	
			MK-RCH-58N-2	6	
			MK-RCH-56R-1	6	
			MK-RCH-56R-2	6	
			MK-RCH-59R	6	
			MK-RCH-61R	6	
			MK-RCH-60R	6	
		12B余熱除去ライン用管台～弁 (1MOV-8702A、B)	P-CF-21B-001	12	令和2年 9月23日
			P-CF-21B-002	12	
			P-CF-21B-003	12	
			P-CF-21B-004	12	
			P-CF-21B-005A	12	
			P-CF-21B-005B	12	
			P-CF-21B-007	12	
			P-CF-21B-008A	12	
	P-CF-21B-008B		12		
	P-CF-21B-010A		12		
	P-CF-21B-010B		12		
	P-CF-21B-009		12		
	4B一次冷却系スプレライン用管 台～加圧器	MK-RHH-501	12	令和2年 9月24日	
		MK-RHH-502	12		
		P-CF-21B-011	12		
		P-CF-21B-012	12		
		MK-RHH-25	12		
		MK-RHH-26	12		
		MK-RHH-510	12		
		MK-RHH-511	12		
		MK-RHH-519	12		
		MK-RHH-520	12		
MK-RCH-137	4				
P-CG-21A-019	4				
MK-RCH-143	4				

施設区分	設備区分	サポート番号	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉冷却系統施設	一次冷却材の循環設備	4B一次冷却系スプレライン用管台～加圧器	P-CF-21A-038	4	令和2年 9A24日
			P-CF-21A-039	4	
			MK-RCH-155	4	
			MK-RCH-153	4	
			MK-RCH-162	4	
			弁(1V-8948A、B、C)～12B安全注入系ライン用管台	SIAH-4N	
	主蒸気・主給水設備	弁(1FW-582A、B、C)～補助給水配管合流点	AFW-008N	4	
			P-IF-17K-07-1	4	
			AFW-009N	4	
			P-IF-17K-14-1	4	
			AFW-007N	4	
			AFW-008R	4	
			AFW-005R	4	
			AFW-004R	4	
			AFW-003N	4	
			AFW-002R	4	
			AFW-001R	4	
			格納容器貫通部PEN#225、251、352～主蒸気配管分岐点 弁(1MS-527A、B、C)行き	MSH-172N	
		MSH-157N-A		30	
		MSH-157N-B		30	
		MSH-45		30	
		MSH-53N-A		30	
		MSH-53N-B		30	
		MSH-44		30	
		MSH-54A		30	
		MSH-51N		30	
		MSH-41N-A		30	
		MSH-41N-B		30	
		MSH-182R-1		30	
		MSH-182R-2	30		
	MSH-37N	30			
	MSH-38N-A	30			
	MSH-38N-B	30			
MSH-154N	30				
MSH-183N	30				
MK-MSH-39	30				

施設区分	設備区分	サポート番号	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉冷却系統施設	主蒸気・主給水設備	格納容器貫通部PEN#225、 251、352～主蒸気配管分岐点 弁(1MS-527A、B、C)行き	MSH-36N-1	30	令和2年 9月24日
			MSH-36N-2	30	
			MK-MSH-30	30	
			MSH-35N	30	
			MSH-1022N	30	
			MSH-188S	30	
			MSH-189R	30	
			MSH-1036N	30	
			MSH-179R	30	
			MSH-1016R-A	30	
			MSH-1016R-B	30	
			MSH-16	30	
			MSH-146-1	30	
			MSH-146-2	30	
			MSH-1017N	30	
			MSH-1018R-A	30	
			MSH-1018R-B	30	
			MSH-1018R-C	30	
			MSH-1018R-A	30	
			MSH-1019R-B	30	
			MSH-1019R-C	30	
			MSH-1028R	30	
			MSH-1029R	30	
			MSH-186R	30	
			MSH-1030N	30	
			MSH-27N-A	30	
			MSH-27N-B	30	
			MSH-1031N	30	
			MSH-1032R-A	30	
			MSH-1032R-B	30	
			MSH-13	30	
			MSH-148N-A	30	
			MSH-148N-B	30	
MSH-1033R-A	30				
MSH-1033R-B	30				
MSH-1033R-C	30				

施設区分	設備区分	サポート番号	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉冷却系統施設	主蒸気・主給水設備	格納容器貫通部PEN#225、 251、352～主蒸気配管分岐点 弁(1MS-527A、B、C)行き	MSH-1034N	30	令和2年 9月24日
			MSH-147N-1	30	
			MSH-147N-2	30	
			MSH-1042R	30	
			MSH-1043R	30	
			MSH-17S	30	
			MSH-191N	30	
			MSH-1044N	30	
			MSH-192N	30	
			MSH-25N	30	
			MSH-194R-1	30	
			MSH-194R-2	30	
			MSH-1045R-A	30	
			MSH-1045R-B	30	
			MSH-1045R-C	30	
			MSH-23-1	30	
			MSH-23-2	30	
			MSH-150-1	30	
			MSH-150-2	30	
			MSH-6	30	
		MSH-1046R-A	30		
		MSH-1046R-B	30		
		MSH-1046R-C	30		
		MSH-1047N-1	30		
		MSH-1047N-2	30		
		主蒸気配管分岐点 弁(1MS- 527A、B、C)行き～弁(1MS- 537A、B、C)	MSH-1020N	30	
			MK-MSH-1010R	30	
			MSH-14	30	
			MSH-1021R	30	
			MSH-1035R-A	30	
MSH-1035R-B	30				
MSH-12	30				
MSH-11	30				
MSH-24	30				
MSH-187N-1	30				
MSH-187N-2	30				

施設区分	設備区分	サポート番号	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉冷却系統施設	主蒸気・主給水設備	主蒸気配管分岐点 弁(1MS-527A、B、C)行き～弁(1MS-537A、B、C)	MSH-10	30	令和2年 9月24日
			MSH-195N-1	30	
			MSH-195N-2	30	
			MSH-5	30	
		弁(1FW-520A、B、C)～補助給水配管合流点	MK-FWH-151R	16	
			MK-FWH-157R	16	
			MK-FWH-164R	16	
			MK-FWH-36S	16	
			MK-FWH-83	16	
		補助給水配管合流点～格納容器貫通部PEN#226、250、351	FWH-192N	16	
			FWH-7S	16	
			FWH-58N	16	
			FWH-59N	16	
			FWH-189R	16	
			FW03-800-1	16	
		蒸気発生器A、B、C下流レジャー(32×30)～格納容器貫通部PEN#225、251、352	MSH-79N-1	30	
			MSH-72N-1	30	
			MSH-72N-2	30	
			MK-MSH-92-1	30	
			MK-MSH-92-2	30	
			MSH-93N	30	
			MSH-1048N-1	30	
			MSH-1048N-2	30	
			MSH-64N-1	30	
			MSH-90N-1	30	
			MK-MSH-91-1	30	
			MSH-1049N-1	30	
			MSH-1049N-2	30	
			MSH-98N-2	30	
		格納容器貫通部PEN#226、250、351～蒸気発生器A、B、C	MK-FWH-124	16	
			FWH-123N	16	
			FWH-109N-1	16	
			FWH-109N-2	16	
			MK-FWH-132	16	
			FWH-98N	16	
			FWH-103N-1	16	

(6/46)

施設区分	設備区分	サポート番号	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉冷却系統施設	主蒸気・主給水設備	主蒸気配管分岐点 弁(1AS-108A、B)行き～弁(1AS-108A、B)	1H-MSH-801	6	令和2年 9月24日
			1H-MSH-2801	6	
			1H-MSH-2802	6	
			1H-MSH-2803A	6	
			1H-MSH-2803B	6	
			1H-MSH-802	6	
			1H-MSH-2804	6	
			KTN-1-001	6	
			1H-MSH-839	6	
			1H-MSH-840	6	
			1H-MSH-804	6	
			MSH-311N	8	
			MSH-1015N	8	
			MSH-305	8	
			MSH-306	8	
	MSH-312N	8			
	MK-MSH-303	8			
	MK-MSH-304	8			
	MSH-313N	8			
	MSH-1041N	8			
	MK-MSH-301	8			
	MK-MSH-302	8			
	余熱除去設備	格納容器貫通部PEN#227、277～余熱除去ポンプ入ロラインとの合流点	MK-RHH-40	12	
			MK-RHH-42	12	
			MK-RHH-87	12	
			MK-RHH-89	12	
			MK-RHH-44	12	
			RHH-530N	12	
			MK-RHH-104	12	
			RHH-531N	12	
MK-RHH-53			12		
MK-RHH-113			12		
MK-RHH-116			12		
MK-RHH-117			12		
MK-RHH-118			12		
RHH-532N			12		

施設区分	設備区分	サポート番号	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉冷却系統施設	余熱除去設備	格納容器貫通部PEN#227、277 ～余熱除去ポンプ入ロラインとの 合流点	RHH-533N	12	令和2年 9月24日
			MK-RHH-123	12	
			RHH-534N	12	
			MK-RHH-58	12	
			MK-RHH-124	12	
			MK-RHH-125	12	
		余熱除去ポンプ入ロラインとの 合流点～余熱除去ポンプA、B	MK-RHH-91	14	
			RHH-528N	14	
			MK-RHH-47	14	
			RHH-527N	14	
			RHH-529N	14	
			MK-RHH-48	14	
			MK-RHH-39	14	
			RHH-535N	14	
			RHH-536N	14	
			MK-RHH-62	14	
			RHH-537N	14	
			RHH-538N	14	
			RHH-539N	14	
			RHH-540N	14	
		MK-RHH-63	14		
		MK-RHH-38	14	令和2年9月23日	
		弁(1MOV-8809A、B)～余熱除 去ポンプ入ロラインとの合流点	MK-RHH-45	14	
			MK-RHH-60	14	
		余熱除去ポンプA、B出ロレ ジャーサ(10×8)～余熱除去クー ラA、B	MK-RHH-132	10	
			MK-RHH-135	10	
			MK-RHH-136	10	
			MK-RHH-137	10	
			MK-RHH-138	10	
			MK-RHH-141	10	
			MK-RHH-151	10	
			RHH-152N	10	
		MK-RHH-154	10		
弁(1HCV-603A)～高温側注入 配管分岐点	MK-RHH-160	10			
	MK-RHH-178	10			
	MK-RHH-179	10			
					令和2年 9月24日

施設区分	設備区分	サポート番号	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉冷却系統施設	余熱除去設備	弁(1HCV-603A)～高温側注入 配管分岐点	MK-RHH-180A	10	令和2年 9月24日
			MK-RHH-180B	10	
			MK-RHH-181	10	
			RHH-524N	10	
			MK-SIH-45	10	
			MK-SIH-76	10	
			MK-SIH-77	10	
		弁(1HCV-603B)～高温側注入 配管分岐点	MK-RHH-172	10	
			MK-RHH-171	10	
			MK-RHH-188	10	
			MK-RHH-185	10	
			MK-RHH-168	10	
			MK-RHH-167	10	
		弁(1MOV-8702A、B)～弁 (1MOV-8701A、B)	P-CF-21B-014	12	
			MK-RHH-22	12	
			MK-RHH-23	12	
			P-CF-21B-015	12	
			P-CF-21B-016	12	
			MK-RHH-7A	12	
			MK-RHH-7B	12	
			MK-RHH-24	12	
			MK-RHH-505	12	
			MK-RHH-509	12	
			MK-RHH-521N	12	
			MK-RHH-512	12	
			MK-RHH-513	12	
			MK-RHH-514	12	
			MK-RHH-515	12	
			MK-RHH-30	12	
			MK-RHH-17	12	
			MK-RHH-31	12	
			MK-RHH-32	12	
MK-RHH-517	12				
MK-RHH-198	12				
MK-RHH-199	12				
MK-RHH-516A	12				

施設区分	設備区分	サポート番号	サポート番号	配管口径 (B)	検査日			
原子炉冷却系統施設	余熱除去設備	弁(1MOV-8702A、B)～弁 (1MOV-8701A、B)	MK-RHH-516B	12	令和2年 9月24日			
			MK-RHH-518A	12				
			MK-RHH-518B	12				
		余熱除去設備	高温側注入配管分岐点～弁 (1MOV-8818A、B)	SIH-402N		10		
				MK-SIH-62		10		
				MK-SIH-63-2		10		
				MK-SIH-63-1		10		
				MK-SIH-60		10		
				MK-SIH-58		10		
				MK-SIH-57		10		
				MK-SIH-54		10		
				MK-SIH-55		10		
				MK-SIH-52		10		
				MK-SIH-53		10		
				RHH-541N		10		
				MK-SIH-50		10		
				SIH-424N		10		
				MK-SIH-31		10		
				RHH-542N		10		
				MK-SIH-47		10		
				MK-SIH-48		10		
				MK-SIH-49		10		
				MK-SIH-30		10		
				余熱除去設備		高温側注入配管分岐点～弁 (1MOV-8817A、B)	MK-SIH-43	10
							MK-SIH-39	10
							MK-SIH-64	10
							MK-SIH-66	10
	MK-SIH-67						10	
	MK-SIH-40						10	
	SIH-417N						10	
	非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	燃料取替用水タンク～弁 (1MOV-8400A、B)	P-AF-28W-003	14				
			P-AC-28G-001	14				
			P-AC-28G-002A	14				
P-AC-28G-002B			14					
弁(1V-8926)～弁(1LCV-115D、 B)		P-AF-28W-021	8					
		P-AF-28W-022	8					

施設区分	設備区分	サポート番号	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉冷却系統施設	非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	弁(1MOV-8811A、B)～弁 (1MOV-8812A、B)	MK-SIH-6	14	令和2年 9月24日
			MK-SIH-20	14	
			MK-SIH-15	14	
			MK-SIH-12	14	
			MK-SIH-25	14	
		燃料取替用水タンク～弁(1V- 8958)	P-AF-28W-001	14	
			P-AF-28W-002	14	
		弁(1MOV-8818A、B)～格納容 器貫通部PEN#263、224	RHH-522R	10	
			RHH-523R	10	
			SIH-78R	10	
		弁(1MOV-8817A、B)下流分岐 点～弁(1MOV-8819)	RHH-525N	10	
			RHH-526R	10	
		格納容器貫通部PEN#263、224 ～弁(1V-8971A、B)下流分岐点	MK-SIH-119	10	
			MK-SIH-101	10	
		弁(1V-8971A、B)下流分岐点～ 弁(1V-8973A、C)及び弁(1V- 8972A、B)を経て弁(1V-8973B)	MK-SIH-126	6	
			SIH-227N	6	
			MK-SIH-143	6	
			MK-SIH-149	6	
			MK-SIH-129R	6	
			MK-SIH-141	6	
			MK-SIH-120	6	
			MK-SIH-106	6	
			SIH-297N	6	
			MK-SIH-176	6	
			MK-SIH-174	6	
			MK-SIH-173	6	
			MK-SIH-147	6	
			MK-SIH-130	6	
			MK-SIH-170	6	
			MK-SIH-167	6	
			SIH-160R	6	
			SIH-224A	6	
			弁(1V-8935A、B)上流分岐点～ 弁(1V-8935A、B)	MK-SIH-182	
SIH-221A	6				
MK-SIH-189	6				
アキュムレータA、B、C～弁 (1MOV-8808A、B、C)	SIH-45R	12			

施設区分	設備区分	サポート番号	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉冷却系統施設	非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	弁(1MOV-8808A、B、C)～弁(1V-8956A、B、C)	SIAH-6R	12	令和2年 9月24日
		弁(1V-8956A、B、C)～弁(1V-8948A、B、C)	SIAH-53N	12	
			SIAH-14S	12	
			SIAH-16N	12	
			SIAH-52N	12	
			SIAH-67N	12	
			AM-1-2A	6	
		AM-1-46R	6		
		AM-1-50R	6		
		AM-1-47R	6		
		AM-1-48R	6		
		AM-1-49R	6		
		AM-1-37R	6		
		AM-1-6R	6		
		AM-1-41R	6		
		AM-1-8R	6		
		AM-1-43N	6		
		AM-1-9R	6		
		AM-1-11R	6		
		AM-1-12R	6		
		AM-1-14R	6		
		AM-1-1A	6		
		AM-1-16R	6		
		AM-1-18R	6		
		AM-1-20R	6		
		AM-1-44N	6		
		AM-1-21R	6		
		AM-1-23R	6		
		AM-1-25R	6		
		AM-1-45N	6		
		AM-1-27R	6		
		AM-1-28R	6		
		AM-1-29R	6		
AM-1-30R	6				
AM-1-32R	6				
燃料取替用水タンク出口配管分岐点及びB電動補助給水ポンプ入口配管分岐点～原子炉下部キャビティ注水ポンプ及び恒設代替低圧注水ポンプ	P-AC-28G-003	8			

施設区分	設備区分	サポート番号	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉冷却系統施設	非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	燃料取替用水タンク出口配管分岐点及びB電動補助給水ポンプ入口配管分岐点～原子炉下部キャビティ注水ポンプ及び恒設代替低圧注水ポンプ	P-AC-28G-004	8	令和2年 9月24日
			P-AC-28G-005	8	
			P-AC-28G-006	8	
			P-AC-28G-007	8	
			P-AC-28G-008	8	
			P-AC-28H-001	10	
			P-AC-28H-002	10	
			P-AC-28H-003	10	
			P-AA-28H-004	10	
			P-AA-28H-005	10	
			P-AA-28H-006	10	
			P-AA-28H-007	10	
			P-AA-28H-008	10	
			P-AA-28H-009	10	
			P-AA-28M-078	10	
			P-AA-28M-079	10	
			P-AA-28M-080	10	
			P-AA-28M-081	10	
			P-AA-28M-082	10	
			P-AA-28M-083	10	
			P-AA-28M-084	10	
			P-AA-28M-085	6	
			P-AC-28H-010	10	
			P-AC-28H-011	10	
			P-AC-28H-012	10	
			P-AC-28H-013	10	
			P-AC-28H-014	10	
			P-AC-28H-015	10	
			P-AC-28H-016	10	
			P-AC-28H-017	10	
P-AC-28H-018	10				
P-AC-28H-019	10				
P-AC-28H-020	10				
P-AA-28H-021	10				
P-AA-28H-022	10				
P-AA-28H-023	10				

施設区分	設備区分	サポート番号	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉冷却系統施設	非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	燃料取替用水タンク出口配管分岐点及びB電動補助給水ポンプ入口配管分岐点～原子炉下部キャビティ注水ポンプ及び恒設代替低圧注水ポンプ	P-AA-28H-024	10	令和2年 9月24日
			P-AA-28H-025	10	
			P-AA-28K-167	10	
			P-AA-28K-168	10	
			P-AA-28K-169	10	
			P-AA-28K-170	10	
			P-AA-28K-171	10	
			P-AA-28K-172	6	
			P-IB-28G-051	14	
			P-IB-28G-052	14	
			P-IB-28G-053	14	
			P-IB-28G-054	10	
			P-IB-28G-055	10	
			P-IB-28G-056	10	
			P-IB-28G-057	10	
			P-IB-28G-058	10	
			P-IB-28G-059	6	
			P-IB-28G-040	14	
			P-IB-28G-041	14	
			P-IB-28G-042	14	
			P-IB-28G-043	14	
			P-IB-28G-044	14	
			P-IB-28G-045	14	
			P-IB-28G-046	14	
			P-IB-28G-047	14	
			P-IB-28G-048	14	
			P-IB-28G-049	14	
			P-IB-28G-050	14	
			P-IB-28G-027	14	
			P-IB-28G-028	14	
			P-IB-28G-029	14	
			P-IB-28G-030	14	
			P-IB-28G-031	14	
			P-IB-28G-036	14	
			P-IB-28G-037	14	
			P-IB-28G-038	14	

施設区分	設備区分	サポート番号	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉冷却系統施設	非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	燃料取替用水タンク出口配管分岐点及びB電動補助給水ポンプ入口配管分岐点～原子炉下部キャビティ注水ポンプ及び恒設代替低圧注水ポンプ	P-IB-28G-039	14	令和2年 9月24日
			P-AC-28G-023	14	
			P-AC-28G-024	14	
			P-AC-28G-025	14	
			P-AC-28G-026	14	
			P-AC-28G-009	14	
			P-AC-28G-010	14	令和2年9月23日
			P-AC-28G-011	14	令和2年 9月24日
			P-AC-28G-012	14	
			P-AC-28G-013	14	
			P-AC-28G-014	14	
			P-AC-28G-015	14	令和2年9月23日
			P-AC-28G-016	14	
			P-AC-28G-017	14	
		P-AC-28G-018	14		
		P-AC-28G-019	14		
		P-AC-28G-020	14		
		P-AC-28G-021	14		
		P-AC-28G-022	14		
		原子炉下部キャビティ注水ポンプ～A内部スプレクーラ出口配管合流点	P-AA-28K-103	14	令和2年 9月24日
			P-AA-28K-104	14	
			P-AA-28K-105	14	
			P-AA-28K-106	14	
			P-AA-28K-107	14	
			P-AA-28K-108	14	
			P-AA-28K-109	14	
P-AA-28K-110	14				
P-AA-28K-111	14				
P-AA-28K-112	14				
P-AA-28K-113	14				
P-AA-28K-114	14				
P-AA-28K-115	14				
P-AA-28K-116	14				
P-AA-28K-117	14				
P-AA-28K-118	14				
P-AA-28K-119	14				

施設区分	設備区分	サポート番号	サポート番号	配管口径 (B)	検査日		
原子炉冷却系統施設	非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	原子炉下部キャビティ注水ポンプ～A内部スプレクーラ出口配管合流点	P-AA-28K-120	4	令和2年 9月24日		
			P-AA-28K-121	4			
			P-AA-28K-122	4			
			P-AA-28K-123	4			
			P-AA-28K-124	4			
			P-AA-28K-125	4			
			P-AA-28K-126	4			
			P-AC-28K-127	6			
			P-AC-28K-128	6			
			P-AC-28K-129	6			
			P-AC-28K-130	6			
			P-AD-28K-140	6			
			P-AD-28K-141	6			
			P-AD-28K-142	6			
			V-AD-28K-143	6			
			V-AD-28K-144	6			
			P-AD-28K-145	6			
			P-AD-28K-146	6			
			P-AD-28K-147	6			
			P-AD-28K-148	6			
				恒設代替低圧注水ポンプ～B内部スプレクーラ出口配管合流点		P-AA-28M-001	6
						P-AA-28M-002	6
						P-AA-28M-003	6
						P-AA-28M-004	6
						P-AA-28M-005	6
						P-AA-28M-006	6
						P-AA-28M-007	6
			P-AA-28M-008	6			
			P-AA-28M-009	6			
			P-AA-28M-010	6			
			P-AA-28M-011	6			
			P-AA-28M-012	6			
			P-AA-28M-013	6			
		P-AA-28M-014	6				
		P-AA-28M-015	6				
		P-AA-28M-016	6				

施設区分	設備区分	サポート番号	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉冷却系統施設	非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	恒設代替低圧注水ポンプ～B内部スプレクーラ出口配管合流点	P-AA-28M-017	6	令和2年 9月24日
			P-AA-28M-018	6	
			P-AA-28M-019	6	
			P-AA-28M-020	6	
			P-AA-28M-021	6	
			P-AA-28M-022	6	
			P-AA-28M-023	6	
			P-AA-28M-024	6	
			P-AA-28M-025	6	
			P-AA-28M-026	6	
			P-AA-28M-027	6	
			P-AA-28M-028	6	
			P-AA-28M-029	6	
			P-AA-28M-030	6	
			P-AA-28M-031	6	
			P-AA-28M-032	6	
			P-AC-28M-036	6	
			P-AC-28M-037	6	
			P-AC-28M-038	6	
			P-AC-28M-039	6	
			P-AC-28M-040	6	
			P-AC-28M-041	6	
			P-AC-28M-042	6	
			P-AC-28M-043	6	
			P-AC-28M-044	6	
			P-AD-28M-045	6	
			P-AD-28M-046	6	
			P-AD-28M-047	6	
			P-AD-28M-048	6	
			P-AD-28M-049	6	
P-AD-28M-050	6				
P-AD-28M-051	6				
V-AD-28M-052	6				
V-AD-28M-053	6				
P-AD-28M-054	6				
P-AD-28M-055	6				

施設区分	設備区分	サポート番号	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉冷却系統施設	非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	恒設代替低圧注水ポンプ～B内部スプレクーラ出口配管合流点	P-AD-28M-056	6	令和2年 9月24日
			P-AD-28M-057	6	
			P-AD-28M-058	6	
			P-AD-28M-059	6	
		可搬式代替低圧注水ライン接続口～恒設代替低圧注水ポンプ出口配管合流点	P-AC-28L-053	6	
			P-AC-28L-054	6	
			P-AA-28L-055	6	
			P-AA-28L-060	6	
			P-AA-28L-061	6	
			P-AA-28L-062	6	
			P-AA-28L-063	6	
			P-AA-28L-064	6	
			P-AA-28L-065	6	
			P-AA-28L-066	6	
			P-AD-28L-042	6	
			P-AD-28L-043	6	
			P-AD-28L-044	6	
			P-AD-28L-045	6	
			P-AD-28L-046	6	
			P-AD-28L-047	6	
			P-AD-28L-048	6	
			P-AD-28L-049	6	
			P-AD-28L-050	6	
			P-AD-28L-051	6	
			P-AD-28L-052	6	
			P-AG-28L-030	6	
			P-AG-28L-031	6	
			P-AG-28L-032	6	
			P-AG-28L-033	6	
			P-AF-28L-034	6	
			P-AF-28L-035	6	
			P-AF-28L-036	6	
		P-AF-28L-037	6		
		P-AF-28L-038	6		
P-AF-28L-039	6				
P-AF-28L-040	6				

施設区分	設備区分	サポート番号	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉冷却系統施設	非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	可搬式代替低圧注水ライン接続口～恒設代替低圧注水ポンプ出口配管合流点	P-AF-28L-041	6	令和2年 9月24日
			P-AG-28L-020	6	
			P-AG-28L-021	6	
			P-AG-28L-022	6	
			P-AG-28L-023	6	
			P-AG-28L-024	6	
			P-AG-28L-025	6	
			P-AG-28L-026	6	
			P-AG-28L-027	6	
			P-AG-28L-028	6	
			P-AG-28L-029	6	
			P-AH-28L-001	6	
			P-AH-28L-002	6	
			P-AH-28L-003	6	
			P-AH-28L-004	6	
			P-AH-28L-005	6	
			P-AH-28L-014	6	
			P-AH-28L-015	6	
			P-AH-28L-016	6	
			P-AH-28L-017	6	
			P-AH-28L-018	6	
			P-AG-28L-019	6	
			P-AG-28L-089	6	
			P-AG-28L-090	6	
			P-AG-28L-091	6	
			P-AG-28L-092	6	
			P-AG-28L-093	6	
			P-AG-28L-094	6	
			P-AG-28L-095	6	
			P-AG-28L-096	6	
P-AG-28L-097	6				
P-AG-28L-098	6				
P-AG-28L-099	6				
P-AG-28L-100	6				
P-AG-28L-101	6				
P-AG-28L-102	6				

施設区分	設備区分	サポート番号	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉冷却系統施設	非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	可搬式代替低圧注水ライン接続口～恒設代替低圧注水ポンプ出口配管合流点	P-AG-28L-103	6	令和2年 9月24日
			P-AG-28L-104	6	
			P-AG-28L-105	6	
			P-AG-28L-106	6	
			P-AG-28L-107	6	
			P-FH-28L-087	6	
			P-FH-28L-088	6	
			P-FH-28L-089	6	
			P-FH-28L-074	6	
			P-FH-28L-075	6	
			P-FH-28L-076	6	
			P-FH-28L-077	6	
			P-FH-28L-078	6	
			P-FH-28L-079	6	
			P-FH-28L-080	6	
			P-FH-28L-081	6	
			P-AH-28L-082	6	
			P-AH-28L-083	6	
			P-AH-28L-084	6	
			P-AH-28L-085	6	
		P-AH-28L-086	6		
		P-AH-28L-087	6		
		P-AH-28L-088	6		
		内部スプレクーラ出口テストライン分岐点～弁(1MOV-6496A、B)～燃料取替用水タンク	P-AD-28K-166	4	
			P-AD-28K-162	4	
			P-AD-28K-163	4	
			P-AD-28K-164	4	
			AB9.7-CSS-001-④-B02	4	
			AB9.7-CSS-001-④-B03	4	
			AB9.7-CSS-001-④-B04	4	
			SCH-7	4	
			SCH-8	4	
SCH-9	4				
SCH-10	4				
SCH-11	4				
SCH-12	4				

施設区分	設備区分	サポート番号	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉冷却系統施設	非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	内部スプレューラ出口テストライン分岐点～弁(1MOV-6496A、B)～燃料取替用水タンク	AB9.7-CSS-001-④-B05	4	令和2年 9月24日
			AB9.7-CSS-001-④-B08	4	
			P-AF-19A-03	4	
			P-AF-19A-04	4	
			P-AF-19A-05	4	
			P-AF-19A-06	4	
			E13-P-16	4	
			E13-P-17	4	
			E13-P-15	4	
			E13-P-14	4	
			E13-P-9	4	
			E13-P-18	4	
			E13-P-19	4	
			E12-P-5	4	
			E12-P-6	4	
			E20-P-1	4	
			E20-P-1-1	4	
			F13-P-7	4	
			P-AD-28K-151	4	
			P-AD-28K-152	4	
			P-AD-28K-153	4	
			V-AD-28K-154	4	
			V-AD-28K-155	4	
			P-AD-28K-156	4	
			P-AD-28K-157	4	
			P-AD-28K-158	4	
			P-AD-28K-159	4	
			P-AD-28K-160	4	
			P-AD-28K-161	4	
			P-AD-28M-070	4	
			P-AD-28M-071	4	
			V-AD-28M-072	4	
V-AD-28M-073	4				
P-AD-28M-074	4				
P-AD-28M-075	4				
P-AD-28M-076	4				

施設区分	設備区分	サポート番号	サポート番号	配管口径 (B)	検査日	
原子炉冷却系統施設	非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	内部スプレクーラ出口テストライン分岐点～(IMOV-6496A、B)～燃料取替用水タンク	P-AF-28W-018	4	令和2年 9月24日	
			P-AF-28W-019	4		
			P-AF-28W-020	4		
			P-AF-28W-016	4		
			P-AF-28W-017	4		
		復水タンクブロー配管接続口～弁(1CW-301)～復水タンク	WXXH-1	6		
			WXXH-2	6		
		原子炉補機冷却設備	1次系冷却水クーラA、B、C～供給母管1次系冷却水クーラA、B、C分岐点	P-IB-28F-081		16
				P-IB-28U-008		16
				P-IB-28U-011		16
	P-IB-28U-010			16		
	P-IB-28U-009			16		
	P-IE-28U-012			16		
	P-IE-28U-013			16		
	供給母管1次系冷却水クーラA分岐点～供給母管1次系冷却水クーラC分岐点		P-IE-28U-014	20		
			P-IE-28U-015	20		
			P-IE-28U-016	20		
	1次系機器冷却水戻り母管合流点格納容器循環冷暖房ユニット戻り～Cヘッダ戻り合流点		P-IF-28F-045	16		
			P-IE-28U-009	20		
	1次系冷却水クーラA、C入口ライン合流点～1次系冷却水クーラB上流レジューサ(20×16)		P-IE-28U-010	20		
			P-IE-28U-008	20		
			P-IE-28U-007	20		
			P-IB-28U-006	20		
			P-IB-28U-005	20		
	1次系冷却水クーラA、C入口ライン合流点～1次系冷却水クーラA、C		P-IB-28U-004	16		
			P-IB-28U-007	16		
	弁(IMOV-5299)～格納容器貫通部PEN#353		P-CG-28U-008	4		
			P-CG-28U-010	4		
			P-CG-28U-011	4		
	1次系冷却水タンク連絡配管接続点～弁(1V-5105A、B)		P-AG-28U-031	4		
			P-IG-28U-023	4		
		P-AG-28U-032	4			
P-AG-28U-033		4				
P-IG-28U-024		4				
弁(IMOV-5160B)～1次系機器冷却水戻り母管合流点格納容器循環冷暖房ユニット戻り	D19-P-29-B03	12				

施設区分	設備区分	サポート番号	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉冷却系統施設	原子炉補機冷却設備	弁(1MOV-5160B)～1次系機器 冷却水戻り母管合流点格納容 器循環冷暖房ユニット戻り	P-AF-28F-100	12	令和2年 9月24日
		中間建屋入口A、B系～海水供 給母管Aヘッダレジューサ(36× 30)及び海水供給母管Bヘッダ分 岐点	P-IB-28Z-111	36	
		海水供給母管Aヘッダレジュー サ(36×30)～海水供給母管B ヘッダ分岐点	P-IB-28Z-005	30	
			P-IB-28Z-112	30	
		海水供給母管分岐点～1次系冷 却水クーラA、B、C	P-IB-28Z-113	24	
			P-IB-28Z-114	24	
			P-IB-28Z-004	24	
			P-IB-28Z-115	24	
			P-IB-28F-082	24	
			P-IB-28Z-116	30	
			P-IB-28Z-117	24	
		1次系冷却水クーラA、B、C～海 水戻り母管分岐点A、B、C	P-IB-28Z-007	24	
		海水戻り母管分岐点A～海水戻 り母管合流点	P-IB-28Z-008	36	
			P-IB-28Z-118	36	
		中間建屋出口(埋設部を除く)～ 屋外放出端	P-TB-28Z-006	36	
			P-TB-28Z-119	36	
			S1-4-2-12-3	24	
		B1次系冷却水クーラ入口配管 分岐点(補機冷却海水側)～B1 次系冷却水クーラ出口配管合流 点(原子炉補機冷却水側)及び B1次系冷却水クーラ海水供給 接続口	P-IB-28F-072	8	
			P-IB-28F-073	8	
			P-IB-28F-074	8	
			P-IB-28F-075	8	
			P-IB-28F-076	8	
			P-IB-28F-077	8	
			P-IB-28F-078	8	
			P-IB-28F-079	8	
			P-IB-28F-080	8	
		B充てん/高圧注入ポンプ海水 排水用ホース下流側取合点～ 屋外放出端	P-AF-28F-091	4	
			P-OF-28F-089	4	
			P-OF-28F-090	4	
		格納容器貫通部PEN#257出口 配管分岐点～屋外放出端	P-AF-28F-036	8	
			P-AF-28F-037A	8	
			P-AF-28F-037B	8	
P-AF-28F-038	8				
P-AF-28F-039	8				
P-AF-28F-040	8				
P-AF-28F-041	8				

施設区分	設備区分	サポート番号	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉冷却系統施設	原子炉補機冷却設備	格納容器貫通部PEN#257出口 配管分岐点～屋外放出端	P-AF-28F-042	8	令和2年 9月24日
			P-AF-28F-043	8	
			P-AF-28F-044	8	
			P-AF-28F-046	8	
			P-AF-28F-047	8	
			P-AF-28F-048	8	
			P-AF-28F-049	8	
			P-AF-28F-050	8	
			P-AF-28F-051	8	
			P-AF-28F-052	8	
			P-AF-28F-053	8	
			P-AF-28F-054	8	
			P-AF-28F-055	8	
			P-AF-28F-056	8	
			P-AF-28F-057	8	
			P-AF-28F-058	8	
			P-AF-28F-059	8	
			P-AF-28F-060	8	
			P-AF-28F-061	8	
			P-AF-28F-062	8	
			P-AF-28F-063	8	
	P-AF-28F-064	8			
	P-AF-28F-065	8			
	P-AF-28F-066	8			
	P-AF-28F-067	8			
	P-AF-28F-068	8			
	P-AF-28F-069	8			
P-AF-28F-070	8				
P-OF-28F-071	8				
		Aa、Ab海水ストレーナ海水供給 接続口～Aa、Ab海水ストレーナ	SHW-31	10	
			SHW-32	10	
			PS-A	10	
	蒸気タービンの附属設備	復水タンク～タービン動補助給 水ポンプ	APSH-1-1	10	
			APSH-1a	10	
			APSH-2	10	
			APSH-3	10	

施設区分	設備区分	サポート番号	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉冷却系統施設	蒸気タービンの附属設備	復水タンク〜タービン動補助給水ポンプ	APSH-4	10	
			APSH-5	10	
			APSH-6	10	
			APSH-7	10	
			APSH-8	10	
			APSH-9	10	
			APSH-10	10	
			APSH-11a-1	10	
			APSH-11	10	
			APSH-13	10	
			APSH-28	10	
			APSH-29	10	
			APSH-30	10	
			APSH-31	10	
			APSH-32	10	
			APSH-33	10	
			APSH-34	10	
			APSH-34-1	10	
			APSH-35	10	
			APSH-36	10	
			APSH-37	10	
			APSH-56	10	
			APSH-38	10	
			APSH-39	10	
		APSH-40	10		
		APSH-41-1	10		
		APSH-41	10		
		1-AFW-05	10		
		1-AFW-03A	10		
		1-AFW-04	10		
		1H-AFW-04-1	10		
APSH-14-1	10				
APSH-14a	10				
復水タンク〜復水タンク出口配管分岐点	APSH-15	10			
APSH-16	10				
APSH-17	10				

令和2年
9月24日

施設区分	設備区分	サポート番号	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉冷却系統施設	蒸気タービンの附属設備	復水タンク～復水タンク出口配管分岐点	APSH-18	10	
			APSH-19	10	
			APSH-20	10	
			APSH-21	10	
			APSH-22	10	
			APSH-23	10	
			APSH-24a-1	10	
			APSH-24	10	
			APSH-43	10	
			1H-APSH-43-1	10	
			1H-APSH-43-2	10	
			APSH-44	10	
			APSH-45	10	
			APSH-46	10	
			APSH-47	10	
			APSH-48	10	
			APSH-49	10	
			1H-APSH-48-1	10	
			P-IF-28K-013A	4	
			P-IF-17K-01	4	
	P-IF-17K-02	4			
	P-IF-28K-012N	4			
	P-IF-28K-011N	4			
	P-IF-28K-010R	4			
	P-IF-28K-009N	4			
	P-IF-28K-008R	4			
	P-IF-28K-020R	4			
	P-IF-28K-019N	4			
	P-IF-28K-018R	4			
	P-IF-28K-017R	4			
	P-IF-28K-016N	4			
	P-IF-28K-015R	4			
P-IF-28K-014R	4				
P-IF-28K-007A	4				
P-IF-28K-006R	4				
P-IF-28K-005R	4				

令和2年
9月24日

施設区分	設備区分	サポート番号	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉冷却系統施設	蒸気タービンの附属設備	弁(1FW-550A、B、C)及び弁 (1FW-558A、B、C)下流合流点 ～弁(1FW-562A、B、C)	P-IF-28K-004R	4	令和2年 9月24日
			P-IF-28K-003R	4	
			P-IF-28K-002R	4	
			P-IF-28K-001R	4	
		弁(1AS-108A、B)～タービン動 補助給水ポンプ	1H-MSH-859A	6	
			1H-MSH-859B	6	
			1H-MSH-838	6	
			1H-MSH-851A	6	
			1H-MSH-851B	6	
			1H-MSH-805	6	
			1H-MSH-806	6	
			1H-MSH-860	6	
			1H-MSH-883A	6	
			1H-MSH-883B	6	
			1H-MSH-863	6	
			1H-MSH-864	6	
			1H-MSH-890A	6	
			1H-MSH-890B	6	
			1H-MSH-869	6	
			1H-MSH-865	6	
			1H-MSH-866	6	
			1H-MSH-867	6	
			1H-MSH-868	6	
			1H-MSH-812	6	
			1H-MSH-813	6	
			MK-MSH-115	6	
			1H-MSH-814A	6	
			1H-MSH-814B	6	
			MK-MSH-131	6	
			MK-MSH-132	6	
			MK-MSH-101	6	
			MK-MSH-116	6	
		MK-MSH-117	6		
MK-MSH-118A	6				
MK-MSH-118B	6				
MK-MSH-102	6				

施設区分	設備区分	サポート番号	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉冷却系統施設	蒸気タービンの附属設備	弁(1AS-108A、B)～タービン動 補助給水ポンプ	MK-MSH-133A	6	令和2年 9月24日
			MK-MSH-133B	6	
			MK-MSH-103	6	
			MK-MSH-124	6	
			MK-MSH-128	6	
			MK-MSH-119	6	
			MK-MSH-120	6	
			MK-MSH-127	6	
			MK-MSH-106	6	
			MK-MSH-107	6	
			1H-MSH-2806	6	
			H-1-1	6	
			H-1-2	6	
			1H-MSH-907A	6	
			1H-MSH-907B	6	
			H-2	6	
			H-4	6	
			H-3	6	
			H-11	6	
			H-10	6	
			1H-MSH-911A	6	
			1H-MSH-911B	6	
			H-6	6	
			H-5	6	
H-7	6				
H-9	6				
MK-MSH-164	6				
MK-MSH-165	6				
原子炉格納施設	圧力低減設備その他の安全設 備(格納容器安全設備)	内部スプレクーラ出口配管合流 点～弁(1MOV-6405A、B)	P-AD-28K-149	12	
			P-AD-28K-150	12	
		外部遮へい壁貫通部～格納容 器貫通部PEN#457、477及び PEN#450、451、478、481上流分 岐点	1-SPH-414R	8	
			1-SPH-415R	8	
			1-SPH-416R	8	
			1-SPH-417R	8	
			1-SPH-418R	8	
			1-SPH-419N	8	

施設区分	設備区分	サポート番号	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉格納施設	圧力低減設備その他の安全設備(格納容器安全設備)	外部遮へい壁貫通部～格納容器貫通部PEN#457、477及びPEN#450、451、478、481上流分岐点	1-SPH-420R	8	令和2年 9月24日
			1-SPH-421S	8	
			1-SPH-422R	8	
			1-SPH-423R	8	
			1-SPH-424R	8	
			1-SPH-425R	8	
			1-SPH-426R	8	
			1-SPH-427A	8	
			1-SPH-536R	8	
			1-SPH-401S	8	
			1-SPH-402N	8	
			1-SPH-403R	8	
			1-SPH-404N	8	
			1-SPH-405R	8	
			1-SPH-406S	8	
			1-SPH-407R	8	
			1-SPH-408R	8	
			1-SPH-409R	8	
			1-SPH-410R	8	
			1-SPH-411R	8	
			1-SPH-412R	8	
			1-SPH-413R	8	
			1-SPH-452R	8	
			1-SPH-453R	8	
			1-SPH-454A	8	
			1-SPH-535R	8	
			1-SPH-537N	8	
			1-SPH-429S	6	
			1-SPH-430R	6	
			1-SPH-431N	6	
			1-SPH-432R	6	
			1-SPH-433R	6	
1-SPH-434R	6				
1-SPH-435R	6				
1-SPH-436R	6				
1-SPH-437R	6				

施設区分	設備区分	サポート番号	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉格納施設	圧力低減設備その他の安全設備(格納容器安全設備)	外部遮へい壁貫通部～格納容器貫通部PEN#457、477及びPEN#450、451、478、481上流分岐点	1-SPH-438R	6	令和2年 9月24日
			1-SPH-439A	6	
			1-SPH-456S	6	
			1-SPH-457R	6	
			1-SPH-458N	6	
			1-SPH-459R	6	
			1-SPH-460R	6	
			1-SPH-461R	6	
			1-SPH-462R	6	
			1-SPH-463N	6	
			1-SPH-464R	6	
			1-SPH-465R	6	
			1-SPH-466R	6	
			1-SPH-467R	6	
			1-SPH-468R	6	
			1-SPH-469N	6	
			1-SPH-470R	6	
			1-SPH-472S	6	
			1-SPH-473N	8	
			1-SPH-474R	8	
			1-SPH-475R	8	
			1-SPH-476R	8	
			1-SPH-477R	8	
			1-SPH-478R	8	
			1-SPH-479R	8	
			1-SPH-480R	8	
			1-SPH-481R	8	
			1-SPH-482R	8	
			1-SPH-483R	8	
			1-SPH-484R	8	
1-SPH-485N	8				
1-SPH-486R	8				
1-SPH-487R	8				
1-SPH-488R	8				
1-SPH-489R	8				
1-SPH-490R	8				

施設区分	設備区分	サポート番号	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉格納施設	圧力低減設備その他の安全設備(格納容器安全設備)	外部遮へい壁貫通部～格納容器貫通部PEN#457、477及びPEN#450、451、478、481上流分岐点	1-SPH-491R	8	令和2年 9月29日
			1-SPH-492R	8	
			1-SPH-493R	8	
			1-SPH-494R	8	
			1-SPH-495R	8	
			1-SPH-498R	8	
			1-SPH-497N	8	
			1-SPH-498R	8	
			1-SPH-499R	8	
			1-SPH-500N	8	
			1-SPH-501A	8	
			1-SPH-533R	8	
			1-SPH-519R	8	
			1-SPH-520R	8	
			1-SPH-521R	8	
			1-SPH-522R	8	
			1-SPH-523N	8	
			1-SPH-524R	8	
		1-SPH-525R	8		
		1-SPH-526A	8		
		1-SPH-534R	8		
		格納容器貫通部PEN#457、477～内部スプリングヘッド1A、2A、1B、2日前オリフィス	SPH-248	8	
			SPH-249	8	
			SPH-250	8	
			SPH-251	8	
			MK-SPH-216	8	
			MK-SPH-244	8	
			MK-SPH-245	8	
			MK-SPH-220	8	
		格納容器貫通部PEN#450、451、478、481上流分岐点～格納容器貫通部PEN#450、451、478、481	1-SPH-441R	6	
			1-SPH-442N	6	
			1-SPH-443R	6	
			1-SPH-444S	6	
1-SPH-445R	6				
1-SPH-446R	6				

施設区分	設備区分	サポート番号	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉格納施設	圧力低減設備その他の安全設備(格納容器安全設備)	格納容器貫通部PEN#450、451、478、481上流分岐点～格納容器貫通部PEN#450、451、478、481	1-SPH-447R	6	令和2年 9月24日
			1-SPH-448R	6	
			1-SPH-449R	6	
			1-SPH-450R	6	
			1-SPH-451R	6	
			1-SPH-518R	6	
			1-SPH-528S	6	
			1-SPH-529N	6	
			1-SPH-530R	6	
			1-SPH-531N	6	
			1-SPH-532R	6	
			1-SPH-504S	6	
			1-SPH-505R	6	
			1-SPH-506N	6	
			1-SPH-507R	6	
			1-SPH-508R	6	
			1-SPH-509R	6	
			1-SPH-510R	6	
			1-SPH-511R	6	
			1-SPH-512R	6	
		1-SPH-513N	6		
		1-SPH-514R	6		
		1-SPH-515R	6		
		1-SPH-516A	6		
		内部スプリングヘッド1A、2A、4A、1B、2B、4B前オリフイス～内部スプリングヘッド(1A、2A、4A、1B、2B、4B)	MK-SPH-213b	6	
			SPH-252a	6	
			SPH-252b	6	
			MK-SPH-205b	6	
			SPH-257	6	
			MK-SPH-211	6	
			SPH-247a	6	
			SPH-247b	6	
		SPH-258	6		
内部スプリングヘッド(1A、2A、4A、1B、2B、4B)	MK-SPH-154-1	6			
	SPH-300-1	6			
	MK-SPH-154-2	6			

施設区分	設備区分	サポート番号	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉格納施設	圧力低減設備その他の安全設備 (格納容器安全設備)	内部スプレリングヘッド(1A、 2A、4A、1B、2B、4B)	SPH-300-2	6	令和2年 9月24日
			MK-SPH-154-3	6	
			SPH-300-3	6	
			MK-SPH-154-4	6	
			SPH-300-4	6	
			MK-SPH-154-5	6	
			SPH-300-5	6	
			MK-SPH-154-6	6	
			SPH-300-6	6	
			MK-SPH-154-7	6	
			SPH-300-7	6	
			MK-SPH-154-8	6	
			SPH-300-8	6	
			MK-SPH-154-9	6	
			SPH-300-9	6	
			MK-SPH-154-10	6	
			SPH-300-10	6	
			MK-SPH-154-11	6	
			SPH-300-11	6	
			MK-SPH-154-12	6	
			SPH-300-12	6	
			MK-SPH-154-13	6	
			SPH-300-13	6	
			MK-SPH-154-14	6	
			SPH-300-14	6	
			MK-SPH-154-15	6	
			SPH-300-15	6	
MK-SPH-154-16	6				
MK-SPH-233b	6				
SPH-300-16	6				
MK-SPH-154-17	6				
SPH-300-17	6				
MK-SPH-154-18	6				
SPH-300-18	6				
MK-SPH-154-19	6				
SPH-300-19	6				

施設区分	設備区分	サポート番号	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉格納施設	圧力低減設備その他の安全設備 (格納容器安全設備)	内部スプレリングヘッド(1A、 2A、4A、1B、2B、4B)	MK-SPH-154-20	6	令和2年 9月24日
			MK-SPH-155-20	6	
			SPH-300-20	6	
			MK-SPH-154-21	6	
			SPH-301-1	6	
			MK-SPH-158-1	6	
			SPH-301-2	6	
			MK-SPH-158-2	6	
			SPH-301-3	6	
			MK-SPH-158-3	6	
			SPH-301-4	6	
			MK-SPH-158-4	6	
			SPH-301-5	6	
			MK-SPH-158-5	6	
			SPH-301-6	6	
			MK-SPH-158-6	6	
			MK-SPH-236a	6	
			MK-SPH-236b	6	
			SPH-301-7	6	
			MK-SPH-158-7	6	
			SPH-301-8	6	
			MK-SPH-158-8	6	
			SPH-301-9	6	
			MK-SPH-158-9	6	
			SPH-301-10	6	
			MK-SPH-158-10	6	
			SPH-301-11	6	
			MK-SPH-158-11	6	
			SPH-301-12	6	
			MK-SPH-158-12	6	
SPH-301-13	6				
MK-SPH-158-13	6				
SPH-301-14	6				
MK-SPH-158-14	6				
SPH-301-15	6				
MK-SPH-158-15	6				

施設区分	設備区分	サポート番号	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉格納施設	圧力低減設備その他の安全設備 (格納容器安全設備)	内部スプレリングヘッド(1A、 2A、4A、1B、2B、4B)	SPH-301-16	6	令和2年 9月24日
			MK-SPH-158-16	6	
			SPH-301-17	6	
			MK-SPH-158-17	6	
			SPH-301-18	6	
			MK-SPH-158-18	6	
			MK-SPH-237a	6	
			MK-SPH-237b	6	
			SPH-301-19	6	
			MK-SPH-158-19	6	
			SPH-301-20	6	
			MK-SPH-158-20	6	
			SPH-301-21	6	
			MK-SPH-158-21	6	
			SPH-301-22	6	
			MK-SPH-158-22	6	
			SPH-301-23	6	
			MK-SPH-158-23	6	
			SPH-301-24	6	
			MK-SPH-158-24	6	
			MK-SPH-162-24	6	
			SPH-305-25	6	
			SPH-305-24	6	
			MK-SPH-162-23	6	
			SPH-305-23	6	
			MK-SPH-162-22	6	
			SPH-305-22	6	
			MK-SPH-162-21	6	
			SPH-305-21	6	
			MK-SPH-162-20	6	
SPH-305-20	6				
MK-SPH-162-19	6				
SPH-305-19	6				
MK-SPH-162-18	6				
SPH-305-18	6				
MK-SPH-162-17	6				

施設区分	設備区分	サポート番号	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉格納施設	圧力低減設備その他の安全設備(格納容器安全設備)	内部スプリングヘッド(1A、2A、4A、1B、2B、4B)	SPH-305-17	6	令和2年 9月24日
			MK-SPH-162-16	6	
			SPH-305-16	6	
			MK-SPH-162-15	6	
			SPH-305-15	6	
			MK-SPH-162-14	6	
			SPH-305-14	6	
			MK-SPH-162-13	6	
			SPH-305-13	6	
			MK-SPH-162-12	6	
			SPH-305-12	6	
			MK-SPH-162-11	6	
			SPH-305-11	6	
			MK-SPH-162-10	6	
			SPH-305-10	6	
			MK-SPH-162-9	6	
			SPH-305-9	6	
			MK-SPH-162-8	6	
			SPH-305-8	6	
			MK-SPH-162-7	6	
			SPH-305-7	6	
			MK-SPH-162-6	6	
			SPH-305-6	6	
			MK-SPH-162-5	6	
			SPH-305-5	6	
			MK-SPH-162-4	6	
			SPH-305-4	6	
			MK-SPH-162-3	6	
			SPH-305-3	6	
			MK-SPH-162-2	6	
SPH-305-2	6				
MK-SPH-162-1	6				
SPH-305-1	6				
MK-SPH-156-20	6				
SPH-302-19	6				
MK-SPH-156-19	6				

施設区分	設備区分	サポート番号	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉格納施設	圧力低減設備その他の安全設備 (格納容器安全設備)	内部スプレリングヘッド(1A、 2A、4A、1B、2B、4B)	SPH-302-18	6	令和2年 9月24日
			MK-SPH-156-18	6	
			SPH-302-17	6	
			MK-SPH-156-17	6	
			SPH-302-16	6	
			MK-SPH-156-16	6	
			SPH-302-15	6	
			MK-SPH-156-15	6	
			MK-SPH-235a	6	
			SPH-302-14	6	
			MK-SPH-156-14	6	
			SPH-302-13	6	
			MK-SPH-156-13	6	
			SPH-302-12	6	
			MK-SPH-156-12	6	
			SPH-302-11	6	
			MK-SPH-156-11	6	
			SPH-302-10	6	
			MK-SPH-156-10	6	
			SPH-302-9	6	
			MK-SPH-156-9	6	
			SPH-302-8	6	
			MK-SPH-156-8	6	
			SPH-302-7	6	
			MK-SPH-156-7	6	
			SPH-302-6	6	
			MK-SPH-156-6	6	
			SPH-302-5	6	
			MK-SPH-156-5	6	
			MK-SPH-234a	6	
MK-SPH-234b	6				
SPH-302-4	6				
MK-SPH-156-4	6				
SPH-302-3	6				
MK-SPH-156-3	6				
SPH-302-2	6				

施設区分	設備区分	サポート番号	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉格納施設	圧力低減設備その他の安全設備(格納容器安全設備)	内部スプレリングヘッド(1A、2A、4A、1B、2B、4B)	MK-SPH-156-2	6	令和2年 9月24日
			SPH-302-1	6	
			MK-SPH-156-1	6	
			MK-SPH-160-24	6	
			SPH-303-23	6	
			MK-SPH-160-23	6	
			SPH-303-22	6	
			MK-SPH-160-22	6	
			SPH-303-21	6	
			MK-SPH-160-21	6	
			SPH-303-20	6	
			MK-SPH-160-20	6	
			SPH-303-19	6	
			MK-SPH-160-19	6	
			SPH-303-18	6	
			MK-SPH-160-18	6	
			MK-SPH-239a	6	
			MK-SPH-239b	6	
			SPH-303-17	6	
			MK-SPH-160-17	6	
			SPH-303-16	6	
			MK-SPH-160-16	6	
			SPH-303-15	6	
			MK-SPH-160-15	6	
			SPH-303-14	6	
			MK-SPH-160-14	6	
			SPH-303-13	6	
			MK-SPH-160-13	6	
			SPH-303-12	6	
			MK-SPH-160-12	6	
SPH-303-11	6				
MK-SPH-160-11	6				
SPH-303-10	6				
MK-SPH-160-10	6				
SPH-303-9	6				
MK-SPH-160-9	6				

施設区分	設備区分	サポート番号	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉格納施設	圧力低減設備その他の安全設備 (格納容器安全設備)	内部スプレリングヘッド(1A、 2A、4A、1B、2B、4B)	SPH-303-8	6	令和2年 9月24日
			MK-SPH-160-8	6	
			SPH-303-7	6	
			MK-SPH-160-7	6	
			SPH-303-6	6	
			MK-SPH-160-6	6	
			MK-SPH-238a	6	
			MK-SPH-238b	6	
			SPH-303-5	6	
			MK-SPH-160-5	6	
			SPH-303-4	6	
			MK-SPH-160-4	6	
			SPH-303-3	6	
			MK-SPH-160-3	6	
			SPH-303-2	6	
			MK-SPH-160-2	6	
			SPH-303-1	6	
			MK-SPH-160-1	6	
			MK-SPH-164-24	6	
			MK-SPH-164-23	6	
			MK-SPH-164-22	6	
			MK-SPH-164-21	6	
			MK-SPH-164-20	6	
			MK-SPH-164-19	6	
			MK-SPH-164-18	6	
			MK-SPH-164-17	6	
			MK-SPH-164-16	6	
			MK-SPH-164-15	6	
			MK-SPH-164-14	6	
			MK-SPH-164-13	6	
MK-SPH-164-12	6				
MK-SPH-164-11	6				
MK-SPH-164-10	6				
MK-SPH-164-9	6				
MK-SPH-164-8	6				
MK-SPH-164-7	6				

施設区分	設備区分	サポート番号	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉格納施設	圧力低減設備その他の安全設備(格納容器安全設備)	内部スプレリングヘッド(1A、2A、4A、1B、2B、4B)	MK-SPH-164-6	6	令和2年 9月24日
			MK-SPH-164-5	6	
			MK-SPH-164-4	6	
			MK-SPH-164-3	6	
			MK-SPH-164-2	6	
			MK-SPH-164-1	6	
		内部スプレリングヘッド3A、3B 前オリフィス～内部スプレリングヘッド(3A、3B)	SPH-253	6	
			SPH-254	6	
			SPH-255	6	
			SPH-256	6	
			MK-SPH-170	6	
			MK-SPH-181	6	
		内部スプレリングヘッド(3A、3B)	MK-SPH-150-1	6	
			MK-SPH-150-2	6	
			MK-SPH-150-3	6	
			MK-SPH-150-4	6	
			MK-SPH-150-5	6	
			MK-SPH-150-6	6	
			MK-SPH-150-7	6	
			MK-SPH-150-8	6	
			MK-SPH-150-9	6	
			MK-SPH-150-10	6	
			MK-SPH-150-11	6	
			MK-SPH-150-12	6	
			MK-SPH-150-13	6	
			MK-SPH-150-14	6	
			MK-SPH-150-15	6	
			MK-SPH-150-16	6	
			MK-SPH-150-17	6	
		MK-SPH-150-18	6		
		MK-SPH-152-1	6		
		SPH-304-15	6		
		MK-SPH-152-2	6		
SPH-304-14	6				
MK-SPH-152-3	6				

施設区分	設備区分	サポート番号	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉格納施設	圧力低減設備その他の安全設備(格納容器安全設備)	内部スプレリングヘッド(3A、3B)	MK-SPH-153-3	6	令和2年 9月24日
			SPH-304-13	6	
			MK-SPH-152-4	6	
			SPH-304-12	6	
			MK-SPH-152-5	6	
			SPH-304-11	6	
			MK-SPH-152-6	6	
			SPH-304-10	6	
			MK-SPH-152-7	6	
			SPH-304-9	6	
			MK-SPH-152-8	6	
			SPH-304-8	6	
			MK-SPH-152-9	6	
			SPH-304-7	6	
			MK-SPH-152-10	6	
			SPH-304-6	6	
			MK-SPH-152-11	6	
			SPH-304-5	6	
			MK-SPH-152-12	6	
			SPH-304-4	6	
			MK-SPH-152-13	6	
			SPH-304-3	6	
			MK-SPH-152-14	6	
		SPH-304-2	6		
		MK-SPH-152-15	6		
		SPH-304-1	6		
		MK-SPH-152-16	6		
		SPH-304-16	6		
		MK-SPH-152-17	6		
		原子炉下部キャビティ注水ポンプ出口配管分岐点～弁(IMOV-5420)	P-AD-28K-015	6	
			P-AD-28K-016	6	
			P-AD-28K-017	6	
			P-AD-28K-018	6	
P-AD-28K-131	6				
P-AD-28K-132	6				
P-AD-28K-133	6				

施設区分	設備区分	サポート番号	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
原子炉格納施設	圧力低減設備その他の安全設備(格納容器安全設備)	原子炉下部キャビティ注水ポンプ出口配管分岐点～弁(IMOV-5420)	P-AD-28K-134	6	
			V-AD-28K-135	6	
			V-AD-28K-136	6	
			P-AD-28K-137	6	
			P-AD-28K-138	6	
			P-AD-28K-139	6	
			P-AF-28K-019	6	
			P-AF-28K-020	6	
			P-AG-28K-021	6	
			P-AG-28K-022	6	
			P-AG-28K-023	8	
			P-AG-28K-024	6	
			P-AG-28K-025	6	
			P-AG-28K-026	6	
			P-AG-28K-027	6	
			P-AG-28K-028	6	
			P-AG-28K-029	6	
			P-AG-28K-030	6	
			P-AG-28K-031	6	
			P-AG-28K-032	6	
			P-AG-28K-033	6	
			P-AG-28K-034	6	
			P-AG-28K-035	6	
			P-AG-28K-036	6	
			P-AG-28K-037	6	
			P-AG-28K-038	6	
			P-AG-28K-039	6	
			P-AG-28K-040	6	
		P-AG-28K-041	6		
		P-AG-28K-042	6		
P-AG-28K-043	6				
P-AG-28K-044	6				
弁(1V-5421)～下部キャビティ取合点	P-CG-28K-068	4			
	P-CG-28K-069	4			
	P-CG-28K-070	4			
	P-CG-28K-071	4			

令和2年
9月24日

施設区分	設備区分	サポート番号	サポート番号	配管口径 (B)	検査日	
原子炉格納施設	圧力低減設備その他の安全設備 (格納容器安全設備)	弁(1V-5421)～下部キャビティ取合点	P-CG-28K-072	4	令和2年 9月24日	
			P-CG-28K-073	4		
			P-CG-28K-074	4		
			P-CG-28K-075	4		
			P-CG-28K-076	4		
			P-CG-28K-077	6		
	放射性物質濃度制御設備及可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備	アニュラス出口取合点～排気筒取合点	D22-D-A1	250×550mm		
			D22-D-O1	250×550mm		
			E26-D-032FH	Φ508mm		
			E26-D-A1	Φ508mm		
			DS-32.3-001FH	250×550mm		
			F13-D-A14	250×550mm		
			001-002	250×550mm		
			001-001	250×550mm		
			F12-D-A15a	250×550mm		
			F12-D-A15b	250×550mm		
			F12-D-A15(1)	250×550mm		
			F12-D-A15(2)	250×550mm		
			D-AH-28U-001	250×375mm		
			014-004	750×1000mm		
			014-003	750×1000mm		
			014-002	750×1000mm		
	D22-D-A41FH	500×500mm				
	A格納容器循環冷暖房ユニット～ダクト開放機構		D23-C-5	2300×2300mm		
			D23-C-4	2003.2×2503.2mm		
	放射線管理施設	換気設備	中央制御室～中央制御室(1・2号機共用)	D23-C-5		2003.2×2503.2mm
				D23-D-A37		7046.6×1004.6mm
D23-D-A36				504.6×754.6mm		
D22-D-K14				504.6×754.6mm		
D22-D-K8				504.6×754.6mm		
D22-D-K9				504.6×754.6mm		
D22-D-K10				504.6×754.6mm		
D24-C-6				2003.2×2503.2mm		
D24-D-O-U1				1831.2×2503.2mm		
D24-C-7				1831.2×2503.2mm		

施設区分	設備区分	サポート番号	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
放射線管理施設	換気設備	中央制御室～中央制御室(1・2号機共用)	D24-D-O1	1831.2 × 2103.2mm	
			D24-D-O2	1831.2 × 2103.2mm	
			D24-D-O3	1831.2 × 2128.2mm	
			D24-D-O4	1831.2 × 2103.2mm	
			D24-D-O5	1831.2 × 2128.2mm	
			D24-D-O6	1831.2 × 2128.2mm	
			D23-D-A1	1252.4 × 1402.4mm 1253.2 × 2503.2mm	
			D23-D-A2	1252.4 × 1402.4mm 1253.2 × 2503.2mm	
			D23-D-A3	1252.4 × 1402.4mm 1253.2 × 2503.2mm	
			D23-D-A4	1252.4 × 1402.4mm 1253.2 × 2503.2mm	
			D23-D-A5	1252.4 × 1402.4mm 1253.2 × 2503.2mm	
			D23-D-A6	1252.4 × 1402.4mm 1253.2 × 2503.2mm	
			D23-D-A7	1252.4 × 1402.4mm	
			D23-D-A8	1252.4 × 1402.4mm	
			D23-D-A9	1252.4 × 1402.4mm	
			D23-D-A10	2135.2 × 5853.2mm	
			D21-D-A24	704.6 × 1004.6mm	
			D21-D-A26	704.6 × 1004.6mm	
			D21-D-Aa1	704.6 × 1004.6mm	
			D21-D-Ab1	704.6 × 1004.6mm	
			D21-D-Aa2	704.6 × 1004.6mm	
			D21-D-A27	704.6 × 1004.6mm	
			D21-D-A28	704.6 × 1004.6mm	
			D21-D-Ab2	704.6 × 1004.6mm	
			D21-D-Aa3	704.6 × 1004.6mm	
			D21-D-Aa4	704.6 × 1004.6mm	
			D21-D-Aa5	704.6 × 1004.6mm	
			D21-D-Aa6	704.6 × 1004.6mm	
			D21-D-A29	704.6 × 1004.6mm	
			D21-D-A30	704.6 × 1004.6mm	
			D21-D-Aa7	704.6 × 1004.6mm	
			D21-D-Ab3	704.6 × 1004.6mm	
			D21-D-Aa8	704.6 × 1004.6mm	
D21-D-Ab4	704.6 × 1004.6mm				
D21-D-A31	704.6 × 1004.6mm				
D21-D-A32	704.6 × 1004.6mm				

令和2年
9月24日

施設区分	設備区分	サポート番号	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
放射線管理施設	換気設備	中央制御室～中央制御室(1・2号機共用)	D21-D-Aa9	400 × 400mm	令和2年 9月24日
			D21-D-A33	400 × 400mm	
			DS1-027	2206 × 1006mm	
			DS1-032	2138 × 2138mm	
			DS1-005	606 × 506mm	令和2年9月23日
			DS1-006	606 × 506mm	令和2年 9月24日
			DS1-007	606 × 506mm	
			DS1-008	856 × 856mm	
			DS1-009	856 × 856mm	
			DS1-010	856 × 856mm	
			DS1-011	1206 × 506mm	
			DS1-012	1206 × 506mm	
			DS1-013	606 × 1206mm	
			DS1-014	606 × 1206mm	
			DS1-015	606 × 1206mm	
			DS1-016	506 × 1306mm	
			DS1-020	606 × 1306mm	
			DS1-021	606 × 1306mm	
			DS1-022	606 × 1306mm	
			DS1-023	606 × 1306mm	
			DS1-024	606 × 1306mm	
			DS1-025	606 × 1306mm	
			DS1-026-1	606 × 1306mm	
			DS1-026-2	606 × 1306mm	
			DS1-001	806 × 606mm	
			DS1-002	1006 × 406mm	
			DS1-003	606 × 406mm	
			DS1-004	606 × 406mm	
			DS1-018	956 × 1006mm	
			DS1-019	956 × 1006mm	
			DS1-028	456 × 806mm	
			DS1-029	456 × 806mm	
			DS1-030	956 × 1006mm	
DS1-031	956 × 1006mm				
DS1-033	506 × 806mm				
DS2-008	506 × 756mm				

施設区分	設備区分	サポート番号	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
放射線管理施設	換気設備	中央制御室～中央制御室(1・2号機共用)	DS2-009	806 × 1806mm	令和2年 9月24日
			DS2-010	806 × 1806mm	
			DS2-011	806 × 1806mm	
			DS2-026	2806 × 1006mm	
			DS2-027	2806 × 1006mm	
			DS2-028	2806 × 1006mm	
			DS2-029	2806 × 1006mm	
			DS2-037	1006 × 706mm	
			DS2-038	1006 × 706mm	
			DS2-039	756 × 756mm	
			DS2-040	556 × 756mm	
			DS2-041	556 × 756mm	
			DS2-042	556 × 756mm	
			D22-D-A33	752.4 × 827.4mm	
			D22-D-A34(1)	602.4 × 902.4mm	
			D22-D-A34(2)	609 × 914mm	
			DS2-001	606 × 1206mm	
			DS2-002	606 × 606mm	
			DS2-003	606 × 606mm	
			DS2-004	606 × 906mm	
			DS2-005	606 × 906mm	
			DS2-006	756 × 506mm	
			DS2-007	756 × 506mm	
			DS3-001	456 × 1506mm	
			DS3-002	456 × 1506mm	
			DS3-003	456 × 1506mm	
			DS3-004	456 × 1506mm	
			DS3-020	706 × 1506mm	
			DS3-021	706 × 1506mm	
			DS3-022	706 × 1506mm	
			DS3-023	706 × 1506mm	
			DS3-024	706 × 1506mm	
			DS3-101	456 × 1056mm	
DS3-102	456 × 1056mm				
DS3-103	456 × 1056mm				
DS3-104	504.6 × 754.6mm				

施設区分	設備区分	サポート番号	サポート番号	配管口径 (B)	検査日
放射線管理施設	換気設備	中央制御室～中央制御室(1・2 号機共用)	DS3-105	504.6 × 754.8mm	令和2年 9月24日
			DS3-106	504.6 × 754.8mm	
			DS3-107	504.6 × 754.8mm	

関西電力株式会社
高浜発電所第1号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1610071号99

成績書管理番号：1-12

令和3年 / 月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-12

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第1号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年12月24日
至 令和3年1月14日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第299号(平成28年10月7日) 関原発第434号(平成30年 3月20日) 関原発第 46号(平成30年 4月20日) 関原発第202号(平成30年 7月 4日) 関原発第259号(平成30年 8月20日) 関原発第415号(平成30年12月 5日) 関原発第504号(平成31年 2月 1日) 関原発第512号(平成31年 2月 6日) 関原発第582号(平成31年 3月18日) 関原発第 3号(平成31年 4月 4日) 関原発第 68号(2019年 5月16日) 関原発第115号(2019年 6月24日) 関原発第204号(2019年 8月23日) 関原発第478号(2020年 1月23日) 関原発第510号(2020年 1月31日) 関原発第542号(2020年 2月26日) 関原発第609号(2020年3月24日) 関原発第 20号(2020年4月 7日) 関原発第236号(2020年8月21日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-12

検査年月日	検査結果	原子力施設検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 12月24日	良	山形英男 増本豊	発電用原子力炉 主任技術者 	なし

w

関西電力株式会社高浜発電所第 1 号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：1-12

検査年月日：令和 2 年 12 月 24 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録
(三号検査)

成績書管理番号：1-12

検査年月日：令和2年12月24日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・一	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・一	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・一	
系統構成が完了していること。	◎立会 ◎記録確認	◎良・一	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録
(三号検査)

成績書管理番号：1-12

検査年月日：令和2年12月24日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象			
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵設備 使用済燃料貯蔵槽の温度、水位及び漏えいを監視する装置 使用済燃料ピット温度 (AM用) 使用済燃料ピット水位 (広域) 可搬型使用済燃料ピット水位* 使用済燃料ピット温度 (別添1参照)			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統機能検査 ・ 警報検査 系統性能検査 ・ 計測範囲確認検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 ・ 記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録 (※) による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-0709 ・ 目視で確認した範囲：添付資料3-3参照 * 予備について記録確認			

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録
 (三号検査)
 (立会検査)

成績書管理番号：1-12

検査年月日：令和2年12月24日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
使用済燃料ピット 温度 (AM用) (ITE-651)	系統機能検査 ・ 警報検査	別添 2 参照	良	目視
以下余白				
備考				

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録
検査用計器一覧表

成績書管理番号：1-12

検査年月日：令和2年12月24日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
警報検査	ダイヤル形 抵抗器				2018.4.24 2021.4.23	
以下余白						

工事計画本文（原規規発第1606104号（平成28年6月10日認可））

核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るものにあたっては、次の事項

3. 使用済燃料貯蔵設備に係る次の事項

(6) 使用済燃料貯蔵槽の温度、水位及び漏えいを監視する装置の名称、種類、計測範囲、取付箇所及び個数

(2/2)

変更前				変更後			
名	称	種	計測範囲	取	付	箇所	個数
	使用済燃料ピット温度 (AM用)	測温抵抗体	0~100℃		系統名 (ライン名) 設置床 溢水防護上の 区画番号 溢水防護上の 配慮が必要な高さ	使用済燃料ピット 水冷却浄化系統	1
	使用済燃料ピット水位 (広域)	電波式 水位検出器	E.L.+24.30m ~ E.L.+31.99m		系統名 (ライン名) 設置床 溢水防護上の 区画番号 溢水防護上の 配慮が必要な高さ	使用済燃料ピット 水冷却浄化系統	1
	可搬型使用済燃料 ピット水位	フロート式 水位検出器	E.L.+21.0m ~ E.L.+32.0m		保管場所: [] 取付箇所: [1台 []]		1 (予備1 (1・2号機 共用))

(注1) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

別添1 (2/2)
(令和2年12月24日)

10

系統機能検査（警報検査）記録

検査対象 (Tag No)	警報設定値		許容誤差範囲		表示値		警報発信
	工学値	模擬入力	工学値	模擬入力	工学値	模擬入力	
	℃	Ω	℃	Ω	℃	Ω	
使用済燃料ピット温度高 (ITE-651)	50.0	119.40	49.6 ~ 50.4	119.244 ~ 119.552	49.8	119.340	TA6.51 使用済燃料ピット 温度高

別添2
(令和2年12月24日)

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-12

検査年月日	検査結果	原子力施設検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和3年 1月14日	良	山形 英男 増本 豊	奈良県原子力庁 主任技術者 	なし

12

関西電力株式会社高浜発電所第 1 号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：1-12

検査年月日：令和 3 年 1 月 14 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-12

検査年月日：令和3年 / 月 14日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会 記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-12

検査年月日：令和3年1月14日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象			
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵設備 使用済燃料貯蔵槽の温度、水位及び漏えいを監視する装置 可搬型使用済燃料ピット水位 (別添1参照)			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統性能検査 ・計測範囲確認検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;"> 目視 </div> 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号： ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録
 (三号検査)
 (立会検査)

成績書管理番号: 1-12

検査年月日: 令和3年 / 1月 / 14日

検査場所: 関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
可搬型 使用済燃料ピット水 位 (ILT-653)	系統性能検査 ・計測範囲確認検査	別添2参照	良	目視
以下余白				
備考				

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録
検査用計器一覧表

成績書管理番号：1 - 1 2

検査年月日：令和3年 / 月 / 14日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
計測範囲 確認検査	鋼製巻尺				2018.7.6 2021.7.5	
以下余白						

核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るものにあつては、次の事項

3. 使用済燃料貯蔵設備に係る次の事項

(6) 使用済燃料貯蔵槽の温度、水位及び漏えいを監視する装置の名称、種類、計測範囲、取付箇所

(2/2)

変更前				変更後			
名	称	種	類	計測範囲	取付箇所	個数	
	使用済燃料ピット温度 (AM用)	測温抵抗体	0~100℃		系 統 名 使用済燃料ピット (ラ イ ン 名) 水冷却浄化系統 設 置 床 溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号 溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	1	
	使用済燃料ピット水位 (広域)	電波式 水位検出器	E.L.+24.30m ~ E.L.+31.99m		系 統 名 使用済燃料ピット (ラ イ ン 名) 水冷却浄化系統 設 置 床 溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号 溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	1	
	可搬型使用済燃料 ピット水位	フロート式 水位検出器	E.L.+21.0m ~ E.L.+32.0m		保管場所： [] 取付箇所： [1台]	1 (予備1 (1・2号機 共用))	

(注1) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

別添1(1/1)
(令和3年1月14日)

18

系統性能検査（計測範囲確認検査）記録

検査対象 (Tag No)	標準入力		標準値	許容誤差範囲	表示値
	工学値	模擬入力		SA監視操作盤	SA監視操作盤
	EL m	m		EL m	EL m
可搬型 使用済燃料ピット 水位 (1LT-653)	32.00	0.707	32.00	31.66~32.34	32.03
	29.00	3.707	29.00	28.66~29.34	29.03
	26.00	6.707	26.00	25.66~26.34	26.04
	23.00	9.707	23.00	22.66~23.34	23.13
	21.00	11.707	21.00	20.66~21.34	21.14
備考	※ 1 : SPDS表示値の許容誤差範囲はEL21.00m未満とEL32.00m超過において表示機能上の許容誤差がないことによる。				

19/E

(別添2
令和3年1月14日)

関西電力株式会社
高浜発電所第1号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1610071号99

成績書管理番号：1-13

令和3年2月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-13

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第1号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和 2 年 12 月 22 日
至 令和 3 年 2 月 2 日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第299号(平成28年10月7日) 関原発第434号(平成30年 3月20日) 関原発第 46号(平成30年 4月20日) 関原発第202号(平成30年 7月 4日) 関原発第259号(平成30年 8月20日) 関原発第415号(平成30年12月 5日) 関原発第504号(平成31年 2月 1日) 関原発第512号(平成31年 2月 6日) 関原発第582号(平成31年 3月18日) 関原発第 3号(平成31年 4月 4日) 関原発第 68号(2019年 5月16日) 関原発第115号(2019年 6月24日) 関原発第204号(2019年 8月23日) 関原発第478号(2020年 1月23日) 関原発第510号(2020年 1月31日) 関原発第542号(2020年 2月26日) 関原発第609号(2020年3月24日) 関原発第 20号(2020年4月 7日) 関原発第236号(2020年8月21日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-13

検査年月日	検査結果	原子力施設検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 12月22日	良	山形英男	茨城県原子力プラザ主任技術者  ボイラー・タービン主任技師 	なし

u

関西電力株式会社高浜発電所第 1 号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-13

検査年月日：令和 2 年 12 月 22 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・一	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-13

検査年月日：令和2年12月22日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ ◎記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-13

検査年月日：令和2年12月22日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象			
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 ポンプ、主配管 別添1参照			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統機能検査 ・スプレイ検査 系統性能検査 ・運転性能検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">記録確認</div>
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-1201 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るものにあつては、次の事項

4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備に係る次の事項

- (2) ポンプの名称、種類、容量、揚程又は吐出圧力、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所

(工事の計画の認可 原規規発第1606104号 平成28年6月10日認可)

・可搬型

(1/2)

名称			変更前	変更後	
				送水車 (注)	
				うず巻形	
ポンプ	種 類	—	—	[Redacted]	
	容 量 (注)	m ³ /h/個			
	吐 出 圧 力 (注)	MPa			
	最 高 使 用 圧 力 (注)	MPa			
	最 高 使 用 温 度 (注)	℃			
	主要寸法	吸 込 口 径			mm
		吐 出 口 径			mm
		た て			mm
		横			mm
		高 さ			mm
		車 両 全 長			mm
		車 両 全 幅			mm
	材料	ケ ー シ ン グ			—
		個 数			—

次ページに続く

			変更前	変 更 後
ポンプ	取 付 箇 所	—		
	種 類	—		ディーゼル機関
	出 力	kW/個		
	個 数	—		2 (予備1(1・2号機共用))
原 動 機	取 付 箇 所	—		ポンプと同じ

(注1) 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備、原子炉冷却系統施設のうち蒸気タービンの附属設備及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）と兼用

(注2) 重大事故等時における使用時の値

(注3) 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（使用済燃料ピットへの注水）で使用する場合はの値

(注4) 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備で使用する場合はの値

(注5) 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）で使用する場合はの値

(注6) 原子炉冷却系統施設のうち蒸気タービンの附属設備で使用する場合はの値

(注7) 公称値

(注8) 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（使用済燃料ピットへのスプレイ）で使用する場合はの値

(注9) アウトリガ最大張出時の車両全幅

次ページに続く

・可搬型

(1/2)

			変 更 前	変 更 後	
名 称			送水率 (1,2,3)	変更なし	
ポンプ	種 類	—	うず巻形		
	容 量 (2)	m ³ /h/個			
	吐 出 圧 力 (2)	MPa			
	最 高 使 用 圧 力 (2)	MPa			
	最 高 使 用 温 度 (2)	℃			
	主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm		
		吐 出 口 径	mm		
		た て	mm		
		横	mm		
		高 さ	mm		
車 両 全 長		mm			

9

次ページに続く

			変 更 前	変 更 後
ポンプ	主要寸法	車両全幅	mm	[Redacted]
		車両高さ	mm	
	材料	ケーシング	—	
		個数	—	
	取付箇所	—	変更なし	
原動機	種類	—	ディーゼル機関	
	出力	kW/個	[Redacted]	
	個数	—	2台	
	取付箇所	—	ポンプと同じ	

(注1) 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備、原子炉冷却系統施設のうち蒸気タービンの附属設備及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）と兼用

次ページに続く

10

・可搬型

(1/3)

			変 更 前	変 更 後
名 称			送水市 (1・2号機共用)	送水市 (1・2・3・4号機共用)
種 類	—		うず巻形	変更なし
ポンプ	容 量 (注3)	m ³ /h/個		
	吐 出 圧 力 (注3)	MPa		

次ページに続く

(2/3)

		変 更 前	変 更 後
ポンプ			
最高使用圧力	MPa		
最高使用温度	℃		
吸込口径	mm		
吐出口径	mm		
た	mm		
横	mm		
高さ	mm		
車両全長	mm		
車両全幅	mm		
車両高さ	mm		
材料	—		
個	数		

変更なし

次ページに続く

(3/3)

		変 更 前	変 更 後
ポンプ	取 付 箇 所	—	
	種 類	—	
	出 力	kW/個	
	個 数	—	
取 付 箇 所	—	ポンプと同じ	変更なし

次ページに続く

- (注1) 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備、原子炉冷却系統施設のうち蒸気タービンの附属設備及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）と兼用
- (注2) 予備の明確化を行う。既工事計画書（平成30年8月6日付け原規規発第1808063号にて認可）に記載の送水車3台（2台（予備1台））のうち、1台を予備とする。
- (注3) 重大事故等時における使用時の値
- (注4) 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（使用済燃料ピットへの注水）で使用する場合の値
- (注5) 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備で使用する場合の値
- (注6) 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）で使用する場合の値
- (注7) 原子炉冷却系統施設のうち蒸気タービンの附属設備で使用する場合の値
- (注8) 公称値
- (注9) 1号機又は2号機で使用する場合の値
- (注10) 3号機又は4号機で使用する場合の値
- (注11) 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（使用済燃料ピットへのスプレイ）で使用する場合の値
- (注12) アウトリガ最大張出時の車両全幅
- (注13) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「2（予備1（1・2号機共用））」と記載
- (注14) 記載の適正化を行う。既工事計画書には [REDACTED]

[REDACTED] と記載

4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備に係る次の事項

(7) 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

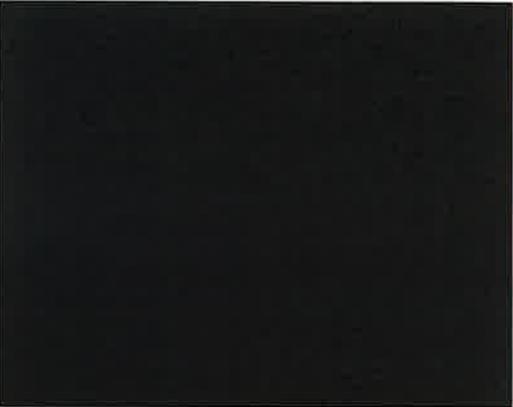
・可搬型

(工事の計画の認可 原規規発第1606104号 平成28年6月10日認可)

変更前	変更後						
	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	取付箇所
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備</p>							<p>保管場所 (付1) :</p> <div style="background-color: black; width: 100%; height: 100%;"></div>
	<p>送水車送水用 ホース</p>	<p>(注2)</p> <div style="background-color: black; width: 100%; height: 100%;"></div>	<p>(注2)</p> <div style="background-color: black; width: 100%; height: 100%;"></div>	<p>(注3)</p> <div style="background-color: black; width: 100%; height: 100%;"></div>	<p>(注1)</p> <div style="background-color: black; width: 100%; height: 100%;"></div>	<p>—</p> <div style="background-color: black; width: 100%; height: 100%;"></div>	<p>取付箇所 :</p> <div style="background-color: black; width: 100%; height: 100%;"></div>

次ページに続く

(工事の計画の認可 平成28年6月10日認可)

変更前	変 更 後						
	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	取付箇所
	使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 送水車 送水用  mホース	 (注2)	 (注2)	 (注3)	 (注1)		保管場所 (注16) ;  取付箇所 : 

次ページに続く

17

変更前	変 更 後						
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	取付箇所	
使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	(注2) [REDACTED]	(注2) [REDACTED]	(注3) [REDACTED]	[REDACTED]	(注17) [REDACTED]	保管場所 (注14) : [REDACTED]	
スプレイヘッド	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	—	[REDACTED]	取付箇所 : [REDACTED]	

(注1) 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）と兼用

(注2) 重大事故等時における使用時の値

(注3) メーカーにて規定する呼び径を示す。

(注4) メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

(注5) 当該ホース ■ 本（ [REDACTED] ）以上を保管する。

(注6) 本数については当該ルートで最長に敷設した場合の記載（ [REDACTED] ）

(注7) 当該ホース ■ 本（ [REDACTED] ）以上を保管する。

(注8) 本数については当該ルートで最長に敷設した場合の記載（ [REDACTED] ）

(注9) 放水砲寸法（公称値）：たて 3,800mm、横 2,200mm、高さ 2,090mm

次ページに続く

変更前							変更後								
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数 (注19)	取付箇所 (注19)	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所
(注18) 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 送水車 送水用 hoses	(注2)	(注2)	(注3)	(注4)				使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 変更なし							保管場所: (注5)
							(次頁へ続く)								(次頁へ続く)

20

次ページに続く

12

変 更 前							変 更 後								
名 称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	(注19) 個数	取付箇所 (注19)	名 称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所
(注15)	(前頁からの続き)						(前頁からの続き)		(前頁からの続き)						(前頁からの続き)
使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備								使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備							取付箇所： 
送水車 送水用  ホース															

次ページに続く

(注10) 公称値

(注11) 当該設備■台(必要台数)以上を保管する。

(注12) 1・2・3・4号機共用の予備は、3号機設備である。

(注13) 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備、原子炉冷却系統施設のうち蒸気タービンの附属設備及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備(格納容器安全設備)と兼用

(注16) 当該ホース■本(■)以上を保管する。

(注17) スプレイヘッド本体の材料

(注18) 当該設備■台(■)以上を保管する。

(注19) 実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則改正に係る適正化

(注20) 最長に敷設した場合の本数

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-13

検査年月日	検査結果	原子力施設検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和 2 年 12 月 23 日	良	増本 豊	奈良県原子力主任技術者  ボルネー・タービン主任技術者 	なし

23

関西電力株式会社高浜発電所第 1 号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-13

検査年月日：令和 2 年 12 月 23 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	⊙・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	⊙・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	⊙・—	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-13

検査年月日：令和2年 12月 23日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・⊖	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-13

検査年月日：令和2年 12月 23日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象			
原子炉冷却系統施設 蒸気タービンの附属設備 主配管 別添1及び別添2参照			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統機能検査 ・通水検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">記録確認</div>
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-0003 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

原子炉冷却系統施設

蒸気タービンに係るものについては、次の事項

2 蒸気タービンの附属設備に係る次の事項

(4) 管等に係る次の事項

イ 主配管の最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・常設

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
蒸気タービンの附属設備 復水タンク ～ タービン動補助 給水ポンプ	0	40	(注3)	(注3)	STPT38	蒸気タービンの附属設備 変更なし	変更なし				
			(注3)	(注3)	STPT38						
			(注3)	(注3)	SUS304TP						
	(注5)	(注5)	(注3, 7)	(注3, 7)	(注7)						
						0	40	267.4	9.3	SUS304TP	
								(注3, 6, 7)	(注3, 6, 7)	(注6, 7)	
								267.4	9.3	SUS304TP	

(次ページに続く)

27

28

変更前					変更後							
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	
	圧力	温度					圧力	温度				
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)		
蒸気タービンの 附属設備	(注1)		-			蒸気タービンの 附属設備	0	40	(注3, 6)	(注3, 6)	(注6)	
									267.4	9.3		STPT38
									/	/		
									165.2	7.1		
復水タンク ～ タービン動補助 給水ポンプ			-			変更なし	(注5)	(注5)	(注3, 6)	(注3, 6)	(注6)	
							267.4	9.3				
							/	/				
							267.4	9.3	SUS304TP			

62

変更前						変更後					
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(℃)	(mm)	(mm)			(MPa)	(℃)	(mm)	(mm)	
蒸気タービンの附属設備 井 (1AS-108A、B) ~ タービン動 補助給水ポンプ	(注10) 7.48	291	(注3, 24) 60.5	(注3, 24) 5.5	(注24) STPT38	蒸気タービンの附属設備 変更なし	(注5) 8.0	(注5) 351	変更なし	変更なし	変更なし
			(注3) 165.2	(注3) 11.0	STPT38						
			(注3, 22) 165.2	(注3, 22) 11.0	STPT370						
	(注5) 8.0	(注5) 351	(注3, 6, 7) 61.1	(注6, 7) (差し込み部の内径) (最小)	(注6, 7) S25C						
	(注5) 8.0	(注5) 351	(注3, 6) 61.1	(注6) (差し込み部の内径) (最小)	(注6) S25C						

(次ページに続く)

30

変更前					変更後							
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	
	圧力	温度					圧力	温度				
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)		
蒸気タービンの附属設備 弁 (IAS-108A、B) ~ タービン動 補助給水ポンプ (注20)						蒸気タービンの附属設備 変更なし			(注3, 6, 7)	(注3, 6, 7)	(注6, 7)	
									(注3, 7)	(注3, 7)	(注7)	
										(注3, 6)	(注3, 6)	(注6)
									(注5)	(注5)		
										(注3, 6)	(注6)	(注6)
									(注3)			
									(注3, 6)	(注6)	(注6)	
									(差し込み部の内径)	(最小)		
									61.1			

(次ページに続く)

31

変更前					変更後							
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
蒸気タービンの 附属設備 弁 (1AS-108A、B) ~ タービン動 補助給水ポンプ (注20)						蒸気タービンの 附属設備 変更なし			(注3,6)	(注3,6)	(注6)	
										165.2	11.0	STPT38
										/	/	
										89.1	7.6	
										(注3,6)	(注3,6)	(注6)
										165.2	11.0	STPT38
										/	/	
										165.2	11.0	
										(注3)	(注3)	(注6)
									(注5)	(注5)	165.2	11.0
							8.0	351	/	/		
									165.2	11.0		
									(注3,6)	(注3,6)	(注6)	
									165.2	11.0	STPT38	
									/	/		
									165.2	11.0		

32

変更前						変更後						
名 称	最高使用	最高使用	外 径	厚 さ	材 料	名 称	最高使用	最高使用	外 径	厚 さ	材 料	
	圧 力	温 度					圧 力	温 度				
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)		
蒸気タービンの附属設備 復水タンク ～ 復水タンク 出口配管分岐点	(注1)	(注2)	(注3)	(注3)	(注4)	蒸気タービンの附属設備 復水タンク ～ 復水タンク 出口配管分岐点	変更なし					
	0	40	267.4	9.3	SUS304TP				(注3,7)	(注3,7)	(注7)	
										(注3,6,7)	(注3,6,7)	(注6,7)
							(注5)	(注5)	(注3,6)	(注3,6)		
							0	40	267.4	9.3		
							267.4	9.3		(注6)		
							165.2	7.1				

変更前						変更後						
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	
	圧力	温度					圧力	温度				
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)		
蒸気タービンの 附属設備	(注1) 0	(注2) 40	(注3, 24) 114.3	(注3, 24) 6.0	(注24) SUS304TP	蒸気タービンの 附属設備	変更なし					
			(注3) 165.2	(注3) 7.1	(注4) SUS304TP							
	—						変更なし	(注5) 0	(注5) 40	(注3, 6, 7) 165.2	(注3, 6, 7) 7.1	(注6, 7) SUS304TP
										(注3, 6) 165.2	(注3, 6) 7.1	(注6) SUS304TP
—					変更なし	(注5) 0	(注5) 40	—	—	(注6) SUS304TP		
								114.3	6.0			

(次ページに続く)

変更前					変更後								
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料		
	圧力	温度					圧力	温度					
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			
蒸気タービンの附属設備	(注1)				蒸気タービンの附属設備	変更なし			(注3, 6)	(注3, 6)			
	復水タンク									165.2	7.1		
	出口配管分岐点								(注5)	(注5)	/	/	(注6)
	～								0	40	165.2	7.1	SUS304TP
A電動補助								/	/				
給水ポンプ								-	-				

35

35

変更前						変更後					
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)	
(注1) 蒸気タービンの附属設備 復水タンク 出口配管分岐点 ~ B電動補助 給水ポンプ 入口配管分岐点	(注2) 0	40	(注9) 165.2	(注3) 7.1	(注4) SUS304TP	(注8) 蒸気タービンの附属設備 復水タンク 出口配管分岐点 ~ B電動補助 給水ポンプ 入口配管分岐点	変更なし				
								(注5) 0	(注5) 40	(注3, 6, 7) 165.2	(注3, 6, 7) 7.1
								(注3, 6) 267.4	(注3, 6) 9.3	(注E) SUS304TP	
								／	／		
								(注5) 165.2	(注5) 7.1		
								(注3) 165.2	(注3) 7.1		
								／	／		
								165.2	7.1	SUS304TP	
								／	／		
								165.2	7.1		

36

変更前						変更後					
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(℃)	(mm)	(mm)			(MPa)	(℃)	(mm)	(mm)	
蒸気タービンの附属設備 B電動補助 給水ポンプ 入口配管分岐点 ～ B電動補助 給水ポンプ	(注1)	(注2)	(注3, 24)	(注3, 24)	(注24)	蒸気タービンの附属設備 変更なし	変更なし				
	0		40	114.3	6.0		SUS304TP				
			(注3)	(注3)	(注4)						
			165.2	7.1	SUS304TP						
						0	40	(注3, 6, 7)	(注3, 6, 7)	(注5, 7)	
					165.2			7.1	SUS304TP		
					(注3, 6)			(注3, 6)	(注6)		
					165.2			7.1	SUS304TP		
								(注3, 6)	(注3, 6)		
								114.3	6.0		
								(注3, 6)	(注3, 6)	(注6)	
								165.2	7.1		
								165.2	7.1	SUS304TP	
								—	—		

工事計画本文 (原規規発第 1606104 号 平成 28 年 6 月 10 日 認可)

変更前						変更後					
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)	
37 蒸気タービンの附属設備 電動補助給水ポンプ ~ 電動補助給水ポンプA、B 出口分岐点	(注9)		(注3)	(注3)		蒸気タービンの附属設備 変更なし	変更なし				
	(注10)	15.7	40	114.3	11.1						
				(注3)	(注3)		(注11)				
				114.3	11.1		SUS304TP				
蒸気タービンの附属設備 変更なし	(注5)	15.7	(注5)	40		(注3, 6, 7)	114.3	(注3, 6, 7)	11.1	(注6, 7)	STPT42
						(注3, 6, 7)	114.3	(注3, 6, 7)	11.1	(注6, 7)	SUS304TP
						(注3, 6)	114.3	(注3, 6)	11.1	(注5)	SUS304TP
							88.9		11.1		
						(注3, 6)	114.3	(注3, 6)	11.1		(注6)
							114.3		11.1		STPT42
						114.3		11.1			

工事計画本文 (関原発第 121 号 平成 30 年 5 月 24 日 にて軽微変更届出)

変更前						変更後							
名 称	最高使用	最高使用	外 径	厚 さ	材 料	名 称	最高使用	最高使用	外 径	厚 さ	材 料		
	圧 力	温 度					圧 力	温 度					
	(MPa)	(℃)	(mm)	(mm)			(MPa)	(℃)	(mm)	(mm)			
蒸気タービンの附属設備	(注25)	15.7	40	(注3)	(注3)	蒸気タービンの附属設備	変更なし						
				114.3	11.1							STPT42	
		(注3)	(注3)	114.3	11.1							SUS304TP	
		(注3,7)	(注3,7)	(注7)	114.3							11.1	STPT42
		(注3,7)	(注3,7)	(注7)	114.3							11.1	SUS304TP
		(注3)	(注3)	114.3	11.1							SUS304TP	
		(注5)	(注5)	/	/								
		15.7	40	88.9	11.1								
		(注3)	(注3)	114.3	11.1							STPT42	
		/	/	114.3	11.1								
	/	/	114.3	11.1									

8c

39

変更前						変更後					
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
(注12) △電動補助給水 ポンプ 出口分岐点 ~ B電動補助給水 ポンプ 出口分岐点	(注10)	40	(注3)	(注3)	STPT42	変更なし 変更なし (注5)	(注5) 15.7	(注5) 40	変更なし		
									(注3, 6, 7) 88.9	(注3, 6, 7) 11.1	(注6, 7) STPT42
					(注3, 6) 114.3	(注3, 6) 11.1	(注5) STPT42				
					(注3, 6) 88.9	(注3, 6) 11.1	(注6) STPT42				
					(注3, 6) 88.9	(注3, 6) 11.1	(注6) STPT42				
					(注3, 6) 88.9	(注3, 6) 11.1	(注6) STPT42				

蒸気タービンの附属設備

蒸気タービンの附属設備

KO

変更前						変更後						
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	
	圧力	温度					圧力	温度				(MPa)
(注13) A、B電動補助給水 ポンプ 出口分岐点 及び 電動補助給水 ポンプ 出口連絡管 分岐点 ~ 弁(1FW-550 A、B、C)	(注10)		(注3)	(注1)	STPT42	蒸気タービンの 附属設備 変更なし	変更なし					
	15.7	40	88.9	11.1								
蒸気タービンの 附属設備						蒸気タービンの 附属設備 変更なし				(注3, 6)	(注3, 6)	(注6)
							114.3	11.1	—	—	STPT42	
							88.9	11.1				
							(注5)	(注5)	(注3, 6)	(注6)		
						15.7	40				(注6)	
										88.9	—	ASTM
										88.9	(注3)	Gr II
										(11.1)		(S25C 相当)
										11.1		
										—		

(次ページに続く)

変更前						変更後					
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)	
<small>(注13)</small> A、B電動補助給水 ポンプ 出口分岐点 及び 電動補助給水 ポンプ 出口連絡管 分岐点 ~ 弁(1FW-550 A、B、C)						蒸気タービンの 附属設備 変更なし			<small>(注3,6)</small>	<small>(注3,6)</small>	
								<small>(注5)</small> 15.7	<small>(注5)</small> 40	88.9 / / 88.9	11.1 / / 11.1

17

変更前						変更後					
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(℃)	(mm)	(mm)			(MPa)	(℃)	(mm)	(mm)	
(注14) 弁(1FW-550 A、B、C) 及び 弁(1FW-556 A、B、C) ~ 弁(1FW-550 A、B、C) 及び 弁(1FW-556 A、B、C) 下流合流点	(注10)		(注3)	(注3)	STPT42	変更なし	変更なし				
	8.6	40	88.9	11.1					(注3, 6, 7)	(注3, 6, 7)	(注6, 7)
									(注3, 6)	(注3, 6)	
									114.3	11.1	(注6)
								(注5)	8.6	40	STPT42
									(注3, 6)	(注3, 6)	
									114.3	13.5	(注6)
									88.9	11.1	STPT42

(次ページに続く)

K2

23

変更前					変更後						
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)	
(注14) 弁(1FW-550 A、B、C) 及び 弁(1FW-556 A、B、C) ~ 弁(1FW-550 A、B、C) 及び 弁(1FW-556 A、B、C) 下流合流点						蒸気タービンの 附属設備 変更なし			(注3,6)	(注3,6)	
							(注5)	(注5)	88.9	11.1	
		8.6	40				88.9	11.1	—	—	(注6)
											STPT42

カキ

変更前						変更後					
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)	
蒸気タービンの附属設備	(注15)	(注10)	(注3)	(注3)	STPT42	蒸気タービンの附属設備	変更なし				
			114.3	11.1							
	(注3, 23)	(注3, 23)	(注23)	STPT410							
	114.3	11.1									
弁(1FW-550 A、B、C) 及び 弁(1FW-556 A、B、C) 下流合流点 ～ 弁(1FW-562 A、B、C)	(注5)	(注5)	(注3, 6, 7)	(注3, 6, 7)	(注6, 7)	8.6	40	114.3	11.1	STPT42	
(注3, 7)			(注3, 7)	(注7)	114.3			11.1	STPT410		
(注3, 6)			(注3, 6)	(注6)	114.3			11.1	STPT42		

KS

変更前						変更後						
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	
	圧力	温度					圧力	温度				(MPa)
(注16) タービン動補助 給水ポンプ ~ 弁 (1FW-553A、B) 及び 弁 (1FW-553C) 上流 レジューサ (6×3) 蒸気タービンの附属設備	(注10)		(注3)	(注3)		変更なし 蒸気タービンの附属設備	変更なし					
	12.3	40	168.3	14.3	STPT42							
										(注3.6.7)	(注3.6.7)	(注6.7)
										168.3	14.3	STPT42
										(注3.6)	(注3.6)	
								168.3	14.3	(注5)		
								88.9	11.1	STPT42		
								(注3.6)	(注3.6)			
								12.3	40	(注5)		
								168.3	14.3	(注5)		
								141.3	12.7	STPT42		
								(注3.6)	(注3.6)			
								168.3	14.3			
								168.3	14.3	(注6)		
								88.9	11.1	STPT42		

変更前						変更後					
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)	
<small>(注17)</small> 弁 (1FW-553A、B) 及び 弁 (1FW-553C) 上流 レジューサ (6×3) ~ 弁(1FW-556 A、B、C)	<small>(注10)</small>		<small>(注3)</small>	<small>(注3)</small>	STPT42	変更なし 蒸気タービンの附属設備	変更なし				
	12.3	40	88.9	11.1			<small>(注5)</small> 12.3	<small>(注5)</small> 40	<small>(注3, 6, 7)</small> 88.9 <small>(注3, 6)</small> 88.9 / 88.9 / -	<small>(注3, 6, 7)</small> 11.1 <small>(注6)</small> 9.7 / 9.7 / (11.1) / 11.1 / -	<small>(注6, 7)</small> STPT42 <small>(注6)</small> ASTM A105 Gr II (S25C 相当)

(次ページに続く)

47

変更前					変更後						
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
(注17) 弁 (1FW-553A、B) 及び 弁 (1FW-553C) 上流 レジューサ (6×3) ~ 弁(1FW-556 A、B、C)						蒸気タービンの 附属設備 変更なし	(注5) 12.3	(注5) 40	(注3, 5) 89.1 /	(注3, 5) 11.1 /	(注6) STPT410

工事計画本文（原規規発第 1606104 号 平成 28 年 6 月 10 日 認可）

- (注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「復水タンク～補助給水ポンプ」と記載
- (注2) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「 $2\text{kg}/\text{cm}^2\text{G}$ 」と記載
- (注3) 公称値
- (注4) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPT38」と記載
- (注5) 重大事故等時における使用時の値
- (注6) 本設備は既存の設備である。
- (注7) エルボを示す。
- (注8) 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）と兼用
- (注9) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「電動補助給水ポンプ～分岐点」と記載
- (注10) SI単位に換算したものである。
- (注11) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPT42」と記載
- (注12) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「電動補助給水ポンプ出口連絡管」と記載
- (注13) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～弁（1-FW-550A、B、C）」と記載
- (注14) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（1-FW-550A、B、C、556A、B、C）～合流点」と記載
- (注15) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「合流点～弁（1-FW-562A、B、C）」と記載
- (注16) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「タービン動補助給水ポンプ～レジェーサ（ 6×3 ）」と記載
- (注17) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジェーサ（ 6×3 ）及び分岐点～弁（1-FW-556A、B、C）」と記載
- (注18) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「制御弁（1-FCV-478、488、498）出口合流点～弁（1-FW-520A、B、C）」と記載
- (注19) 本設備は記載の適正化のみを行うものであり、手続き対象外である。
- (注20) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「主蒸気管A、C分岐点～タービン動補助給水ポンプ」と記載
- (注21) エルボについては管と同等以上の厚さのものを選定する。
- (注22) STPT38同等材（STPT370）への取替えを行う。

工事計画本文（原規規発第 1606104 号 平成 28 年 6 月 10 日 認可）

(注23) STPT42同等材（STPT410）への取替えを行う。

(注24) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

67

工事計画本文（関原発第121号 平成30年5月24日 にて軽微変更届出）

- (注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「復水タンク～補助給水ポンプ」と記載
- (注2) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「2kg/cm²G」と記載
- (注3) 公称値
- (注4) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPT38」と記載
- (注5) 重大事故等時における使用時の値
- (注6) 本設備は既存の設備である。
- (注7) エルボを示す。
- (注8) 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）と兼用
- (注10) SI単位に換算したものである。
- (注12) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「電動補助給水ポンプ出口連絡管」と記載
- (注13) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～弁（1-FW-550A、B、C）」と記載
- (注14) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（1-FW-550A、B、C、556A、B、C）～合流点」と記載
- (注15) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「合流点～弁（1-FW-562A、B、C）」と記載
- (注16) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「タービン動補助給水ポンプ～レジャーサ（6×3）」と記載
- (注17) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ（6×3）及び分岐点～弁（1-FW-556A、B、C）」と記載
- (注18) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「制御弁（1-FCV-478、488、498）出口合流点～弁（1-FW-520A、B、C）」と記載
- (注19) 本設備は記載の適正化のみを行うものであり、手続き対象外である。
- (注20) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「主蒸気管A、C分岐点～タービン動補助給水ポンプ」と記載
- (注21) エルボについては管と同等以上の厚さのものを選定する。
- (注22) STPT38同等材（STPT370）への取替えを行う。
- (注23) STPT42同等材（STPT410）への取替えを行う。
- (注24) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

工事計画本文 (関原発第121号 平成30年5月24日 にて軽微変更届出)

(注25) 記載の適正化を行う。平成28年6月10日付け原規規発第1606104号にて認可された既工事計画書には「電動補助給水ポンプ～電動補助給水ポンプA、B出口分岐点」と記載

工事計画認可申請	第3-2-48図
高浜発電所第1号機	
原子炉冷却系統施設の系統図 (蒸気タービンの附属設備)(2/4)	
(重大事故等対応設備)	
関西電力株式会社	

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-13

検査年月日	検査結果	原子力施設検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和 2 年 12 月 25 日	良	増本豊	谷本 隆之 主任技術者  本村 隆之 主任技術者 	なし

53

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：1-13

検査年月日：令和2年12月25日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・一	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-13

検査年月日：令和2年12月25日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・一	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・一	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・一	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・一	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-13

検査年月日：令和2年12月25日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象			
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 ポンプ 主配管 原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 容器 <p style="text-align: center;">別添1参照</p>			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統機能検査 ・運転性能検査 ・通水検査 ・容量確認検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">記録確認</div>
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-0556（その1）、T1-3-0555 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

原規規発第 1606104 号 平成28年6月10日認可

核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るものについては、次の事項

4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備に係る次の事項

(2) ポンプの名称、種類、容量、揚程又は吐出圧力、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所

・可搬型

(1/2)

名称			変更前	変更後	
ポンプ	種類			送水車 ^(注1)	
	容量 ^(注2)	m ³ /h/個		うず巻形	
	吐出圧力 ^(注2)	MPa			
	最高使用圧力 ^(注2)	MPa			
	最高使用温度 ^(注2)	℃			
	主要寸法	吸込口径	mm		
		吐出口径	mm		
		たて	mm		
		横	mm		
		高さ	mm		
		車両全長	mm		
		車両全幅	mm		
	材料	ケーシング	-		
		個数	-		

次ページへ続く

			変更前	変更後
ポンプ	取付箇所	—		
	種類	—		ディーゼル機関
原動機	出力	kW/個		
	個数	—		2(予備1(1・2号機共用))
	取付箇所	—		ポンプと同じ

(注1) 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備、原子炉冷却系統施設のうち蒸気タービンの附属設備及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備(格納容器安全設備)と兼用

(注2) 重大事故等時における使用時の値

(注3) 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備(使用済燃料ピットへの注水)で使用する場合の値

(注4) 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備で使用する場合の値

(注5) 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備(格納容器安全設備)で使用する場合の値

(注6) 原子炉冷却系統施設のうち蒸気タービンの附属設備で使用する場合の値

(注7) 公称値

(注8) 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備(使用済燃料ピットへのスプレー)で使用する場合の値

(注9) アウトリガ最大張出時の車両全幅

原規規発第 1808063 号 平成 30 年 8 月 6 日変更認可分

燃料物資の取扱施設及び貯蔵施設

加圧水型炉専用原子炉施設に係るものにあつては、次の事項

1 使用燃料貯蔵槽冷却浄化設備に係る次の事項

(2) ポンプの名称、種類、容量、揚程又は吐出圧力、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所

可搬型

(1/2)

名 称		変更前 送水量 ^{単位}	変 更 後	
ポンプ	種 類	ろ寸巻形		
	容 量 ^{単位}	m ³ /h/個		
	吐 出 圧 力 ^{単位}	MPa		
	最 高 使 用 圧 力 ^{単位}	MPa		
	最 高 使 用 温 度 ^{単位}	℃		
	主 要 寸 法	吸 込 口 径		mm
		吐 出 口 径		mm
		た び ば		mm
		横		mm
		高 さ		mm
車 両 全 長	mm			

(2/2)

		変更前	変 更 後
ポンプ	主 要 寸 法	車 両 全 幅	mm
		車 両 高 さ	mm
		ケーシング	-
	個 数	-	
	取 付 箇 所	-	変更なし
原 動 機	種 類	ディーゼル機関	-
	出 力	kW/個	-
	個 数	-	2 (予備1(1・2号機共用))
取 付 箇 所	-	ポンプと同じ	

- (注1) 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備、原子炉冷却系統施設のうち蒸気タービンの附属設備及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）と兼用
- (注2) 重大事故等時における使用時の値
- (注3) 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（使用済燃料ピットへの注水）で使用する場合の値
- (注4) 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備で使用する場合の値
- (注5) 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）で使用する場合の値
- (注6) 原子炉冷却系統施設のうち蒸気タービンの附属設備で使用する場合の値
- (注7) 公称値
- (注8) 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（使用済燃料ピットへのスプレイ）で使用する場合の値
- (注9) アウトリガ最大張出時の車両全幅

原規規発第 2002192 号 令和 2 年 2 月 19 日変更認可分

可搬型 (1/3)

名称		変更前	変更後
種	類	送水車 (1・2号機共用) うす巻形	送水車 (1・2・3・4号機共用) 変更なし
ポンプ	容 量 (L)	[Redacted]	
	吐出圧力 (MPa)		

(2/3)

		変更前	変更後
ポンプ	最高使用圧力 (MPa)	[Redacted]	
	最高使用温度 (℃)	[Redacted]	
	吸込口径 (mm)	[Redacted]	
	吐出口径 (mm)	[Redacted]	
	たて (mm)	[Redacted]	
	横 (mm)	[Redacted]	
	高さ (mm)	[Redacted]	
	車体全長 (mm)	[Redacted]	
	車体全幅 (mm)	[Redacted]	
	車体高さ (mm)	[Redacted]	
材料個	ケーシング	[Redacted]	
		変更なし	

次ページへ続く

(3/3)

			変 更 前	変 更 後
原 動 機	種 類	価 値 [万円]	ダイーゼル機関	変更なし
	出 力	馬 力	[予備]	
	制 動	機 種	[予備]	
	取 付 箇 所		ポンプと同じ	

- [注1] 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備、原子炉冷却系統施設のうち蒸気タービンの附属設備及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）と兼用
- [注2] 予備の明確化を行う。既工事計画書（平成30年8月6日付け原規規発第1808063号（認可）に記載の送水車3台（2台（予備1台））のうち、1台を予備とする。
- [注3] 重事故等時における使用時の値
- [注4] 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（使用済燃料ピットへの注水）で使用する場合の値
- [注5] 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備で使用する場合の値
- [注6] 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）で使用する場合の値
- [注7] 原子炉冷却系統施設のうち蒸気タービンの附属設備で使用する場合の値
- [注8] 公称値
- [注9] 1号機又は2号機で使用する場合の値
- [注10] 3号機又は4号機で使用する場合の値
- [注11] 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（使用済燃料ピットへのスプレー）で使用する場合の値
- [注12] アウトリガ最大張出時の車両全幅
- [注13] 記載の適正化を行う。既工事計画書には「2（予備1（1・2号機共用））」と記載
- [注14] 記載の適正化を行う。既工事計画書には「[REDACTED]」と記載

(7) 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

変更前	変更後						
	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	取付箇所
使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	(注13)						保管場所 (注14)
	送水車送水用 ホース	(注2)	(注2)	(注9)	(注4)		取付箇所

63

名称	変更前					取付箇所 <small>(注19)</small>	名称	変更後					取付箇所
	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料 <small>(注18)</small>			最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
(注17) 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 送水車 送水用 ■ ホース	(注2)	(注3)	(注3)	(注4)		保管場所： [Redacted]	使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	変更なし				保管場所： [Redacted]	
						(次頁へ続く)						(次頁へ続く)	

次ページへ続く

79

65

変更前							変更後													
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所					
(前頁からの続き)							(前頁からの続き)	(前頁からの続き)							(前頁からの続き)					
使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 送水車 送水用  ホース							取付箇所:	使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 							取付箇所:					
																				

次ページへ続く

(注10) 公称値

(注11) 当該設備台 (必要台数) 以上を保管する。

(注12) 1・2・3・4号機共用の予備は、3号機設備である。

(注13) 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備、原子炉冷却系統施設のうち蒸気タービンの附属設備及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備 (格納容器安全設備) と兼用

(注16) 当該ホース本 () 以上を保管する。

(注17) スプレイヘッダ本体の材料

(注18) 当該設備台 () 以上を保管する。

(注19) 実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則改正に係る適正化

(注20) 最長に敷設した場合の本数

67

変更前	変更後						
	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	取付箇所
使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	送水車 送水用ホース	(注2)	(注2)	(注3)	(注3)	[Redacted]	保管場所 (注16) : [Redacted]
		[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]		取付箇所 : [Redacted]

(注1) 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）と兼用

(注2) 重大事故等時における使用時の値

(注3) メーカーにて規定する呼び径を示す。

(注4) メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

(注5) 当該ホース 本 () 以上を保管する。

(注6) 本数については当該ルートで最長に敷設した場合の記載 ()

(注7) 当該ホース 本 () 以上を保管する。

(注8) 本数については当該ルートで最長に敷設した場合の記載 ()

(注9) 放水砲寸法（公称値）：たて 3,800mm、横 2,200mm、高さ 2,090mm（注10）公称値

(注11) 当該設備 台（必要台数）以上を保管する。

(注12) 1・2・3・4号機共用の予備は、3号機設備である。

(注13) 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備、原子炉冷却系統施設のうち蒸気タービンの附属設備及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）と兼用

(注14) 当該ホース 本 () 以上を保管する。

(注15) 本数については当該ルートで最長に敷設した場合の記載

(注16) 当該ホース 本 () 以上を保管する。

(注17) スプレイヘッド本体の材料

(注18) 当該設備 台 () 以上を保管する。

(2) 容器の名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所

以下の設備の予備は、既存の3号機設備(3号機及び4号機共用)であり、本工事計画で1号機、2号機、3号機及び4号機共用とする。

・可搬型

		変更前	変更後
名 称			仮設組立式水槽
種 類	—		組立式水槽
容 量 ^(注1)	m ³ /個		
最 高 使 用 圧 力 ^(注1)	—		大気圧
最 高 使 用 温 度 ^(注1)	℃		
主 要 寸 法	直 径	mm	
	高 さ	mm	
材 料	フ レ ム	—	
	シ ー ト	—	
個 数		—	2 ^(注3)
取 付 箇 所		—	

(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) 公称値

(注3) 1・2・3・4号機共用の予備は、3号機設備である。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-13

検査年月日	検査結果	原子力施設検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和 3 年 1 月 18 日	良	増本豊	<p>奈良県原子力主任技術者</p>  <p>ボ行一・タービン主任技術者</p> 	TJL

関西電力株式会社高浜発電所第 1 号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：1-13

検査年月日：令和 3 年 1 月 18 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	良・一	

関西電力株式会社高浜発電所第 1 号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-13

検査年月日：令和 3 年 / 月 / 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・一	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・一	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・一	
系統構成が完了していること。	立会/ ◎記録確認	◎良・一	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-13

検査年月日：令和3年 / 月 18日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象			
原子炉冷却系統施設 蒸気タービンの附属設備 給水ポンプ、原動機、貯水設備、給水処理設備 別添1参照			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統性能検査 ・容量確認検査 ^{*1}	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">良</div>	目視 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">記録確認</div>
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-0502 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照 ※1 別添2参照			

工事計画本文（原規規発第1606104号（平戊28年6月10日認可））

原子炉冷却系統施設

蒸気タービンに係るものにあつては、次の事項

2 蒸気タービンの附属設備に係る次の事項

(3) 給水ポンプの種類、原動機の種類、出力、取付箇所、貯水設備の種類、容量及び個数並びに給水処理設備の種類、容量及び個数
(1/2)

			変 更 前	変 更 後
名 称 (注1)			復水タンク	復水タンク (注2)
種	類	—	たて置円筒形	
容	量 (注3)	m ³ /個		
最	高 使 用 圧 力 (注1.6)	—		
最	高 使 用 温 度 (注1.6)	℃		
主要寸法 (注4)	胴	内 径 (注7)	mm	
	胴	板 厚 さ (注8)	mm	
	屋	根 板 厚 さ	mm	
	底	板 厚 さ	mm	
		補助給水ポンプ吸込管台外径	mm	
		補助給水ポンプ吸込管台厚さ	mm	
		ブ ロ ー 管 台 外 径	mm	
		ブ ロ ー 管 台 厚 さ	mm	
		タンク補給水入口管台外径	mm	
		タンク補給水入口管台厚さ	mm	
		側 マ ン ホ ー ル 外 径	mm	
		側 マ ン ホ ー ル 厚 さ	mm	
		側 マ ン ホ ー ル ふ た 厚 さ	mm	
		全	高	mm

×

(2/2)

		変更前	変更後
(注1)	胸板		
	屋根板		
	底板		
	側マンホールふた		
	個数	1 (注10)	
(注1)	系統名 (ライオン)		
	設置床		
	取付箇所		
	溢水防護上の番号		
	溢水防護上の高さ		





工事計画認可申請	第3-2-48回
高圧発電所	第1号機
原子力発電所系統施設の新設区 (蒸気タービンの附属設備)(2/4) (重大事故等対処設備)	
関西電力株式会社	



工事計画認可申請	第3-3-26回
新 設 電 源 所 第 1 号 機	
原子炉冷却系統施設の構造図 (蒸気タービンの附属設備) 復水タンク	
関西電力株式会社	

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-13

検査年月日	検査結果	原子力施設検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和 3 年 2 月 2 日	良	山形 英男 増本 豊	茨城県原子力工業 主任技術者 [Redacted] ボイラー-タービン 主任技術者 [Redacted]	なし

78

関西電力株式会社高浜発電所第 1 号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-13

検査年月日：令和 3 年 2 月 2 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第 1 号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-13

検査年月日：令和 3 年 2 月 2 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	Ⓔ良・一	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	Ⓔ良・一	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	Ⓔ良・一	
系統構成が完了していること。	立会/ Ⓔ記録確認	Ⓔ良・一	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-13

検査年月日：令和3年 2月 2日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象			
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 原子炉冷却系統施設 原子炉格納施設 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 蒸気タービンの附属設備 圧力低減設備その他の安全設備 ポンプ			
		別添1参照	
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統性能検査 ・運転性能検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">記録確認</div>
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-1205、T1-3-0556（その3） ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

原規規発第 2002192 号 令和 2 年 2 月 19 日変更認可分

核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るものにおいては、次の事項

4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備に係る次の事項

(2) ポンプの名称、種類、容量、揚程又は吐出圧力、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所

可搬型 (1/3)

名 称		変 更 前	変 更 後
ポンプ	種 類	送水車 (1・2号機共用) うず巻形	送水車 (1・2・3・4号機共用) 変更なし
	容 量	m ³ /h/機	
	吐 出 圧 力	MPa	

(2/3)

		変 更 前	変 更 後
ポンプ 主要寸法	最高使用圧力	MPa	
	最高使用温度	℃	
	吸 送 口 径	mm	
	吐 出 口 径	mm	
	幅	mm	
	高 さ	mm	
	車 両 全 長	mm	
	車 両 全 幅	mm	
	車 両 高 さ	mm	
	材 質	ケ ー シ ン グ	
個 数	個		

次ページへ続く

(3/3)

		変更前	変更後
ポンプ 取付箇所	原動機	ディーゼル機関	変更なし
	出力	(注1)	
	取付箇所	ポンプと同じ	
	備考		

(注1) 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備、原子炉冷却系統施設のうち蒸気タービンの附属設備及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）と兼用

(注2) 予備の明確化を行う。既工事計画書（平成30年8月6日付け原規発第1808063号にて認可）に記載の放水機3台（2台（予備1台））のうち、1台を予備とする。

(注3) 重大事故等時における使用時の値

(注4) 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（使用済燃料ピットへの注水）で使用する場合の値

(注5) 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備で使用する場合の値

(注6) 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）で使用する場合の値

(注7) 原子炉冷却系統施設のうち蒸気タービンの附属設備で使用する場合の値

(注8) 公称値

(注9) 1号機又は2号機で使用する場合の値

(注10) 3号機又は4号機で使用する場合の値

(注11) 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備（使用済燃料ピットへのスプレー）で使用する場合の値

(注12) アウトリカ最大張出時の車両全輪

(注13) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「2（予備）（1・2号機共用）」と記載

(注14) 記載の適正化を行う。既工事計画書には

と記載

と記載

関西電力株式会社
高浜発電所第1号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1610071号99

成績書管理番号：1-14

令和2年12月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-14

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第1号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和 2 年 12 月 23 日
至 令和 2 年 12 月 26 日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第299号(平成28年10月7日) 関原発第434号(平成30年 3月20日) 関原発第 46号(平成30年 4月20日) 関原発第202号(平成30年 7月 4日) 関原発第259号(平成30年 8月20日) 関原発第415号(平成30年12月 5日) 関原発第504号(平成31年 2月 1日) 関原発第512号(平成31年 2月 6日) 関原発第582号(平成31年 3月18日) 関原発第 3号(平成31年 4月 4日) 関原発第 68号(2019年 5月16日) 関原発第115号(2019年 6月24日) 関原発第204号(2019年 8月23日) 関原発第478号(2020年 1月23日) 関原発第510号(2020年 1月31日) 関原発第542号(2020年 2月26日) 関原発第609号(2020年3月24日) 関原発第 20号(2020年4月 7日) 関原発第236号(2020年8月21日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-14

検査年月日	検査結果	原子力施設検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和 2 年 12 月 23 日	良	増本 豊	茨城県原子炉 主任技術者 [Redacted] ボイラー・タービン主任技術者 [Redacted]	なし

ω

関西電力株式会社高浜発電所第 1 号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：1-14

検査年月日：令和 2 年 12 月 23 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	Ⓔ・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	Ⓔ・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	Ⓔ・—	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-14

検査年月日：令和2年12月23日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・一	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・一	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・㊦	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・一	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録
(三号検査)

成績書管理番号：1-14

検査年月日：令和2年12月23日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象			
原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 主配管 別添1及び別添2参照			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統機能検査 ・通水検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	日視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-0014 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

原子炉冷却系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの（蒸気タービンに係るものを除く。）にあつては次の事項

9 原子炉補機冷却設備に係る次の事項

(8) 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・可搬型

工事計画本文（原規規発第 1606104 号 平成 28 年 6 月 10 日 認可）

変更前	変更後						
	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	取付箇所
-	原子炉補機冷却設備 B充てん/高圧 注入ポンプ 海水排水用 配管ホース	(注1) [Redacted]	(注1) [Redacted]	(注2) [Redacted]	(注3) [Redacted]	[Redacted]	保管場所 (注8) : [Redacted] 取付箇所 : [Redacted]

7

工事計画本文 (原規規発第 1606104 号 平成 28 年 6 月 10 日 認可)

変更前	変 更 後						
	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	取付箇所
-	原子炉補機冷却設備 B余熱除去ポンプ 海水排水用 ホース	(注1)	(注1)	(注2)	(注3)	-	保管場所 (注9) : [Redacted] 取付箇所 : [Redacted]

8

工事計画本文（原規規発第 1606104 号 平成 28 年 6 月 10 日 認可）

変更前		変更後					
名称		最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	取付箇所
-	原子炉補機冷却設備	格納容器雰囲気ガス	(注1)	(注1)	(注2)	(注3)	保管場所 (注9): [Redacted]
		サンプリング冷却水 屋外排水用 [Redacted] フレキシブルホース	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]		取付箇所: [Redacted]

(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) メーカーにて規定する呼び径を示す。

(注3) メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

(注4) 当該ホース [Redacted] 以上を保管する。

(注5) 本数については当該ルートで最長に敷設した場合を記載 ([Redacted])

(注6) 当該ホース [Redacted] 以上を保管する。

6

工事計画本文（原規規発第 1606104 号 平成 28 年 6 月 10 日 認可）

(注7) 本数については当該ルートで最長に敷設した場合を記載

(注8) 当該ホース本数 () 以上を保管する。

(注9) 当該ホース本数 () 以上を保管する。

(注10) 公称値

(注11) 当該マニホール台 () 以上を保管する。



工事計画認可申請	第3-2-44図
高浜発電所第1号機	
原子炉冷却系配管の系統図 (原子炉補修機修設機)(10/12) (重事故等対応設備)	
関西電力株式会社	

工事計画認可申請	第3-2-40図
高浜発電所	第1号機
原子炉冷却系統施設の系統図 (原子炉補機冷却設備)(6/12) (重大事故等対処設備)	
関西電力株式会社	

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-14

検査年月日	検査結果	原子力施設検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
<p>令和2年 12月25日</p>	<p>良</p>	<p>山形 英男 増本 豊</p>	<p>検査立会責任者 主任技術者 <div style="background-color: black; width: 100px; height: 20px; margin: 5px 0;"></div> 主任技術者 <div style="background-color: black; width: 100px; height: 20px; margin: 5px 0;"></div> </p>	<p>なし</p>

13

関西電力株式会社高浜発電所第 1 号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-14

検査年月日：令和 2 年 12 月 25 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎ 良 ー	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎ 良 ー	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎ 良 ー	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機、使用前検査記録
(三号検査)

成績書管理番号：1-14

検査年月日：令和2年12月25日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良◎ ー	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良◎ ー	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良◎ ー	
系統構成が完了していること。	立会/ ◎記録確認◎	◎良◎ ー	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録
(三号検査)

成績書管理番号：1-14

検査年月日：令和2年12月25日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象			
原子炉冷却系統施設 原子炉補機冷却設備 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備 ポンプ、主配管			
		別添1及び別添2参照	
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統機能検査 ・通水検査 系統性能検査 ・運転性能検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-0122、 T1-3-0550（その1）、 T1-3-0550（その2） ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

設 備 概 要

工事計画本文（原規規発第1606104号（平成28年6月10日認可））

原子炉冷却系統施設

9 原子炉補機冷却設備に係る次の事項

（8）主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・常設

（次ページより記載）

17

別添1（1/18）
（令和2年12月25日）

変更前					変更後							
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
									(注3)	(注3, 49)	STPT370	
									34.0	3.4		
									(注3)	(注3)		
						B使用済 燃料ピットクーラ 供給配管分岐点 ～ 格納容器雰囲気 ガスサンプル リング冷却器 ～ 格納容器雰囲気 ガスサンプル リング冷却器 出口配管分岐点 ～ 弁(1V-45204) 下流側取合点			34.0	3.4	STPT370	
						原子炉補機冷却設備			34.0	3.4		
					(注4)		(注4)	1.2	95	34.0	3.4	STPT370
									34.0	3.4		
									34.0	3.4		
									(注3)	(注3)		
									34.0	3.4	STPT370	
									34.0	3.4		
									34.0	3.4		

別添1(2/18)
(令和2年12月25日)

19

変更前					変更後						
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
						可搬型原子炉 補機冷却水 循環ポンプ 入口配管分岐点 ～ 可搬型原子炉 補機冷却水 循環ポンプ 入口接続点	(注4) 0.33	(注4) 40	(注3) 34.0	(注3, 49) 3.4	STPT370

原子炉補機冷却設備

別添1(3/18)
(令和2年12月25日)

変更前					変更後						
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
						可搬型原子炉 補機冷却水 循環ポンプ 出口接続点 ～ 可搬型原子炉 補機冷却水 循環ポンプ 出口配管合流点	(注4) 0.33	(注4) 40	(注3) 34.0	(注3, 49) 3.4	STPT370

原子炉補機冷却設備

変更前					変更後						
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(℃)	(mm)	(mm)			(MPa)	(℃)	(mm)	(mm)	
						原子炉補機冷却設備			(注3)	(注3)	
						Aa、Ab 海水ストレーナ			267.4	9.3	
						海水供給接続口	(注4)	(注4)	/	/	
						～	1.2	40	-	-	STPT370
						Aa、Ab 海水ストレーナ			/	/	
									267.4	9.3	

(注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水クーラA、B、C～ティ (20×20×16)」と記載

(注2) SI単位に換算したものである。

(注3) 公称値

(注4) 重大事故等時における使用時の値

(注5) 本設備は既存の設備である。

(注6) エルボを示す。

(注7) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水クーラ出口連絡管」と記載

(注8) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ヘッドA、B：ティ (20×20×16) ～レジャーサ (20×14)」と記載

(注9) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (20×14) ～内部スプレクーラ」と記載

(注10) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ヘッドC：ティ (16×16×16) ～レジャーサ (16×12)」と記載

(注11) 当該ラインについては、主配管に該当しないため記載の適正化を行う。

(注12) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (16×12) ～ティ (20×20×16)」と記載

- (注13) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ヘッダA、B：内部スプレクーラ～レジューサ（20×14）」と記載
- (注14) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ（20×14）～ティ（20×20×16）」と記載
- (注15) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水ポンプ入口連絡管」と記載
- (注16) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ティ（20×20×16）～1次系冷却水ポンプA、B、C、D」と記載
- (注17) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水ポンプ出口レジューサ（16×12）～ティ（20×20×16）」と記載
- (注18) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水ポンプ出口連絡管」と記載
- (注19) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水ポンプA、D出口ティ（20×20×16）～1次系冷却水クーラA、C入口ティ（20×20×16）」と記載
- (注20) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水クーラ入口連絡管」と記載
- (注21) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ティ（20×20×16）～1次系冷却水クーラA、C」と記載
- (注22) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ（20×16）～1次系冷却水クーラB」と記載
- (注23) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「母管分岐点～余熱除去クーラ（RH-2）A、B」と記載
- (注24) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去クーラ（RH-2）A、B～戻母管合流点」と記載
- (注25) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「母管分岐点～冷却材ポンプ（RC-3）A、B、Cへの分岐点」と記載
- (注26) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「戻管合流点～レジューサ（8×6）」と記載
- (注27) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「戻管合流点～弁（1-FCV-1241）」と記載
- (注28) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水ポンプ入口分岐点～弁（1-5105A、B）」と記載
- (注29) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（1-5105A、B）～1次系冷却水タンク」と記載
- (注30) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系機器冷却水母管分岐点～燃料ピットクーラ」と記載
- (注31) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料ピットクーラ～1次系機器冷却水母管合流点」と記載
- (注32) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系機器冷却水母管分岐点～余剰抽出水クーラ」と記載
- (注33) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余剰抽出水クーラ～1次系冷却水戻母管合流点」と記載
- (注34) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系機器冷却水母管分岐点～余熱除去ポンプおよび内部スプレポンプ室空調装置入

ロレジューサ (3×2) 」と記載

- (注35) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (3×2) ～1次系機器冷却水戻り母管合流点」と記載
- (注36) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系機器冷却水母管分岐点～レジューサ (4×2) 」と記載
- (注37) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (4×2) ～1次系機器冷却水母管合流点」と記載
- (注38) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去ポンプおよび内部スプレポンプ室空調装置冷却ライン分岐点～レジューサ (2×1 1/2) 」と記載
- (注39) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去ポンプ冷却ライン分岐点～余熱除去ポンプ」と記載
- (注40) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- (注41) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (2×1 1/2) ～レジューサ (1×1/2) 」と記載
- (注42) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (1×1/2) ～内部スプレポンプ」と記載
- (注43) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内部スプレポンプ～レジューサ (1×1/2) 」と記載
- (注44) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (1×1/2) ～レジューサ (2×1 1/2) 」と記載
- (注45) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「余熱除去ポンプ～余熱除去ポンプおよび内部スプレポンプ冷却もどりライン合流点」と記載
- (注46) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (2×1 1/2) ～レジューサ (3×2) 」及び「レジューサ (3×2) ～余熱除去ポンプおよび内部スプレポンプ室空調装置冷却ライン合流点」と記載
- (注47) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てんポンプ室空調装置冷却ライン分岐点～充てん／高圧注入ポンプ分岐点」と記載
- (注48) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てん／高圧注入ポンプ入口分岐点～充てん／高圧注入ポンプ」と記載
- (注49) エルボについては管と同等以上の厚さのものを選定する。
- (注50) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てん／高圧注入ポンプ～充てん／高圧注入ポンプ出口分岐点」と記載
- (注51) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てん／高圧注入ポンプ出口分岐点～充てんポンプ室空調装置冷却もどりライン合流点」と記載
- (注52) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系機器冷却水母管分岐点～計器用コンプレッサパッケージ」と記載

- (注53) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「計器用コンプレッサパッケージ～1次系機器冷却水戻り母管合流点」と記載
- (注54) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系機器冷却水母管分岐点～レジューサ (12×6) および (12×8)」と記載
- (注55) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (12×6) ～レジューサ (6×4)」と記載
- (注56) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (6×4) ～レジューサ (4×2)」と記載
- (注57) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「格納容器循環空調装置～レジューサ (4×2) および合流点」と記載
- (注58) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (4×2) および分岐点～格納容器循環空調装置」と記載
- (注59) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (4×2) ～レジューサ (6×4) 及び合流点」と記載
- (注60) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (6×4) ～レジューサ (12×6)」と記載
- (注61) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (12×6) および (12×8) ～1次系機器冷却水戻り母管合流点」と記載
- (注62) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「海水ポンプ～中間建屋入口」と記載
- (注63) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SS41」と記載
- (注64) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「中間建屋入口～レジューサ (36×30)」と記載
- (注65) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (36×30) ～ティ (36×36×30)」と記載
- (注66) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「海水母管分岐点～1次系冷却水クーラ」と記載
- (注67) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「1次系冷却水クーラ～海水戻り母管分岐点」と記載
- (注68) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ティ (36×36×24) ～中間建屋出口 (埋設部を除く)」と記載
- (注69) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「海水母管分岐点～レジューサ (10×8)」と記載
- (注70) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (10×8) ～ディーゼル発電機」と記載
- (注71) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ディーゼル発電機～レジューサ (12×8)」と記載
- (注72) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (12×8) ～レジューサ (16×12)」と記載
- (注73) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (16×12) ～海水戻り母管合流点」と記載
- (注74) STPT38同等材 (STPT370) への取替えを行う。
- (注75) STPG42同等材 (STPG410) への取替えを行う。
- (注76) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPG42」と記載
- (注77) 本設備は記載の適正化のみを行うものであり、手続き対象外である。

(令和2年12月25日)

・可搬型

(次ページより記載)

26

変更前	変更後						
	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	取付箇所
—	原子炉補機冷却設備 可搬型原子炉補機 冷却水循環ポンプ 吸水用 フレキシブルホース	(注1)	(注1)	(注2)	(注3)	—	保管場所 (注9) : [Redacted] 取付箇所 : [Redacted]

別添1 (10/18)
(令和2年12月25日)

変更前	変更後						
	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	取付箇所
-	原子炉補機冷却設備 可搬型原子炉補機 冷却水循環ポンプ 送水用 フレキシブルホース	(注1)	(注1)	(注2)	(注3)	-	保管場所 (注9): [Redacted] 取付箇所: [Redacted]

変更前	変更後						
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	取付箇所	
原子炉補機冷却設備	格納容器雰囲気ガス	(注1)	(注1)	(注2)	(注3)	保管場所 (注9): [Redacted]	
	サンプリング冷却水 屋外排水用 [Redacted] m フレキシブルホース	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	取付箇所: [Redacted]	

(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) メーカーにて規定する呼び径を示す。

(注3) メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

(注4) 当該ホース [Redacted] 本 ([Redacted]) 以上を保管する。

(注5) 本数については当該ルートで最長に敷設した場合を記載 ([Redacted])

(注6) 当該ホース [Redacted] 本 ([Redacted]) 以上を保管する。

別添1 (12/18)
(令和2年12月25日)

(注7) 本数については当該ルートで最長に敷設した場合を記載 ([REDACTED])

(注8) 当該ホース本数 ([REDACTED]) 以上を保管する。

(注9) 当該ホース本数 ([REDACTED]) 以上を保管する。

(注10) 公称値

(注11) 当該マニホールト台 ([REDACTED]) 以上を保管する。

工事計画本文

(別表第二及び工認ガイド改正に伴う書類の提出 平成30年2月7日)

原子炉冷却系統施設

9 原子炉補機冷却設備に係る次の事項

(9) 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・可搬型

(次ページより記載)

31

名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	個 数	取付箇所
可搬型 原子炉補機 、冷却水 循環ポンプ 吸水用 フレキシブル ホース	(注1)	(注1)	(注2)	(注3)			保管場所：  取付箇所： 

原子炉補機冷却設備

別添1 (15/18)
 (令和2年12月25日)

名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	個 数	取付箇所
原子炉補機冷却設備	可搬型 原子炉補機 冷却水 循環ポンプ 送水用	(注1)	(注1)	(注2)	(注3)		保管場所： [Redacted]
	フレキシブル ホース						取付箇所： [Redacted]

別添1 (16/18)
(令和2年12月25日)

33

名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	個 数	取付箇所
原子炉補機冷却設備	格納容器						保管場所： [Redacted]
	雰囲気ガス サンプリング	(注1)	(注1)	(注2)	(注3)	[Redacted]	取付箇所： [Redacted]
	冷却水	[Redacted]	[Redacted]	-	[Redacted]		
	屋外排水用	[Redacted]	[Redacted]				
	フレキシブル ホース						

(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) メーカーにて規定する呼び径を示す。

(注3) メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

(注4) [Redacted]本 [Redacted]本 [Redacted]本に1・2号機共用の予備各[Redacted]本を加えた数量

(注5) 最長に敷設した場合の本数 ([Redacted]本、[Redacted]本 [Redacted]本×[Redacted]セット)

(注6) [Redacted]本 [Redacted]本 [Redacted]本に1・2号機共用の予備各1本を加えた数量

(注7) 最長に敷設した場合の本数 [Redacted]本 [Redacted]本)

(注8) 公称値

別添1 (17/18)
(令和2年12月25日)

・可搬型

			変更前	変更後	
名称				可搬型原子炉補機冷却水循環ポンプ	
ポンプ	種類	—		容積式	
	容量 ^(注1)	m ³ /h/個		1.0 以上 (1.0 ^(注2))	
	揚程 ^(注1)	m		10 以上 (10 ^(注2))	
	最高使用圧力 ^(注1)	MPa		0.33	
	最高使用温度 ^(注1)	℃		40	
	主要寸法	吸込口径	mm		18.631 ^(注2,3)
		吐出口径	mm		18.631 ^(注2,3)
		たて	mm		100 ^(注2)
		横	mm		173.5 ^(注2)
		高さ	mm		115.5 ^(注2)
	材料	ケーシング	—		SCS13
	個数	—			1 (予備1)
	取付箇所	—			
原動機	種類	—		三相誘導電動機	
	出力	kW/個		0.4	
	個数	—		1 (予備1)	
	取付箇所	—		ポンプと同じ	

(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) 公称値

(注3) ネジ接続。記載内容は、JISB0203による。

核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るものにあつては、次の事項

4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備に係る次の事項

- (2) ポンプの名称、種類、容量、揚程又は吐出圧力、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所

・可搬型

(1/2)

		変更前	変更後	
名称			(注1) 大容量ポンプ(放水砲用) (1・2号機共用)	
ポンプ	種類	—	[Redacted]	
	容量 (注2)	m ³ /h/個		
	吐出圧力 (注2)	MPa		
	最高使用圧力 (注2)	MPa		
	最高使用温度 (注2)	℃		
	主要寸法	吸込口径		mm
		吐出口径		mm
		たて		mm
		横		mm
		高さ		mm
		車両全長		mm
		車両全幅		mm
	材料	ケーシング		—
個数		—		
取付箇所		—		

次ページへ続く

(2/2)

			変更前	変更後
原 動 機	種	類	—	[Redacted]
	出	力	kW/個	
	個	数	—	
	取	付	箇	
[Redacted]				

核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るものについては、次の事項

4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備に係る次の事項

(7) 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・可搬型

変更前	変更後					
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	取付箇所
使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 大容量ポンプ 入口ライン 放水管用 ホース (1・2号機共用)	(注2)	(注2)	(注3)	(注4)		保管場所 (注5)
						取付箇所:

37

変更後						
変更前	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
	(注1) 大容量ポンプ 出口ライン 放水砲用 [] ホース (1・2号機共用)	(注2)	(注4)	(注3)	(注5)	
	使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備					
						保管場所 (注7): []
						取付箇所: []

以下の設備の予備は、既存の3号機設備（3号機及び4号機共用）であり、本工事計画で1号機、2号機、3号機及び4号機共用とする。

変更前	変更後						
	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	取付箇所
使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	(注1, 9) 放水砲 (1・2号機共用)	(注2)	(注2)	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	保管場所 (注1, 12) : [REDACTED]
		[REDACTED]	[REDACTED]				取付箇所 : [REDACTED]

39

変更前		変更後					
名称		最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	取付箇所
使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	スプレイヘッド	(注1)	(注2)	(注3)			保管場所 ^(注4) ： [Redacted]
							取付箇所： [Redacted]

- (注1) 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）と兼用
- (注2) 重大事故等時における使用時の値
- (注3) メーカーにて規定する呼び径を示す。
- (注4) メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。
- (注5) 当該ホース 本（ [Redacted] ）以上を保管する。
- (注6) 本数については当該ルートで最長に敷設した場合の記載（20m：1本、10m：2本、5m：1本×2セット）
- (注7) 当該ホース 本（ [Redacted] ）以上を保管する。
- (注8) 本数については当該ルートで最長に敷設した場合の記載（ [Redacted] ）
- (注9) 放水砲寸法（公称値）：たて 3,800mm、横 2,200mm、高さ 2,090mm

(注10) 公称値

(注11) 当該設備2台（必要台数）以上を保管する。

(注12) 1・2・3・4号機共用の予備は、3号機設備である。

(注13) 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備、原子炉冷却系統施設のうち蒸気タービンの附属設備及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）と兼用

(注14) 当該ホース本（ ）以上を保管する。

(注15) 本数については当該ルートで最長に敷設した場合の記載

(注16) 当該ホース本（ ）以上を保管する。

(注17) スプレッドヘッド本体の材料

(注18) 当該設備台（ ）以上を保管する。

原子炉冷却系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの(蒸気タービンに係るものを除く。)にあつては、次の事項

9 原子炉補機冷却設備に係る次の事項

- (3) ポンプの名称、種類、容量、揚程又は吐出圧力、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所

・可搬型

			変更前	変更後	
名 称				大容量ポンプ(1・2号機共用)	
ポンプ	種 類	—		うず巻形	
	容 量 ^(注1)	m ³ /h/個			
	吐 出 圧 力 ^(注1)	MPa			
	最 高 使 用 圧 力 ^(注1)	MPa		1.2	
	最 高 使 用 温 度 ^(注1)	℃		40	
	主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm		
		吐 出 口 径	mm		
		た て	mm		
		横	mm		
		高 さ	mm		
		車 両 全 長	mm		
		車 両 全 幅	mm		
	材 料	ケ ー シ ン グ	—		
		個 数	—		2
	取 付 箇 所	—			
原 動 機	種 類	—		ディーゼル機関	
	出 力	kW/個			
	個 数	—		2	
	取 付 箇 所	—			

次ページへ続く



以下の設備は、既存の3号機設備（3号機及び4号機共用）であり、本工事計画で1号機設備（1号機、2号機、3号機及び4号機共用）とする。

・可搬型

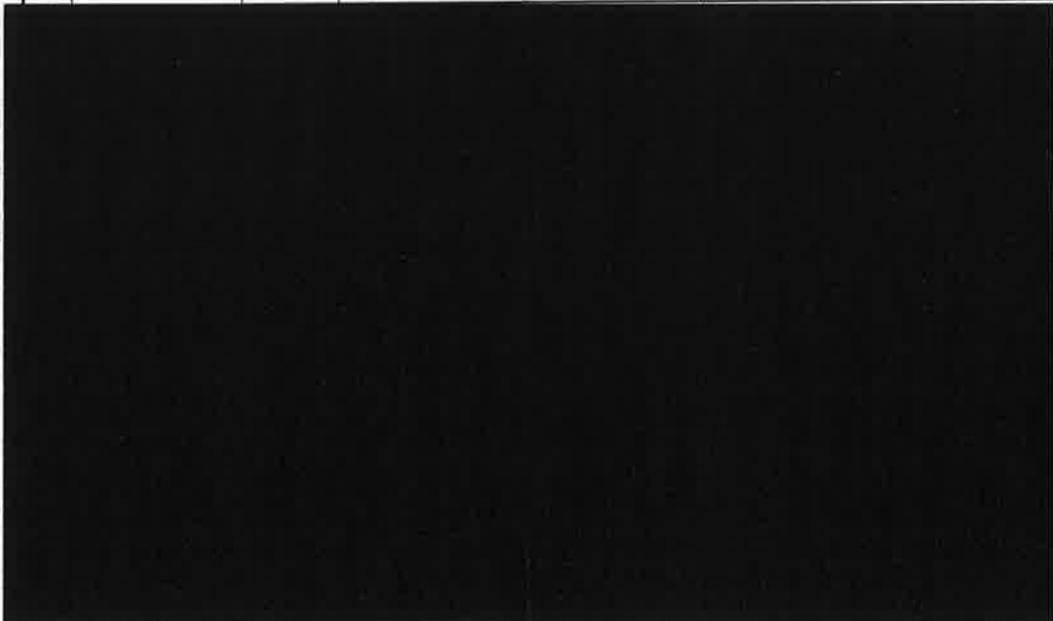
(1/2)

			変 更 前	変 更 後
名 称			大容量ポンプ (3号機設備、 3～4号機共用)	大容量ポンプ (1・2・3・4号機共用)
種 類	—		うず巻形	変更なし
容 量 (注2)	m ³ /h/個			
吐 出 圧 力 (注2)	MPa			
最高使用圧力 (注2)	MPa		1.2	
最高使用温度 (注2)	℃		40	
ポンプ 主要寸法	吸 込 口 径	mm		
	吐 出 口 径	mm		
	た て	mm		
	横	mm		
	高 さ	mm		
	車 両 全 長	mm		
	車 両 全 幅	mm		
	車 両 高 さ	mm		
材 料	ケーシング	—		
個 数	—		(予備1 (注3))	

次ページへ続く

(2/2)

			変更前	変更後
水 ポン プ	取付箇所	—	[Redacted]	
	種 類	—		
原 動 機	出 力	kW/個	[Redacted]	変更なし
	個 数	—	(予備機 (RES))	
	取付箇所	—	[Redacted]	



原子炉冷却系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの（蒸気タービンに係るものを除く。）にあつては、次の事項

9 原子炉補機冷却設備に係る次の事項

(8) 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、材料及び取付箇所

・可機型

変更前		変更後					取付箇所
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料		
原子炉補機冷却設備	大容量ポンプ	(注1)	(注1)	(注2)	(注3)	保管場所 (注4) : [Redacted]	
	入口ライン送水用 [Redacted]ホース (1・2号機共用)	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]		取付箇所 : [Redacted]

46

変更前		変更後					取付箇所
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	取付箇所	
原子炉補機冷却設備	大容量ポンプ	(注1)	(注1)	(注2)	(注3)	[Redacted]	保管場所 (注6): [Redacted]
	出口ライン送水用 ホース	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]		取付箇所: [Redacted]

47

変更前		変更後					
名称		最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	取付箇所
-	原子炉補機冷却設備	格納容器雰囲気ガス	(注1)	(注1)	(注2)	(注3)	保管場所 (注9): [Redacted]
		サンプリング冷却水 屋外排水用 [Redacted] mm フレキシブルホース	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	取付箇所: [Redacted]

(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) メーカーにて規定する呼び径を示す。

(注3) メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

(注4) 当該ホース 本 ([Redacted]) 以上を保管する。

(注5) 本数については当該ルートで最長に敷設した場合を記載 ([Redacted])

(注6) 当該ホース 本 ([Redacted]) (数量) 以上を保管する。

(注7) 本数については当該ルートで最長に敷設した場合を記載 ([Redacted])

(注8) 当該ホース 本 ([Redacted]) 以上を保管する。

(注9) 当該ホース 本 ([Redacted]) 以上を保管する。

(注10) 公称値

(注11) 当該マニホール 台 ([Redacted]) 以上を保管する。

軽微変更届出 関原発第121号 平成30年5月24日

49

変更前							変更後								
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	(注12) 個数	取付箇所	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所
原子炉補機冷却設備 大容量 ポンプ 出口 ライン 送水用 ホース	(注1)	(注1)	(注2)	(注3)			保管場所： [Redacted]	原子炉補機冷却設備	変更なし						保管場所： [Redacted]
							(次頁へ続く)								(次頁へ続く)

50

変更前							変更後							
名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	(注12) 材料 個数	(注12) 取付箇所	名称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所
(前頁からの続き)						(前頁からの続き)	(前頁からの続き)						(前頁からの続き)	
大容量 ポンプ 出口 ライン 送水用 ホース 原子炉補機冷却設備						取付箇所：	原子炉補機冷却設備						取付箇所：	
														

51

変更前								変更後								
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	(注12) 個数	取付箇所	(注12)	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	個数	取付箇所
	圧力 (MPa)	温度 (℃)								圧力 (MPa)	温度 (℃)					
原子炉補機冷却設備	格納容器						保管場所： [REDACTED]		原子炉補機冷却設備							変更なし
	雰囲気ガス															
	サンプリング	(注1)	(注1)	(注2)	(注3)		取付箇所： [REDACTED]									
	冷却水															
	屋外排水用															
	フレキシブルホース															

(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) メーカーにて規定する呼び径を示す。

(注3) メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

(注4) 当該ホース [REDACTED]) 以上を保管する。

(注5) 本数については当該ルートで最長に敷設した場合を記載 [REDACTED])

(注8) 当該ホーナス() 以上を保管する。

(注9) 当該ホーナス() 以上を保管する。

(注10) 公称値

(注11) 当該マニホールト() 以上を保管する。

(注12) 実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則改正に係る適正化

(注13) () に1・2号機共用の予備各1本を加えた数量

(注14) 最長に敷設した場合の本数 ()

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-14

検査年月日	検査結果	原子力施設検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
<p>令和2年 12月26日</p>	<p>良</p>	<p>山形 英男 増本 豊</p>	<p>奈良 用 原子力 主任技術者  ボイラー-タービン 主任技術者 </p>	<p>なし</p>

53

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-14

検査年月日：令和2年12月26日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良 —	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良 —	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良 —	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録
(三号検査)

成績書管理番号：1-14

検査年月日：令和2年12月26日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会 記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-14

検査年月日：令和2年12月26日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象			
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備 ポンプ、主配管			
別添1参照			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統機能検査 ・放水検査 系統性能検査 ・運転性能検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">良</div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">目視</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">記録確認</div>
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-0550（その2） ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録
 (三号検査)
 (立会検査)

成績書管理番号：1-12

検査年月日：令和2年12月26日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
可搬型 ・放水砲 ・主配管 ・大容量ポンプ (放水砲用)	系統機能検査 ・放水検査	—	良	目視*2
	系統性能検査 ・運転性能検査*1	容量 (m ³ /h/個) : [黒塗り] 吐出圧力 (MPa) : [黒塗り]	良	
備考 *1 判定基準： 容量 1320 m ³ /h/個以上、吐出圧力 1.00 MPa 以上 *2 別添2の範囲について確認				

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録
検査用計器一覧表

成績書管理番号：1-14

検査年月日：令和2年12月26日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
運転性能検査	圧力計	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	2019. 6. 5	
					2022. 6. 4	
運転性能検査	圧力計				2019. 6. 5	
					2022. 6. 4	
運転性能検査	流量計				2020. 12. 18	
					2021. 12. 31	
運転性能検査	流量計				2020. 11. 13	
					2021. 11. 30	
以下余白						

核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るものにあつては、次の事項

4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備に係る次の事項

- (2) ポンプの名称、種類、容量、揚程又は吐出圧力、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所

・可搬型

(1/2)

		変更前	変更後	
名 称			(注1) 大容量ポンプ(放水砲用) (1・2号機共用)	
ポンプ	種 類	-		
	容 量 (注2)	m ³ /h/個		
	吐 出 圧 力 (注2)	MPa		
	最 高 使 用 圧 力 (注2)	MPa		
	最 高 使 用 温 度 (注2)	℃		
	主 要 寸 法	吸 込 口 径		mm
		吐 出 口 径		mm
		た て		mm
		横		mm
		高 さ		mm
		車 両 全 長		mm
		車 両 全 幅		mm
	車 両 高 さ	mm		
	材 料	ケーシング		
個 数	-			
取 付 箇 所	-			

次ページへ続く

(2/2)

				変更前	変更後
原 動 機	種	類	—	—	[Redacted]
	出	力	kW/個		
	個	数	—		
	取	付	箇		
[Redacted]					

原子炉冷却系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの(蒸気タービンに係るものを除く。)にあつては、次の事項

9 原子炉補機冷却設備に係る次の事項

- (3) ポンプの名称、種類、容量、揚程又は吐出圧力、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所

以下の設備は、既存の3号機設備(3号機及び4号機共用)であり、本工事計画で1号機設備(1号機、2号機、3号機及び4号機共用)とする。

・可搬型

(1/2)

			変更前	変更後	
ポンプ	名称		大容量ポンプ (3号機設備、 3・4号機共用)	大容量ポンプ (1・2・3・4号機共用)	
	種類	—	うず巻形	変更なし	
	容量 ^(注1)	m ³ /h/個			
	吐出圧力 ^(注2)	MPa			
	最高使用圧力 ^(注2)	MPa	1.2		
	最高使用温度 ^(注2)	℃	40		
	主要寸法	吸込口径	mm		
		吐出口径	mm		
		たて	mm		
		横	mm		
		高さ	mm		
		車両全長	mm		
		車両全幅	mm		
	材料	ケーシング	—		
個数		—	(予備) ^(注3)		

次ページへ続く

(2/2)

			変更前	変更後
ポンプ	取付箇所	—	[Redacted]	
	種類	—		
原動機	出力	kW/個	[Redacted]	
	個数	—	(予備1 (TEXT))	
	取付箇所	—	[Redacted]	
[Redacted]				

核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るものにあつては、次の事項

4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備に係る次の事項

(7) 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・可搬型

変更前	変更後					
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	取付箇所
使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 大容量ポンプ 入口ライン 放水砲用 ホース (1・2号機共用)	(注2)	(注2)	(注3)	(注4)		保管場所(注5): [Redacted]
	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	取付箇所: [Redacted]

63

変更前		変更後					取付箇所
名	称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	
使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	大容量ポンプ	(注2)	(注3)	(注3)	(注4)	[Redacted]	保管場所 (注7) : [Redacted]
	出口ライン 放水砲用 ホース (1・2号機共用)	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]		[Redacted]

以下の設備の予備は、既存の3号機設備（3号機及び4号機共用）であり、本工事計画で1号機、2号機、3号機及び4号機共用とする。

変更前	変更後					
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	取付箇所
使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	(注1,9)					保管場所 (注11,12) :
	放水砲 (1・2号機共用)	(注2)	(注2)			取付箇所 :

65

99

変更前		変更後					
使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	取付箇所
		スプレイヘッド	(注2)	(注2)	(注3)		

(注1) 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）と兼用

(注2) 重大事故等時における使用時の値

(注3) メーカーにて規定する呼び径を示す。

(注4) メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

(注5) 当該ホース 本 [Redacted] 以上を保管する。

(注6) 本数については当該ルートで最長に敷設した場合の記載 ([Redacted])

(注7) 当該ホース 本 ([Redacted]) 以上を保管する。

(注8) 本数については当該ルートで最長に敷設した場合の記載 ([Redacted])

(注9) 放水砲寸法（公称値） : [Redacted]

(注10) 公称値

(注11) 当該設備2台(必要台数)以上を保管する。

(注12) 1・2・3・4号機共用の予備は、3号機設備である。

(注13) 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備、原子炉冷却系統施設のうち蒸気タービンの附属設備及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備(格納容器安全設備)と兼用

(注14) 当該ホース(本数)以上を保管する。

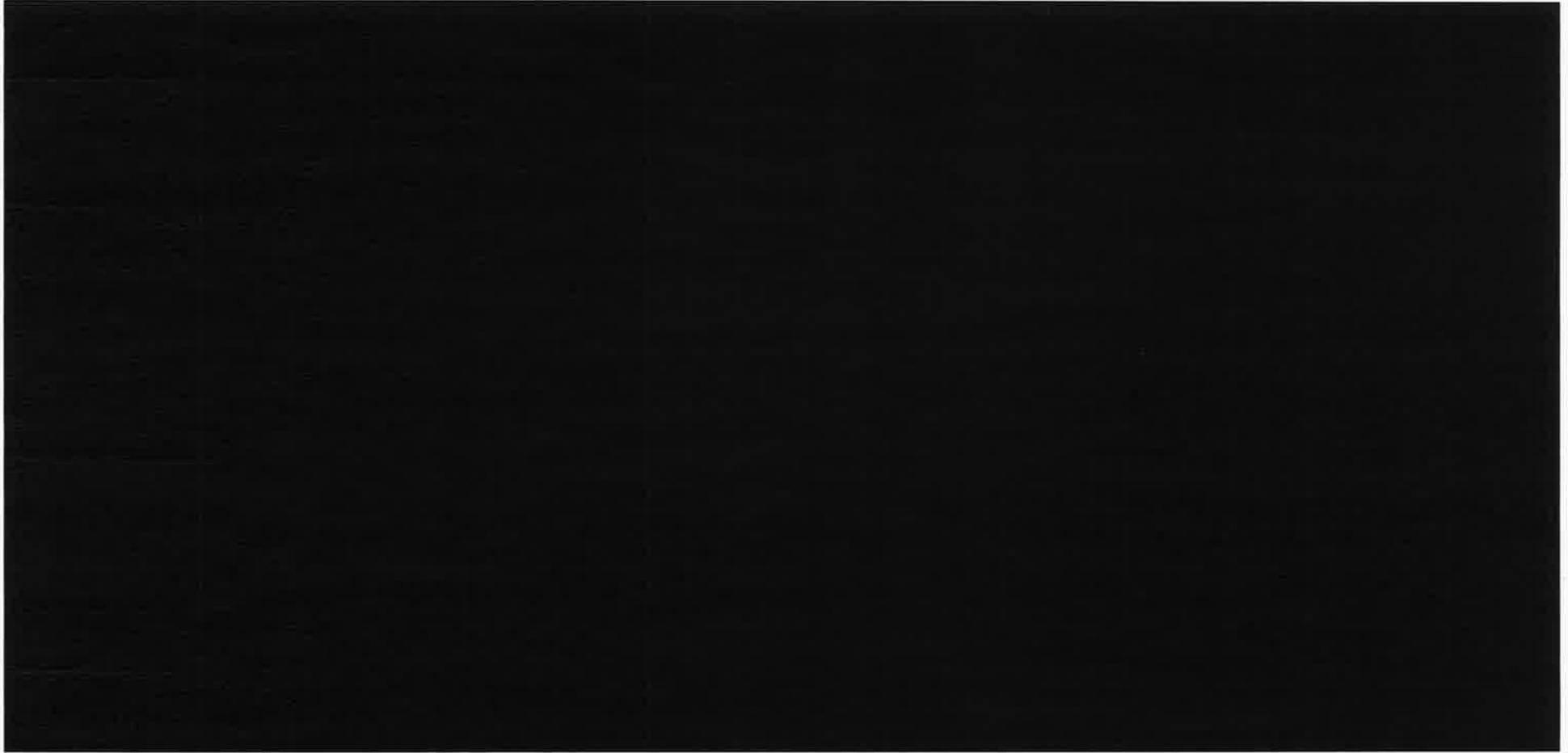
(注15) 本数については当該ルートで最長に敷設した場合の記載

(注16) 当該ホース(本数)以上を保管する。

(注17) スプレッドヘッド本体の材料

(注18) 当該設備(台数)以上を保管する。

高浜1号機 1-14 大容量ポンプ(放水砲)他 検査対象箇所(立会)





本ページは個人情報です

関西電力株式会社
高浜発電所第1号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1610071号99

成績書管理番号：1-15

令和3年 / 月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-15

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第1号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和 2 年 10 月 16 日
至 令和 3 年 1 月 13 日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第299号(平成28年10月7日) 関原発第434号(平成30年 3月20日) 関原発第 46号(平成30年 4月20日) 関原発第202号(平成30年 7月 4日) 関原発第259号(平成30年 8月20日) 関原発第415号(平成30年12月 5日) 関原発第504号(平成31年 2月 1日) 関原発第512号(平成31年 2月 6日) 関原発第582号(平成31年 3月18日) 関原発第 3号(平成31年 4月 4日) 関原発第 68号(2019年 5月16日) 関原発第115号(2019年 6月24日) 関原発第204号(2019年 8月23日) 関原発第478号(2020年 1月23日) 関原発第510号(2020年 1月31日) 関原発第542号(2020年 2月26日) 関原発第609号(2020年3月24日) 関原発第 20号(2020年4月 7日) 関原発第236号(2020年8月21日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号: 持¹⁻¹⁵

検査年月日	検査結果	原子力施設検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和 2 年 10 月 16 日	良	福富 晋一	奈良原 亨 主任技術者 [Redacted] 松原 一之丞 主任技術者 [Redacted]	なし

w

関西電力株式会社高浜発電所第 1 号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：1-15

検査年月日：令和 2 年 10 月 16 日

検査場所：関西電力（株）高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・－	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・－	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・－	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-15

検査年月日：令和 2 年 10 月 16 日

検査場所：関西電力(株)高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・一	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・一	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・一	
系統構成が完了していること。	立会 記録確認	良・一	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-15

検査年月日：令和 2 年 10 月 16 日

検査場所：関西電力(株)高浜発電所

検査結果

検査対象			
原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 主配管 別添1参照			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統機能検査 ・通水検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;"> 目視 </div> 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-0005 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録
 (三号検査)
 (立会検査)

成績書管理番号：1-15

検査年月日：令和 2 年 10 月 16 日

検査場所：関西電力(株)高浜発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
主配管※	系統機能検査 ・通水検査	—	良	目視
備考 ※対象範囲は別添2参照(燃料取替用水タンク出口配管分岐点及びB電動補助給水ポンプ入口配管分岐点～原子炉下部キャビティ注水ポンプ及び恒設代替低圧注水ポンプ、原子炉下部キャビティ注水ポンプ～A内部スプレクーラ出口配管合流点、内部スプレクーラ出口テストライン分岐点～弁(1MOV-6496A、B)～燃料取替用水タンク)				

工事計画本文 (原規規発第 1606104 号 平成 28 年 6 月 10 日 認可)

原子炉冷却系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの (蒸気タービンに係るものを除く。) にあつては次の事項

7 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備に係る次の事項

(7) 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・常設

と

変更前					変更後						
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)	
						(注6)			(注3)	(注3, 37)	
						燃料取替用水			267.4	9.3	SUS304TP
						タンク			(注3)	(注3, 37)	
						出口配管分岐点			355.6	11.1	SUS304TP
						及び			(注3)	(注3)	
						B電動補助			267.4	9.3	SUS304TP
						給水ポンプ			/	/	
						入口配管分岐点	(注14)	(注14)	165.2	7.1	SUS304TP
						～	0	40	(注3)	(注3)	
						原子炉下部			355.6	11.1	SUS304TP
						キャビティ			/	/	
						注水ポンプ			267.4	9.3	SUS304TP
						及び			(注3)	(注3)	
						恒設代替低圧			/	/	
						注水ポンプ			-	-	SUS304TP
									/	/	
									267.4	9.3	SUS304TP

非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備

(次ページに続く)

別添1 (2/13)
(平成40年10月6日)

変更前					変更後						
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)	
						(注66)			(注3)	(注3, 37)	
						燃料取替用水			165.2	7.1	SUS304TP
						タンク			(注3)	(注3, 37)	
						出口配管分岐点			216.3	8.2	SUS304TP
						及び			(注3)	(注3, 37)	
						B電動補助			267.4	9.3	SUS304TP
						給水ポンプ			(注3)	(注3, 37)	
						入口配管分岐点	(注14)	(注14)	355.6	11.1	SUS304TP
						～	0	95	(注3)	(注3)	
						原子炉下部			267.1	9.3	
						キャビティ			／	／	SUS304TP
						注水ポンプ			165.2	7.1	
						及び					
						恒設代替低圧					
						注水ポンプ					

非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備

(次ページに続く)

変更前					変更後						
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
						(注66) 燃料取替用水 タンク 出口配管分岐点 及び B電動補助 給水ポンプ 人口配管分岐点 ～ 原子炉下部 キャビティ 注水ポンプ 及び 恒設代替低圧 注水ポンプ	(注14) 0	(注14) 95	(注3) 355.6 / 216.3	(注3) 11.1 / 8.2	SUS304TP
					非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備			(注3) 355.6 / 355.6 / 267.4	(注3) 11.1 / 11.1 / 9.3	SUS304TP	

別添1 (4/13)
(令和2年10月6日)

変更前					変更後							
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	
	圧力	温度					圧力	温度				
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)		
						(注66)			(注3)	(注3, 37)	SUS304TP	
									(注3)	(注3, 37)	SUS304TP	
						非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備			(注3)	(注3)		
						原子炉下部			(注14)	／	／	SUS304TP
						キャビティ	(注14)	95	114.3	6.0		
						注水ポンプ	2.7		(注3)	(注3)		
						～			165.2	7.1		
						A内部スプレ			／	／		
						クーラ			165.2	7.1	SUS304TP	
						出口配管合流点			／	／		
									165.2	7.1		
							(注14)		(注3)	(注3, 37)	SUS304TP	
							150		165.2	7.1		

変更前					変更後								
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料		
						(注66)			(注3, 65)	(注3, 37, 65)	(注65)		
						非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	0	95	114.3	6.0	SUS27TP		
					(注3, 65)				(注3, 37, 65)	(注65)	114.3	6.0	SUS304TP
					(注3)				(注3, 37)	(注14)	114.3	6.0	SUS304TP
					(注3, 66)				(注3, 66)	(注65)	114.3	6.0	SUS27TP
									/	/			
									114.3	6.0	SUS27TP		
									/	/			
									-	-			

(次ページに続く)

変更前					変更後						
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)	
		—				非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 内部スプレ クーラ 出口テスト ライン分岐点 ～ 弁(1MOV-6496 A、B) ～ 燃料取替用水 タンク	0	95	114.3 / 114.3 / —	6.0 / 6.0 / —	SUS304TP

(次ページに続く)

変更前					変更後								
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料		
	圧力	温度					圧力	温度					
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			
						(注66)			(注3, 65)	(注3, 37, 65)	(注65)		
						非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備			114.3	6.0	SUS27TP		
									(注3)	(注3, 37)	114.3	6.0	SUS304TP
									(注3)	(注3)	114.3	6.0	
							(注14)	(注14)	2.1	95	114.3	6.0	SUS304TP
											114.3	6.0	
									(注3, 65)	(注3, 65)			
									114.3	6.0			
									114.3	6.0	(注65)		
											SUS27TP		

15

(次ページに続く)

別添1 (8/13)
 (令和2年10月6日)

9/

変更前					変更後						
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(℃)	(mm)	(mm)			(MPa)	(℃)	(mm)	(mm)	
						(注66)			(注3)	(注3)	
						非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備					
						内部スプレ					
						クーラ					
						出口テスト			114.3	6.0	
						ライン分岐点			/	/	
						～	(注14)	(注14)	/	/	
						弁(1MOV-6496	2.1	95	-	-	SUS304TP
						A、B)			/	/	
						～			114.3	6.0	
						燃料取替用水					
						タンク					

(次ページに続く)

変更前					変更後						
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)	
						(注6)			(注3, 65)	(注3, 65)	(注65)
					非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	内部スプレ クーラ 出口テスト ライン分岐点 ～ 弁(1MOV-6496 A、B) ～ 燃料取替用水 タンク	(注14)	(注14)	114.3	6.0	SUS27TP
								114.3	6.0	6.0	SUS304TP
								114.3	6.0	6.0	SUS304TP
								114.3	6.0	6.0	SUS304TP

(注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料取替用水タンク～弁(1-6400A、B)」と記載

(注2) SI単位に換算したものである。

(注3) 公称値

(注4) エルボについては既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。厚さについては管と同等以上のものを選定する。なお、記載内容は、設計図書による。

別添1 (10/13)
(1992年10月16日)

- (注5) 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）及びその他発電用原子炉の附属施設（火災防護設備）のうち消火設備と兼用
- (注6) 重大事故等時に使用
- (注7) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SUS27TP」と記載
- (注8) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料取換用水タンク～逆止弁（1-8926）」と記載
- (注9) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- (注10) 計測制御系統施設のうちほう酸注入機能を有する設備と兼用
- (注11) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「逆止弁（1-8926）～弁（1-LCV-115D、E）」と記載
- (注12) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「格納容器サンプ～弁（1-8811A、B）」と記載
- (注13) 記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書「原子炉格納容器」による。
- (注14) 重大事故等時における使用時の値
- (注15) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（1-8811A、B）～弁（1-8812A、B）」と記載
- (注16) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SUS32TP」と記載
- (注17) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料取換用水タンク～逆止弁（1-8958）」と記載
- (注18) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「逆止弁（1-8958）～弁（1-8809A、B）」と記載
- (注19) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料取換用水タンク～弁（1-5400）」と記載
- (注20) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てん／高圧注入ポンプ出口連絡管分岐点～レジャーサ（4×3）」と記載
- (注21) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ（4×3）～レジャーサ（4×3）」と記載
- (注22) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ（4×3）～弁（1-8803A、B）」と記載
- (注23) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（1-8803A、B）～ほう酸注入タンク入口レジャーサ（6×3）」と記載
- (注24) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ほう酸注入タンク出口レジャーサ（6×3）～弁（1-8801A、B）」と記載
- (注25) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（1-8801A、B）～格納容器」と記載
- (注26) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てん／高圧注入ポンプ出口連絡管分岐点～レジャーサ（4×3）」と記載

- 69
- (注27) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (4×3) ～レジャーサ (4×3)」と記載
 - (注28) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (4×3) ～弁 (1-8815)」と記載
 - (注29) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (1-8815) ～格納容器」と記載
 - (注30) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ほう酸注入タンク入口ラインレジャーサ (4×3) 出口分岐点～弁 (1-8816)」と記載
 - (注31) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (1-8816) ～格納容器」と記載
 - (注32) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「コールドレグへの高圧ラインのレジャーサ (4×3) 出口分岐点～弁 (1-8814)」と記載
 - (注33) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (1-8814) ～格納容器」と記載
 - (注34) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (1-8818A、B) ～格納容器」と記載
 - (注35) 余熱除去設備と兼用
 - (注36) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「コールドレグへの注入母管分岐点～弁 (1-8819)」と記載
 - (注37) エルボについては管と同等以上の厚さのものを選定する。
 - (注38) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (1-8819) ～格納容器」と記載
 - (注39) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「格納容器貫通部 #229～分岐点」と記載
 - (注40) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～逆止弁 (1-8944A、B、C)」と記載
 - (注41) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (1-8944A、B、C) ～主冷却材管ループ低温側注入ライン合流点」と記載
 - (注42) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(最小) 9.5」と記載
 - (注43) 公称値は既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。
 - (注44) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(最小) 9.5 / (最小) 9.5 / -」と記載
 - (注45) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「格納容器貫通部 #262～分岐点」と記載
 - (注46) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～逆止弁 (1-8942A、B、C)」と記載
 - (注47) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「逆止弁～合流点」と記載
 - (注48) エルボを示す。

- (注49) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「格納容器貫通部#261～分岐点」と記載
- (注50) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～逆止弁(1-8939A、B、C)」と記載
- (注51) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「格納容器貫通部#276～分岐点」と記載
- (注52) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～逆止弁(1-8937A、B、C)」と記載
- (注53) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「逆止弁～合流点およびレギュレーサ(6×2)」と記載
- (注54) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁(1-8937C)及び弁(1-8939C)～弁(1-8940C)」と記載
- (注55) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(最小)9.5/(最小)9.5/(最小)9.5」と記載
- (注56) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「格納容器貫通部#263、224～分岐点」と記載
- (注57) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～弁(1-8973A、C)および弁(1-8972A、B)を経て弁(1-8973B)」と記載
- (注58) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁(1-8973A、B、C)～弁(1-8945A、B、C)」と記載
- (注59) 余熱除去設備及び計測制御系統施設のうちほう酸注入機能を有する設備と兼用
- (注60) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「格納容器貫通部#258～分岐点」と記載
- (注61) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～弁(1-8935A、B)」と記載
- (注62) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁(1-8935A、B)～弁(1-8940A、B)」と記載
- (注63) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「アキュムレータA、B、C～弁(1-8808A、B、C)」と記載
- (注64) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁(1-8808A、B、C)～弁(1-8948A、B、C)」と記載
- (注65) 本設備は既存の設備である。
- (注66) 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備(格納容器安全設備)と兼用
- (注67) SUS32TP同等材(SUS316TP)への取替えを行う。
- (注68) 蒸気タービンの附属設備及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備(格納容器安全設備)と兼用
- (注69) SUS27TP同等材(SUS304TP)への取替えを行う。

工事計画認可申請	第7-2-2図
高浜発電所 第1号機	
原子炉格納罐等の系統図 (圧力低減設備その他の安全設備 (格納容器安全設備)) (2/8) (重大事故対策施設)	
関西電力株式会社	

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-15

検査年月日	検査結果	原子力施設検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和 2 年 12 月 23 日	良	増本 豊	奈良県原子力庁 主任技術者  技術センター主任技術者 	なし

関西電力株式会社高浜発電所第 1 号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-15

検査年月日：令和 2 年 12 月 23 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	⊙・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	⊙・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	⊙・—	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-15

検査年月日：令和2年12月23日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・一	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・一	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・一	
系統構成が完了していること。	立会/ ◎記録確認	◎良・一	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-15

検査年月日：令和2年12月23日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象			
原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 ポンプ 主配管 別添1及び別添2参照			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統機能検査 ・通水検査 系統性能検査 ・容量確認検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-0006、T1-3-0011 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

原子炉冷却系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの（蒸気タービンに係るものを除く。）にあつては次の事項

7 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備に係る次の事項

- (1) ポンプの名称、種類、容量、揚程又は吐出圧力、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所

・常設

(1/2)

			変更前	変更後	
名 称				恒設代替低圧注水ポンプ ^(注1)	
ポンプ	種 類	—	—	うず巻形	
	容 量 ^(注2)	m ³ /h/個			
	揚 程 ^(注2)	m			
	最高使用圧力 ^(注2)	MPa			
	最高使用温度 ^(注2)	℃			
	主要寸法	吸 込 口 径		mm	
		吐 出 口 径		mm	
		ケーシング厚さ		mm	
		た て		mm	
		横		mm	
		高 さ		mm	
	材 料	ケーシング		—	
		ケーシングカバー		—	
	個 数	—			

(次ページに続く)

			変更前	変更後
ポンプ	取付箇所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—	恒設代替低圧注水ライン
		設 置 床	—	
		溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	
		溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	
原動機	種 類	—	三相誘導電動機	
	出 力	kW/個		
	個 数	—	1	
	取 付 箇 所	—		



27

(7) 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・常設

変更前					変更後						
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
						(注65) B内部スプレ クーラ			(注3) 165.2	(注3,37) 7.1	SUS304TP
						出口配管分岐点 弁(1MOV-8746)	(注14) 2.7	(注14) 150	(注3) 165.2	(注3) 7.1	
						行き ～ 弁(1MOV-8746)			/	/	SUS304TP
						～ B余熱除去クーラ			/	/	
						出口配管合流点	(注14) 4.1	(注14) 200	(注3) 165.2	(注3,37) 7.1	SUS304TP

非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備

62

変更前					変更後						
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)	
						(注66)			(注3)	(注3, 37)	
						燃料取替用水			267.4	9.3	SUS304TP
						タンク			(注3)	(注3, 37)	
						出口配管分岐点			355.6	11.1	SUS304TP
						及び			(注3)	(注3)	
						B電動補助			267.4	9.3	SUS304TP
						給水ポンプ			/	/	
						入口配管分岐点			165.2	7.1	SUS304TP
						～	(注14)	(注14)	(注3)	(注3)	
						原子炉下部	0	40	355.6	11.1	SUS304TP
						キャビティ			/	/	
						注水ポンプ			267.4	9.3	SUS304TP
						及び			(注3)	(注3)	
						恒設代替低圧			267.4	9.3	SUS304TP
						注水ポンプ			/	/	
									-	-	SUS304TP
									/	/	
									267.4	9.3	SUS304TP

非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備

(次ページに続く)

変更前					変更後						
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(℃)	(mm)	(mm)			(MPa)	(℃)	(mm)	(mm)	
						(注66)			(注3)	(注3, 37)	
						燃料取替用水			267.4	9.3	SUS304TP
						タンク			(注3)	(注3, 37)	
						出口配管分岐点			355.6	11.1	SUS304TP
						及び			(注3)	(注3)	
						B電動補助			267.4	9.3	SUS304TP
						給水ポンプ			/	/	
						入口配管分岐点			165.2	7.1	
						～	(注14)	(注14)	(注3)	(注3)	
						原子炉下部	0	40	355.6	11.1	
						キャビティ			/	/	SUS304TP
						注水ポンプ			267.4	9.3	
						及び			(注3)	(注3)	
						恒設代替低圧			/	/	
						注水ポンプ			-	-	SUS304TP
									/	/	
									267.4	9.3	

(次ページに続く)

変更前					変更後						
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)	
						(注66)			(注3)	(注3, 37)	
					非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	燃料取替用水			165.2	7.1	SUS304TP
						タンク			(注3)	(注3, 37)	
						出口配管分岐点			216.3	8.2	SUS304TP
						及び			(注3)	(注3, 37)	
						B電動補助			267.4	9.3	SUS304TP
					給水ポンプ			(注3)	(注3, 37)		
					入口配管分岐点	(注14)	(注14)	355.6	11.1	SUS304TP	
					～	0	95	(注3)	(注3)		
					原子炉下部			267.4	9.3	SUS304TP	
					キャビティ			/	/		
					注水ポンプ			165.2	7.1		
					及び						
					恒設代替低圧						
					注水ポンプ						

(次ページに続く)

3 /

変更前					変更後						
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)	
						(注6)			(注3)	(注3)	
					非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	燃料取替用水 タンク					
						出口配管分岐点 及び			355.6	11.1	SUS304TP
						B電動補助 給水ポンプ			216.3	8.2	
						入口配管分岐点 ～	(注14)	(注14)			
						原子炉下部 キャビティ	0	95	355.6	11.1	SUS304TP
						注水ポンプ 及び			355.6	11.1	
					恒設代替低圧 注水ポンプ			267.4	9.3		

33

変更前					変更後						
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)	
						(注66)			(注3)	(注3, 37)	
									114.3	6.0	SUS304TP
									(注3)	(注3, 37)	
									165.2	7.1	SUS304TP
									(注3)	(注3)	
									165.2	7.1	
							(注14)	95	/	/	SUS304TP
							2.7		(注3)	(注3)	
									114.3	6.0	
									165.2	7.1	
									/	/	SUS304TP
									165.2	7.1	
									/	/	
									165.2	7.1	
									(注14)	(注3)	(注3, 37)
								150	165.2	7.1	SUS304TP

非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備

恒設代替低圧注水ポンプ
～
B内部スプレクーラ
出口配管合流点

34

変更前					変更後							
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
		—				非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	恒設代替低圧 注水ポンプ 出口配管分岐点 ～ 弁(1V-6484) ～ 恒設代替低圧 注水ポンプ 出口配管合流点	(注14) 2.7	(注14) 95	(注3) 60.5	(注3, 37) 3.9	SUS304TP

変更前					変更後						
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)	
						非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 可搬式代替低圧 注水ライン 接続口 ~ 恒設代替低圧 注水ポンプ 出口配管合流点			(注3)	(注3, 37)	SUS304TP
									(注3)	(注3)	SUS304TP
									(注3)	(注3)	SUS304TP
									(注3)	(注3)	SUS304TP
									(注3)	(注3)	SUS304TP
									(注3)	(注3)	SUS304TP
									(注3)	(注3)	SUS304TP
									(注3)	(注3)	SUS304TP
									(注3)	(注3)	SUS304TP
									(注3)	(注3)	SUS304TP

(次ページに続く)

35

変更前					変更後							
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	
	圧力	温度					圧力	温度				
	(MPa)	(℃)	(mm)	(mm)			(MPa)	(℃)	(mm)	(mm)		
						非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	2.7	(注14)	(注3)	(注3)	SUS304TP	
					可搬式代替低圧注水ライン接続口				40	165.2		7.1
					～				165.2	7.1		
					恒設代替低圧注水ポンプ				(注14)	(注3)		(注3, 37)
					出口配管合流点	95	(注3)	(注3, 37)	165.2	7.1	SUS304TP	

37

変更前					変更後						
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)	
						(注65)			(注3, 65)	(注3, 37, 65)	(注65)
					非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	内部スプレ クーラ 出口テスト ライン分岐点 ～ 弁(1MOV-6496 A、B) ～ 燃料取替用水 タンク	0	95	114.3	6.0	SUS27TP
						(注3, 65)	(注3, 37, 65)	(注65)	114.3	6.0	SUS304TP
						(注3)	(注3, 37)	(注14)	114.3	6.0	SUS304TP
						(注3, 65)	(注3, 65)	(注14)	114.3	6.0	(注65)
									114.3	6.0	SUS27TP
									—	—	

(次ページに続く)

38

変更前					変更後						
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(℃)	(mm)	(mm)			(MPa)	(℃)	(mm)	(mm)	
		-			非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	(注66) 内部スプレ クーラ 出口テスト ライン分岐点 ～ 弁(1MOV-6496 A、B) ～ 燃料取替用水 タンク	(注14) 0	(注14) 95	(注3.65) 114.3 / 114.3 / -	(注3.65) 6.0 / 6.0 / -	(注65) SUS304TP

(次ページに続く)

変更前					変更後						
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
						(注66)			(注3, 65)	(注3, 37, 65)	(注65)
						内部スプレ クーラ			114.3	6.0	SUS27TP
						出口テスト ライン分岐点			(注3)	(注3, 37)	
						～			114.3	6.0	
						弁(1MOV-6496 A、B)	(注14)	(注14)	114.3	6.0	SUS304TP
						～			114.3	6.0	
						燃料取替用水 タンク			(注3, 65)	(注3, 65)	
									114.3	6.0	(注65)
									114.3	6.0	SUS27TP
									—	—	

非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備

(次ページに続く)

07

変更前					変更後						
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)	
						非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	(注66)		(注3)	(注3)	
						内部スプレ					
						ーケーラ					
						出口テスト			114.3	6.0	
						ライン分岐点	(注14)	(注14)	/	/	
						～	2.1	95	-	-	SUS304TP
						弁(1MOV-6496			/	/	
						A、B)			114.3	6.0	
						～					
						燃料取替用水					
						タンク					

(次ページに続く)

変更前					変更後									
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料			
						(注66) 内部スプレ クーラ 出口テスト ライン分岐点 ~ 弁(1MOV-6496 A、B) ~ 燃料取替用水 タンク	(注14) 2.7	(注14) 150	(注3, 65)	(注3, 65)	(注65)	114.3	6.0	SUS27TP
					(注3)				(注3, 37)	114.3	6.0	SUS304TP		
					(注3)				(注3)	114.3	6.0	SUS304TP		
					—				—	114.3	6.0			

非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備

変更前					変更後							
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
						(注68)	(注14)	(注14)	(注3)	(注3)	SUS304TP	
						非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	0	40	(注3)	(注3)	SUS304TP	
					(注3)				(注3, 37)	SUS304TP		
					(注14)				(注14)	(注3)	(注3)	SUS304TP
					1.3				40	165.2	7.1	—
									89.1	5.5		

(注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料取換用水タンク～弁 (1-6400A、B)」と記載

(注2) SI単位に換算したものである。

(注3) 公称値

(注4) エルボについては既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。厚さについては管と同等以上のものを選定する。なお、記載内容は、設計図書による。

- (注5) 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）及びその他発電用原子炉の附属施設（火災防護設備）のうち消火設備と兼用
- (注6) 重大事故等時に使用
- (注7) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SUS27TP」と記載
- (注8) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料取換用水タンク～逆止弁（1-8926）」と記載
- (注9) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- (注10) 計測制御系統施設のうちほう酸注入機能を有する設備と兼用
- (注11) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「逆止弁（1-8926）～弁（1-LCV-115D、E）」と記載
- (注12) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「格納容器サンプ～弁（1-8811A、B）」と記載
- (注13) 記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書「原子炉格納容器」による。
- (注14) 重大事故等時における使用時の値
- (注15) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（1-8811A、B）～弁（1-8812A、B）」と記載
- (注16) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SUS32TP」と記載
- (注17) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料取換用水タンク～逆止弁（1-8958）」と記載
- (注18) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「逆止弁（1-8958）～弁（1-8809A、B）」と記載
- (注19) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料取換用水タンク～弁（1-5400）」と記載
- (注20) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てん／高圧注入ポンプ出口連絡管分岐点～レジャーサ（4×3）」と記載
- (注21) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ（4×3）～レジャーサ（4×3）」と記載
- (注22) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ（4×3）～弁（1-8803A、B）」と記載
- (注23) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（1-8803A、B）～ほう酸注入タンク入口レジャーサ（6×3）」と記載
- (注24) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ほう酸注入タンク出口レジャーサ（6×3）～弁（1-8801A、B）」と記載
- (注25) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（1-8801A、B）～格納容器」と記載
- (注26) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てん／高圧注入ポンプ出口連絡管分岐点～レジャーサ（4×3）」と記載

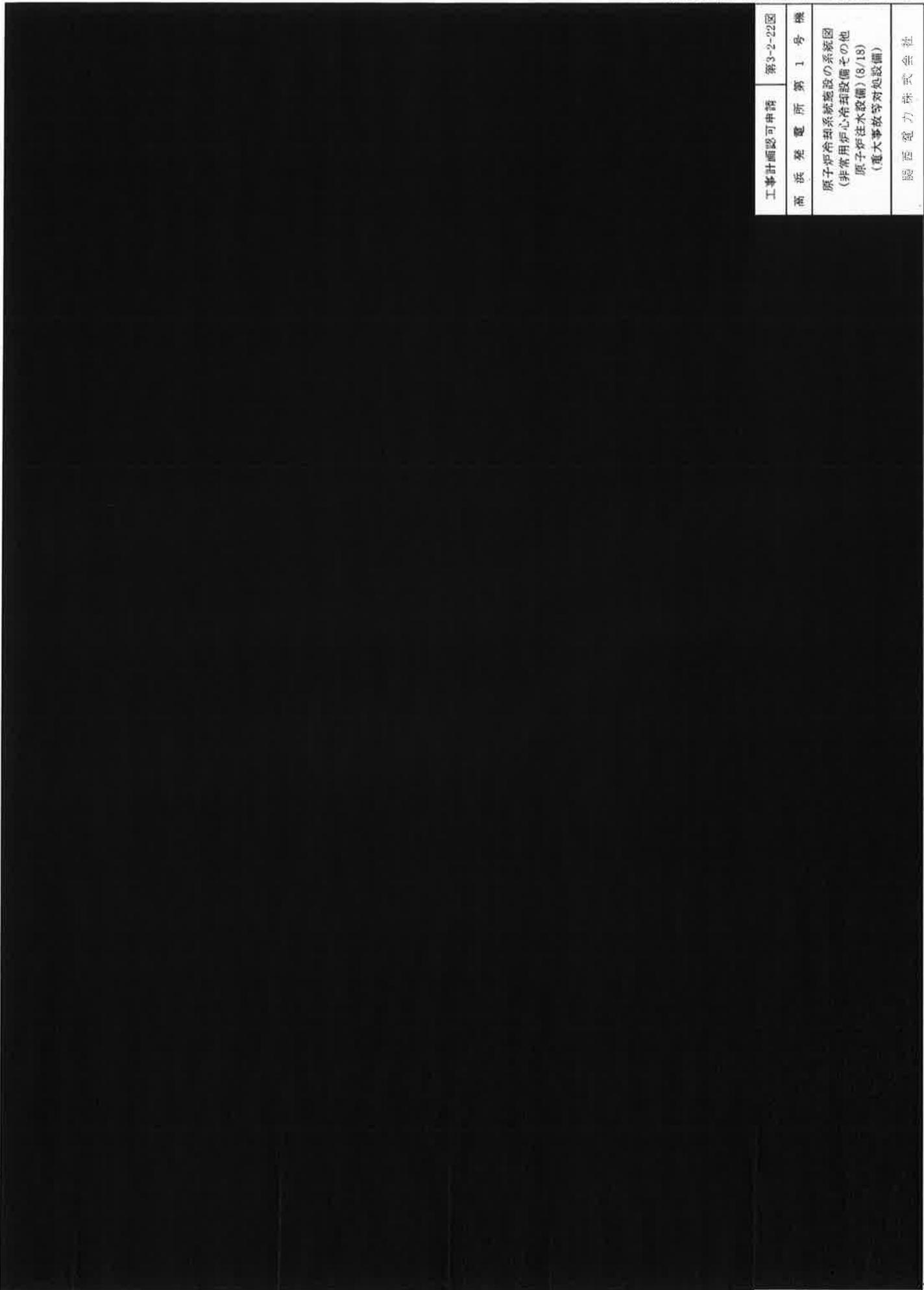
- （注27）記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ（4×3）～レジャーサ（4×3）」と記載
- （注28）記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ（4×3）～弁（1-8815）」と記載
- （注29）記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（1-8815）～格納容器」と記載
- （注30）記載の適正化を行う。既工事計画書には「ほう酸注入タンク入口ラインレジャーサ（4×3）出口分岐点～弁（1-8816）」と記載
- （注31）記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（1-8816）～格納容器」と記載
- （注32）記載の適正化を行う。既工事計画書には「コールドレグへの高圧ラインのレジャーサ（4×3）出口分岐点～弁（1-8814）」と記載
- （注33）記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（1-8814）～格納容器」と記載
- （注34）記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（1-8818A、B）～格納容器」と記載
- （注35）余熱除去設備と兼用
- （注36）記載の適正化を行う。既工事計画書には「コールドレグへの注入母管分岐点～弁（1-8819）」と記載
- （注37）エルボについては管と同等以上の厚さのものを選定する。
- （注38）記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（1-8819）～格納容器」と記載
- （注39）記載の適正化を行う。既工事計画書には「格納容器貫通部#229～分岐点」と記載
- （注40）記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～逆止弁（1-8944A、B、C）」と記載
- （注41）記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（1-8944A、B、C）～主冷却材管ループ低温側注入ライン合流点」と記載
- （注42）記載の適正化を行う。既工事計画書には「（最小）9.5」と記載
- （注43）公称値は既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。
- （注44）記載の適正化を行う。既工事計画書には「（最小）9.5／（最小）9.5／－」と記載
- （注45）記載の適正化を行う。既工事計画書には「格納容器貫通部#262～分岐点」と記載
- （注46）記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～逆止弁（1-8942A、B、C）」と記載
- （注47）記載の適正化を行う。既工事計画書には「逆止弁～合流点」と記載
- （注48）エルボを示す。

- (注49) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「格納容器貫通部 #261～分岐点」と記載
- (注50) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～逆止弁 (1-8939A、B、C)」と記載
- (注51) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「格納容器貫通部 #276～分岐点」と記載
- (注52) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～逆止弁 (1-8937A、B、C)」と記載
- (注53) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「逆止弁～合流点およびレジューサ (6×2)」と記載
- (注54) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (1-8937C) 及び弁 (1-8939C) ～弁 (1-8940C)」と記載
- (注55) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(最小) 9.5 / (最小) 9.5 / (最小) 9.5」と記載
- (注56) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「格納容器貫通部 #263、224～分岐点」と記載
- (注57) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～弁 (1-8973A、C) および弁 (1-8972A、B) を経て弁 (1-8973B)」と記載
- (注58) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (1-8973A、B、C) ～弁 (1-8945A、B、C)」と記載
- (注59) 余熱除去設備及び計測制御系統施設のうちほう酸注入機能を有する設備と兼用
- (注60) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「格納容器貫通部 #258～分岐点」と記載
- (注61) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～弁 (1-8935A、B)」と記載
- (注62) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (1-8935A、B) ～弁 (1-8940A、B)」と記載
- (注63) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「アキュムレータA、B、C～弁 (1-8808A、B、C)」と記載
- (注64) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (1-8808A、B、C) ～弁 (1-8948A、B、C)」と記載
- (注65) 本設備は既存の設備である。
- (注66) 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備 (格納容器安全設備) と兼用
- (注67) SUS32TP同等材 (SUS316TP) への取替えを行う。
- (注68) 蒸気タービンの附属設備及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備 (格納容器安全設備) と兼用
- (注69) SUS27TP同等材 (SUS304TP) への取替えを行う。



工事計画認可申請	第3-2-30図
高浜発電所第1号機	
原子炉冷却系統施設の系統図 (非常用炉心冷却設備その他 原子炉注水設備)(16/18) (重大事故等対処設備)	
関西電力株式会社	

工事計画認可申請	第3-2-28図
高圧発電所	第1号機
原子炉冷却系系施設等の系統図 (非常用炉心冷却設備その他 原子炉圧力容器)(14/18) (重大事故等対応設備)	
関西電力株式会社	



工事計画認可申請 第3-2-22図

高浜発電所第1号機

原子炉冷却系統管束の系統図
(非常用炉心冷却設備その他
原子炉注水設備)(8/18)
(重大事故対処設備)

関西電力株式会社

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-15

検査年月日	検査結果	原子力施設検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和 2 年 12 月 25 日	良	増本 豊	茨城県原子力主任技術者  水戸市原子力主任技術者 	なし

67

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-15

検査年月日：令和2年12月25日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	⊙・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	⊙・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	⊙・—	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-15

検査年月日：令和2年 12 月 25 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・一	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・一	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・一	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・一	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-15

検査年月日：令和2年 12月 25日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象			
原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 ポンプ 主配管 別添1参照			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統機能検査 ・ 運転性能検査 ・ 通水検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 ・ 記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-0555 ・ 目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

原子炉冷却系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの（蒸気タービンに係るものを除く。）にあつては次の事項

7 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備に係る次の事項

- (1) ポンプの名称、種類、容量、揚程又は吐出圧力、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所

以下の設備の予備は、既存の3号機設備（3号機及び4号機共用）であり、本工事計画で1号機、2号機、3号機及び4号機共用とする。

・可搬型

(1/2)

			変更前	変更後	
名 称				可搬式代替低圧注水ポンプ	
ポンプ	種 類	—		うず巻形	
	容 量 (注1)	m ³ /h/個			
	揚 程 (注1)	m			
	最 高 使 用 圧 力 (注1)	MPa		1.55	
	最 高 使 用 温 度 (注1)	℃		40	
	主要寸法	吸 込 口 径	mm		
		吐 出 口 径	mm		
		た て	mm		
		横	mm		
		高 さ	mm		
		車 両 全 長	mm		
		車 両 全 幅	mm		
	材 料	ケ ー シ ン グ	—		
		ケ ー シ ン グ	—		
カ バ ー		—			
個 数	—		2 (注3)		
取 付 箇 所					

次ページへ続く

(2/2)

			変 更 前	変 更 後
原 動 機	種 類	-	-	三相誘導電動機
	出 力	kW/個		
	個 数	-		2 (注3)
	取 付 箇 所	-		

(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) 公称値

(注3) 1・2・3・4号機共用の予備は、3号機設備である。

(7) 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

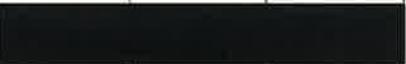
以下の設備の予備は、既存の3号機設備（3号機及び4号機共用）であり、本工事計画で1号機、2号機、3号機及び4号機共用とする。

・可搬型

変更前	変更後						
	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	取付箇所
<p style="writing-mode: vertical-rl;">非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備</p>	<p>可搬式代替低圧 注水ポンプ 吸水用 ホース</p>	<p>(7E1)</p>	<p>(7E1)</p>	<p>(7E2)</p>	<p>(7E3)</p>	<p>—</p>	<p>保管場所 (7E4, 5) :</p> <div style="background-color: black; width: 100%; height: 150px;"></div> <p>取付箇所 :</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: black; width: 100%; height: 100px;"></div>

55

工事計画本文 (原規規発第 1606104 号 (平成 28 年 6 月 10 日認可))

変更前	変更後						
-	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	取付箇所
	非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	可搬式代替低圧 注水ポンプ	(注1)	(注1)	(注6)	(注6)	
可搬式代替低圧 注水ポンプ 出口接続口					6.0		取付箇所 : 

56

次ページへ続く

工事計画本文 (関原発第 121 号 (平成 30 年 5 月 24 日にて軽微変更届出))

変 更 前								変 更 後							
名 称	最高	最高	外径	厚さ	材料	(注10)	(注10)	名 称	最高	最高	外径	厚さ	材料	個数	取付箇所
	使用	使用							使用	使用					
	圧力	温度	(mm)	(mm)				圧力	温度	(mm)	(mm)				
	(MPa)	(°C)						(MPa)	(°C)						
非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	可搬式						保管場所： [Redacted]	非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	変更なし						保管場所： [Redacted]
	代替低圧注水ポンプ～可搬式代替低圧注水ポンプ出口接続口	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	6.0	[Redacted]									
							(次頁へ続く)								(次頁へ続く)

次ページへ続く

変更前								変更後								
名 称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	(注10) 個数	(注10) 取付箇所	名 称	最高 使用 圧力 (MPa)	最高 使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	
	(前頁からの続き)								(前頁からの続き)	(前頁からの続き)						
非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備							取付箇所： 	非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備								取付箇所： 

58

次ページへ続く

(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) メーカーにて規定する呼び径を示す。

(注3) メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

(注4) 当該ホース本 (必要本数) 以上を保管する。

(注5) 1・2・3・4号機共用の予備は、3号機設備である。

(注6) 公称値

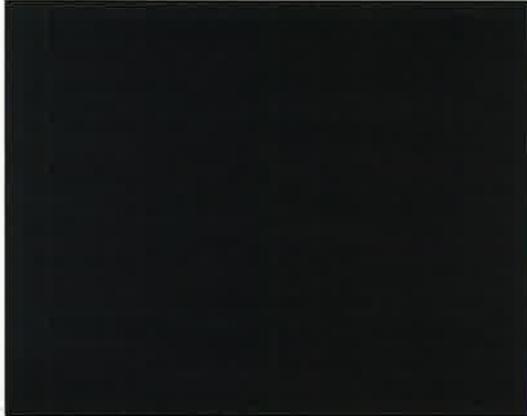
(注8) 当該ホース本 () 以上を保管する。

(注9) 本数については当該ルートで最長に敷設した場合を記載 ()

(注10) 実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則改正に係る適正化

(注11) 可搬式代替低圧注水ポンプの保有数と同じ数量

5

変更前	変更後						
	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	取付箇所
非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備	可搬式代替低圧 注水ポンプ 送水用ホース (フランジ継手付、 フランジ継手なし)	(G11)	(G11)	(G20)	(G13)	—	保管場所 (注8) :  取付箇所 : 

次ページへ続く

(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) メーカーにて規定する呼び径を示す。

(注3) メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

(注4) 当該ホース本数(必要本数)以上を保管する。

(注5) 1・2・3・4号機共用の予備は、3号機設備である。

(注6) 公称値

(注7) 当該設備台数()以上を保管する。

(注8) 当該ホース本数()以上を保管する。

(注9) 本数については当該ルートで最長に敷設した場合を記載()

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-15

検査年月日	検査結果	原子力施設検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和 3 年 1 月 13 日	良	増本 豊	茨霞の原,子大 主任技術者  水行一,子大 主任技術者 	なし

関西電力株式会社高浜発電所第 1 号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-15

検査年月日：令和 3 年 / 月 / 3 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎・一	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-15

検査年月日：令和3年 / 月 / 日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・一	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・一	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・一	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・一	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-15

検査年月日：令和3年 〇月 〇日

検査場所：関西電力株式会社高浜発電所

検査結果

検査対象			
原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 化学体積制御設備 主配管 ポンプ 蒸気タービンの附属設備 主配管 計測制御系統施設 ほう酸注入機能を有する設備 主配管 原子炉格納施設 圧力低減設備その他の安全設備 主配管			
別添1参照			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統機能検査※1 ・運転性能検査 ・通水検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-0055、T1-3-0607 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照 ※1：別添2参照			

原子炉冷却系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの（蒸気タービンに係るものを除く。）にあつては次の事項

7 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備に係る次の事項

(7) 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・常設

変更前					変更後								
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料		
						非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	18.8	150	(注3, 65)	(注3, 65)	(注65)		
											60.3	8.7	SUS27TP
											(注3)	(注3, 37)	
											60.5	8.7	SUS304TP
									(注3)	(注3, 37)			
									89.1	11.1	SUS304TP		
									(注3, 65)	(注3, 37, 65)	(注65)		
									89.1	11.1	SUS304TP		

(次ページに続く)

67

変更前					変更後						
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)	
						非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(注14) 18.8	(注14) 150	(注3)	(注3)	SUS304TP
					89.1				11.1		
					60.5				8.7		
					(注3, 65)				(注3, 65)	SUS304TP	
					89.1				11.1		
					60.5				8.7		
					(注3)	(注3)	SUS304TP				
					89.1	11.1					
					89.1	11.1					
					-	-					

変更前					変更後									
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料			
	圧力	温度					圧力	温度						
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)				
					非常用炉心冷却設備 その他原子炉注水設備	(注68)	(注14)	(注14)	(注3)	(注3)				
						0	40	165.2	7.1	SUS304TP				
								(注3)	(注3)	89.1	5.5	SUS304TP		
								(注3)	(注3, 37)	165.2	7.1	SUS304TP		
						(注14)	(注14)	(注3)	(注3)	1.3	40	165.2	7.1	
									復水タンク ブロー配管 接続口 ～ 弁(1CW-301) ～ 復水タンク			/	/	
												-	-	SUS304TP
												89.1	5.5	

(注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料取換用水タンク～弁 (1-6400A、B)」と記載

(注2) SI単位に換算したものである。

(注3) 公称値

(注4) エルボについては既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。厚さについては管と同等以上のものを選定する。なお、記載内容は、設計図書による。

別添1 (3/14)
(令和3年1月13日)

- 69
- (注5) 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）及びその他発電用原子炉の附属施設（火災防護設備）のうち消火設備と兼用
 - (注6) 重大事故等時に使用
 - (注7) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SUS27TP」と記載
 - (注8) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料取換用水タンク～逆止弁（1-8926）」と記載
 - (注9) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
 - (注10) 計測制御系統施設のうちほう酸注入機能を有する設備と兼用
 - (注11) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「逆止弁（1-8926）～弁（1-LCV-115D、E）」と記載
 - (注12) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「格納容器サンプ～弁（1-8811A、B）」と記載
 - (注13) 記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書「原子炉格納容器」による。
 - (注14) 重大事故等時における使用時の値
 - (注15) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（1-8811A、B）～弁（1-8812A、B）」と記載
 - (注16) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SUS32TP」と記載
 - (注17) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料取換用水タンク～逆止弁（1-8958）」と記載
 - (注18) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「逆止弁（1-8958）～弁（1-8809A、B）」と記載
 - (注19) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料取換用水タンク～弁（1-5400）」と記載
 - (注20) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てん／高圧注入ポンプ出口連絡管分岐点～レジャーサ（4×3）」と記載
 - (注21) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ（4×3）～レジャーサ（4×3）」と記載
 - (注22) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ（4×3）～弁（1-8803A、B）」と記載
 - (注23) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（1-8803A、B）～ほう酸注入タンク入口レジャーサ（6×3）」と記載
 - (注24) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ほう酸注入タンク出口レジャーサ（6×3）～弁（1-8801A、B）」と記載
 - (注25) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（1-8801A、B）～格納容器」と記載
 - (注26) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てん／高圧注入ポンプ出口連絡管分岐点～レジャーサ（4×3）」と記載

- 70
- (注27) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (4×3) ～レジャーサ (4×3)」と記載
 - (注28) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (4×3) ～弁 (1-8815)」と記載
 - (注29) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (1-8815) ～格納容器」と記載
 - (注30) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ほう酸注入タンク入口ラインレジャーサ (4×3) 出口分岐点～弁 (1-8816)」と記載
 - (注31) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (1-8816) ～格納容器」と記載
 - (注32) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「コールドレグへの高圧ラインのレジャーサ (4×3) 出口分岐点～弁 (1-8814)」と記載
 - (注33) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (1-8814) ～格納容器」と記載
 - (注34) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (1-8818A、B) ～格納容器」と記載
 - (注35) 余熱除去設備と兼用
 - (注36) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「コールドレグへの注入母管分岐点～弁 (1-8819)」と記載
 - (注37) エルボについては管と同等以上の厚さのものを選定する。
 - (注38) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (1-8819) ～格納容器」と記載
 - (注39) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「格納容器貫通部 #229～分岐点」と記載
 - (注40) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～逆止弁 (1-8944A、B、C)」と記載
 - (注41) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (1-8944A、B、C) ～主冷却材管ループ低温側注入ライン合流点」と記載
 - (注42) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(最小) 9.5」と記載
 - (注43) 公称値は既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。
 - (注44) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(最小) 9.5 / (最小) 9.5 / -」と記載
 - (注45) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「格納容器貫通部 #262～分岐点」と記載
 - (注46) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～逆止弁 (1-8942A、B、C)」と記載
 - (注47) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「逆止弁～合流点」と記載
 - (注48) エルボを示す。

- （注49）記載の適正化を行う。既工事計画書には「格納容器貫通部#261～分岐点」と記載
- （注50）記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～逆止弁（1-8939A、B、C）」と記載
- （注51）記載の適正化を行う。既工事計画書には「格納容器貫通部#276～分岐点」と記載
- （注52）記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～逆止弁（1-8937A、B、C）」と記載
- （注53）記載の適正化を行う。既工事計画書には「逆止弁～合流点およびレギュレーサ（6×2）」と記載
- （注54）記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（1-8937C）及び弁（1-8939C）～弁（1-8940C）」と記載
- （注55）記載の適正化を行う。既工事計画書には「（最小）9.5／（最小）9.5／（最小）9.5」と記載
- （注56）記載の適正化を行う。既工事計画書には「格納容器貫通部#263、224～分岐点」と記載
- （注57）記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～弁（1-8973A、C）および弁（1-8972A、B）を経て弁（1-8973B）」と記載
- （注58）記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（1-8973A、B、C）～弁（1-8945A、B、C）」と記載
- （注59）余熱除去設備及び計測制御系統施設のうちほう酸注入機能を有する設備と兼用
- （注60）記載の適正化を行う。既工事計画書には「格納容器貫通部#258～分岐点」と記載
- （注61）記載の適正化を行う。既工事計画書には「分岐点～弁（1-8935A、B）」と記載
- （注62）記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（1-8935A、B）～弁（1-8940A、B）」と記載
- （注63）記載の適正化を行う。既工事計画書には「アキュムレータA、B、C～弁（1-8808A、B、C）」と記載
- （注64）記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁（1-8808A、B、C）～弁（1-8948A、B、C）」と記載
- （注65）本設備は既存の設備である。
- （注66）原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）と兼用
- （注67）SUS32TP同等材（SUS316TP）への取替えを行う。
- （注68）蒸気タービンの附属設備及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）と兼用
- （注69）SUS27TP同等材（SUS304TP）への取替えを行う。

8 化学体積制御設備に係る次の事項

(2) ポンプの名称、種類、容量、揚程又は吐出圧力、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料及び個数並びに原動機の種類、出力及び個数 (1/2)

名称			変更前	変更後	
ポンプ	種	類	充てん/高圧注入ポンプ	充てん/高圧注入ポンプ (注1)	
	容	量 (注2)		変更なし	
	揚	程 (注3)			
	最	高 使 用 圧 力	MPa		
	最	高 使 用 温 度	℃		
	主	要	吸	込 口 径	mm
			吐	出 口 径	mm
			ケ	ー シ ン グ 厚 さ	mm
			た	て	mm
			横		mm
	高	さ	mm		
	材	料	ケ	ー シ ン グ	—
			ケ	ー シ ン グ	—
			カ	バ	—
個	数	—		変更なし	

(次ページに続く)

			変更前	変更後		
ポンプ	(注12) 取付箇所	系 統 名 (ライン名)	—	A充てん/ 高圧注入ポンプ	B充てん/ 高圧注入ポンプ	C充てん/ 高圧注入ポンプ
		設 置 床	—	A充てん/ 高圧注入ライン	B充てん/ 高圧注入ライン	C充てん/ 高圧注入ライン
		溢水防護上の 区画番号	—			
		溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—			
原動機	種 類	—		変更なし		
	出 力	kW/個				
	個 数	—				
	取 付 箇 所 (注12)	—		ポンプと同じ		



(7) 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

変更前						変更後					
名 称	最高使用	最高使用	外 径	厚 さ	材 料	名 称	最高使用	最高使用	外 径	厚 さ	材 料
	圧 力	温 度					圧 力	温 度			
	(MPa)	(℃)	(mm)	(mm)		(MPa)	(℃)	(mm)	(mm)		
化学 体積 制御 設備	(注22)	18.8	150	(注2)	(注2.13)	化学 体積 制御 設備	(注16)	変更なし			
	充てん/高圧 注入ポンプ A、B、C ～ 充てん/高圧 注入ポンプ 下流レギュレーサ (4×3)			88.9	11.1		SUS27TP	変更なし	(注2)	(注2)	
				(注2.43)	(注2.43)		(注43)	88.9	11.1	SUS304TP	変更なし
			(注2.14)	(注2.14)	(注14)		変更なし				
			114.3	11.1	SUS32TP						
			88.9	11.1							

75

(次ページに続く)

別添1 (10/14)
(令和3年1月13日)

変更前						変更後					
名 称	最高使用	最高使用	外 径	厚 さ	材 料	名 称	最高使用	最高使用	外 径	厚 さ	材 料
	圧 力	温 度					圧 力	温 度			
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)	
化学体積制御設備 充てん/高圧 注入ポンプ A、B、C ～ 充てん/高圧 注入ポンプ 下流レジューサ (4×3)	(注22)	(注12)	150	(注2,44)	(注2,44)	化学体積制御設備 充てん/高圧 注入ポンプ A、B、C ～ 充てん/高圧 注入ポンプ 下流レジューサ (4×3)	(注16)	変更なし			
	114.3			11.1	(注44)						
	88.9			11.1	(注14)						
	88.9			11.1							
(注2,14)	(注2,14)	(注14)									
88.9	11.1	SUS27TP	(注14)								
—	—										
(注2,14)	(注2,14)	(注14)									
88.9	11.1	SUS27TP									
—	—										
88.9	11.1										

7)

変更前						変更後					
名 称	最高使用	最高使用	外 径	厚 さ	材 料	名 称	最高使用	最高使用	外 径	厚 さ	材 料
	圧 力	温 度					圧 力	温 度			
化学体積制御設備 弁 (1A0V-8145) ～ 弁 (1V-8377)	17.16	343	(注2)	(最小)	ASTM A182 F304 (注2)(SUSF304 相当)	化学体積制御設備	17.16	343	61.1	9.4	ASTM A182 F304 (注2)(SUSF304 相当)
			(差し込み部の内径)	(最小)							

- (注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (1-8149A、B、C) ～抽出水非再生クーラ」と記載
- (注2) 公称値
- (注3) エルボについては管と同等以上の厚さのものを選定する。
- (注4) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(最小) 6.1」と記載
- (注5) 公称値は既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。

- 84
- (注6) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SUSF304相当 (ASTM A182F304)」と記載
 - (注7) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(最小) 6.1 / (最小) 6.1 / (最小) 6.1」と記載
 - (注8) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(最小) 6.1 / (最小) 6.1 / -」と記載
 - (注9) 本設備は記載の適正化のみ行うものであり、手続き対象外である。
 - (注10) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SUS27TP」と記載
 - (注11) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (1-LCV-115E) ~レジャーサ (8×4)」、「レジャーサ (8×4) ~充てんポンプ入口ライン集合母管」と記載
 - (注12) SI単位に換算したものである。
 - (注13) エルボについては既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。厚さについては管と同等以上のものを選定する。なお、記載内容は、設計図書による。
 - (注14) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
 - (注15) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てんポンプ入口ライン集合母管」と記載
 - (注16) 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備及び計測制御系統施設のうちほう酸注入機能を有する設備と兼用
 - (注17) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (1-8706A, B) ~充てんポンプ入口ライン集合母管」と記載
 - (注18) 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備と兼用
 - (注19) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (1-LCV-115B, D) ~充てんポンプ入口ライン集合母管」と記載
 - (注20) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てんポンプ入口ライン集合母管~充てんポンプA, B」と記載
 - (注21) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (8×6) ~充てんポンプC」と記載
 - (注22) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てんポンプA, B, C~封水ラインと充てんラインの分岐点」と記載
 - (注23) 重大事故等時に使用
 - (注24) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (4×3) ~レジャーサ (4×3)」と記載
 - (注25) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (4×3) ~弁 (1-8107)」と記載
 - (注26) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (4×3) ~弁 (1-1805)」と記載

- (注27) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (1-1805) ～レジューサ (3×2)」と記載
- (注28) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (3×2) ～封水注入フィルタ～レジューサ (3×2)」と記載
- (注29) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (3×2) ～レジューサ (3×2)」と記載
- (注30) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「冷却材ポンプA、Bへの分岐点及びレジューサ (3×2) ～レジューサ (2×1)」と記載
- (注31) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (1-8107) ～抽出水再生クーラ入口」と記載
- (注32) 重大事故等時における使用時の値
- (注33) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (2×1) ～弁 (1-8369A、B、C)」と記載
- (注34) エルボを示す。
- (注35) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (1-8369A、B、C) ～レジューサ (2×1)」と記載
- (注36) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (2×1) ～レジューサ (2×1 1/2)」と記載
- (注37) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジューサ (3×2) ～封水フィルタ、封水クーラ～弁 (1-8484、1-8482)」と記載
- (注38) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「抽出ライン弁 (1-LCV460) ～抽出水再生クーラ」と記載
- (注39) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「抽出水再生クーラ～弁 (1-8146)」と記載
- (注40) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (1-8146) ～弁 (1-8378A)」と記載
- (注41) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「充てんライン分岐点～弁 (1-8145)」と記載
- (注42) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(最小) 9.5/—/ (最小) 9.5」と記載
- (注43) SUS27TP同等材 (SUS304TP) への取替えを行う。
- (注44) SUS32TP同等材 (SUS316TP) への取替えを行う。
- (注45) 記載内容は、既工事計画認可申請書 (平成23年11月21日付け関原発第380号工事計画認可申請書、平成23年12月26日付け平成23・11・21原第20号にて認可) による。なお、本工事計画は、認可された工事計画に対して、基本設計方針の変更を行うことに伴い申請するものである。

工事計画認可申請	第3-2-24図
高圧発電所	第1号機
原子炉冷却系統施設の系統図 (非常用炉心冷却設備その他 原子炉注水設備)(10/18) (重大事故等対応設備)	
関西電力株式会社	

工事計画認可申請	第3-2-28図
高圧発電所	第1号機
原子炉冷却系統施設の系統図 (非常用炉心冷却設備その他 原子炉注水設備)(14/18) (重大事故等対策設備)	
関西電力株式会社	

関西電力株式会社
高浜発電所第1号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1610071号99
成績書管理番号：1-16

令和 2 年 10 月
原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-16

- 1 発電所名 関西電力株式会社高浜発電所第1号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和 2 年 10 月 16 日
至 令和 2 年 10 月 16 日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第299号(平成28年10月7日) 関原発第434号(平成30年 3月20日) 関原発第 46号(平成30年 4月20日) 関原発第202号(平成30年 7月 4日) 関原発第259号(平成30年 8月20日) 関原発第415号(平成30年12月 5日) 関原発第504号(平成31年 2月 1日) 関原発第512号(平成31年 2月 6日) 関原発第582号(平成31年 3月18日) 関原発第 3号(平成31年 4月 4日) 関原発第 68号(2019年 5月16日) 関原発第115号(2019年 6月24日) 関原発第204号(2019年 8月23日) 関原発第478号(2020年 1月23日) 関原発第510号(2020年 1月31日) 関原発第542号(2020年 2月26日) 関原発第609号(2020年3月24日) 関原発第 20号(2020年4月 7日) 関原発第236号(2020年8月21日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号: 特¹⁻¹⁶

検査年月日	検査結果	原子力施設検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和 2 年 10 月 16 日	良	福富 晋一	茨城県原子力 主任技術者 [Redacted] ボイラー-タービン 主任技術者 [Redacted]	なし

ω

関西電力株式会社高浜発電所第 1 号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：1-16

検査年月日：令和 2 年 10 月 16 日

検査場所：関西電力（株）高浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-16

検査年月日：令和 5 年 10 月 16 日

検査場所：関西電力(株)高浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・—	
系統構成が完了していること。	立会 記録確認	良・—	

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録
(三号検査)

成績書管理番号：1-16

検査年月日：令和2年10月16日

検査場所：関西電力(株)高浜発電所

検査結果

検査対象			
原子炉冷却系統施設 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 ポンプ 原子炉格納施設 (1) 格納容器安全設備 主配管			
		別添1参照	
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統機能検査 ・ 運転性能検査 系統性能検査 ・ 通水検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 ・ 記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：T1-3-0005 ・ 目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録
 (三号検査)
 (立会検査)

成績書管理番号：1-16

検査年月日：令和 2 年 10 月 16 日

検査場所：関西電力(株)高浜発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
ポンプ※1	系統機能検査 ・運転性能検査		良	目視
主配管※2	系統性能検査 ・通水検査	-	良	
備考 ※1：原子炉下部キャビティ注水ポンプ ※2：対象範囲は別添2参照（原子炉キャビティ注水ポンプ出口配管分岐点～弁(1MOV-5420)、弁(1MOV-5420)～格納容器貫通部 PEN#301、格納容器貫通部 PEN#301～弁(1V-5421)、弁(1V-5421)～1V-5439				

関西電力株式会社高浜発電所第1号機 使用前検査記録
検査用計器一覧表

成績書管理番号：1-16

検査年月日：令和 2 年 10 月 16 日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
運転性能検査	圧力計 (入口圧力)	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	2018. 8. 21 次回定期事業者検査	
運転性能検査	圧力計 (出口圧力)				2018. 8. 21 次回定期事業者検査	
運転性能検査	流量計				2018. 8. 27 次回定期事業者検査	
以下余白						

工事計画本文 (原規規発第 1606104 号 平成 28 年 6 月 10 日 認可)

原子炉冷却系統施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るもの（蒸気タービンに係るものを除く。）にあつては次の事項

7 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備に係る次の事項

- (1) ポンプの名称、種類、容量、揚程又は吐出圧力、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所

・常設

(1/2)

名 称			変 更 前	変 更 後	
ポンプ	種 類	—	—	原子炉下部キャビティ注水ポンプ (注1)	
	容 量 (注2)	m ³ /h/個		うず巻形	
	揚 程 (注2)	m			
	最高使用圧力 (注2)	MPa		2.7	
	最高使用温度 (注2)	℃		95	
	主要寸法	吸 込 口 径		mm	
		吐 出 口 径		mm	
		ケーシング厚さ		mm	
		た て		mm	
		横		mm	
	材 料	ケ ー シ ン グ		—	
		ケーシングカバー		—	
	個 数	—		1	

(次ページに続く)

			変 更 前	変 更 後
ポンプ	取付箇所	系 統 名 (ライン名)	—	原子炉下部キャビティ注水ライン
		設 置 床	—	
		溢水防護上の 区 画 番 号	—	
		溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	
原動機	種 類	—	三相誘導電動機	
	出 力	kW/個		
	個 数	—	1	
	取 付 箇 所	—		

(注1) 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備（格納容器安全設備）と兼用

(注2) 重大事故等時における使用時の値

(注3) 公称値

(注4) 原子炉下部キャビティに注水する場合の値

(注5) 原子炉格納容器内にスプレイする場合の値

(注6) 復水タンクの水を燃料取替用水タンクに供給する場合の値

原子炉格納施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るものについては、次の事項

3 圧力低減設備その他の安全設備に係る次の事項

(1) 格納容器安全設備に係る次の事項

リ 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・常設

変更前						変更後							
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料		
	圧力	温度					圧力	温度					
	(MPa)	(℃)	(mm)	(mm)			(MPa)	(℃)	(mm)	(mm)			
						格納容器安全設備	2.7	95	(注3, 28)	(注3, 14, 28)	(注28)		
					原子炉下部				88.9	5.5	SUS27TP		
					キャビティ注水				(注3)	(注3)	88.9	5.5	SUS304TP
					ポンプ出口配管				(注3)	(注3)	89.1	5.5	SUS304TP
					分岐点				(注3)	(注3, 14)	165.2	7.1	SUS304TP
					～	(注3)	(注3)	165.2	7.1	SUS304TP			
					弁(1MOV-5420)	(注3)	(注3)	89.1	5.5	SUS304TP			

(次ページに続く)

12

変更前					変更後						
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)	
						格納容器安全設備	(注9) 2.7	(注9) 95	(注3)	(注3)	SUS304TP
					原子炉下部				88.9	5.5	
					キャビティ注水				/	/	
					ポンプ出口配管				/	/	
					分岐点				89.1	5.5	
					～				(注3)	(注3)	
					弁(1MOV-5420)	165.2	7.1				
						/	/				SUS304TP
						/	/				
									165.2	7.1	

13

変更前					変更後						
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
						弁(1MOV-5420) ~ 格納容器貫通部 PEN#301	(注9) 2.7	(注9) 138	(注3) 88.9	(注3, 14) 5.5	SUS304TP
						格納容器 安全設備 格納容器貫通部 PEN#301 ~ 弁(1V-5421)	(注9) 2.7	(注9) 138	(注3) 88.9	(注3, 14) 5.5	SUS304TP

変更前						変更後					
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(℃)	(mm)	(mm)			(MPa)	(℃)	(mm)	(mm)	
						格納容器安全設備 弁(1V-5421) ～ 下部キャビティ 取合点	2.7	138	(注3)	(注3)	SUS304TP
									88.9	5.5	
									(注3, 28)	(注3, 14, 28)	(注28)
									114.3	6.0	SUS27TP
									(注3)	(注3, 14)	
114.3	6.0	SUS304TP									
(注3)	(注3, 14)										
165.2	7.1	SUS304TP									
(注3)	(注3)										
114.3	6.0	SUS304TP									
88.9	5.5										

(次ページに続く)

カ

変更前					変更後						
名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料	名称	最高使用	最高使用	外径	厚さ	材料
	圧力	温度					圧力	温度			
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)			(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)	
						格納容器安全設備 弁(1V-5421) ～ 下部キャビティ 取合点	(注6) 2.7	(注6) 138	(注3)	(注3)	SUS304TP
					165.2				7.1		
					114.3				6.0		
					114.3				6.0		
									(注3)	(注3)	SUS304TP
					114.3	6.0					

(注1) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁(1-6400A、B)～内部スプレポンプ(SP-1、A、B、C、D)への分岐点まで」と記載

(注2) SI単位に換算したものである。

(注3) 公称値

(注4) 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備及びその他発電用原子炉の附属施設(火災防護設備)のうち消火設備と兼用

(注5) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

(注6) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「格納容器サンプルB～弁(1-6408A、B)」と記載

(注7) 記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書「原子炉格納容器」の記載による。

15

(注8) 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備と兼用

(注9) 重大事故等時における使用時の値

(注10) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (1-6408A、B) ～内部スプレポンプへの合流点」と記載

(注11) エルボについては既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。厚さについては管と同等以上のものを選定する。なお、記載内容は、設計図書による。

(注12) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内部スプレポンプへの分岐点～内部スプレポンプ入口レジャーサ (10×8)」と記載

(注13) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内部スプレポンプ出口レジャーサ (8×6) ～内部スプレクーラへの合流点」と記載

(注14) エルボについては管と同等以上の厚さのものを選定する。

(注15) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内部スプレクーラ入口合流点～内部スプレクーラ出口分岐点」と記載

(注16) 重大事故等時に使用

(注17) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内部スプレクーラ出口分岐点～外部しゃへい壁貫通部」と記載

(注18) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁 (1-6417A、B) ～エダクタ」と記載

(注19) エルボを示す。

(注20) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内部スプレポンプ出口分岐点～エダクタ～内部スプレポンプ入口管」と記載

(注21) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「よう素除去薬品タンク～弁 (1-6417A、B)」と記載

(注22) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内部スプレクーラ出口分岐点～弁 (1-6411A、B)」と記載

(注23) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「外部しゃへい壁～レジャーサ (8×6)」と記載

(注24) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「レジャーサ (8×6) および分岐点～オリフィス」と記載

(注25) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「オリフィス～内部スプレリングヘッダ (1A、2A、4A、1B、2B、4B)」と記載

(注26) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「オリフィス～内部スプレリングヘッダ (3A、3B)」と記載

(注27) SUS27TP同等材 (SUS304TP) への取替えを行う。

(注28) 本設備は既存の設備である。

工事計画認可申請	第7-2-2図
高浜発電所 第1号機	
原子炉格納施設の系統図 (圧力監視設備その他の安全設備 (格納容器安全設備))(2/8) (重大事故等対応設備)	
関西電力株式会社	